HP Officejet J6400 All-in-One シリーズ

ユーザー ガイド（本書）

HP Officejet J6400 All-in-One シリーズ

ユーザー ガイド（本書）

著作権情報

© 2008 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Hewlett-Packard 社よりのお知らせ

本書に記載した内容は、予告なく変更されることがあります。

All rights reserved. 著作権法で許されている場合を除き、Hewlett-Packard の書面による事前の許可なく、この文書を複製、変更、あるいは翻訳することは禁じられています。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限定されます。 本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Windows および Windows XP は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。 Windows Vista は、米国やその他の国/地域における Microsoft Corporation の登録商標または商標のいずれかです。

Secure Digital メモリ カードは本製品によってサポートされています。 SD ロゴは所有者の商標です。

安全に関する情報

火災や感電によるけがの危険を避けるため、この製品を使用する場合は、常に基本的な安全に関する注意を厳守してください。

1. デバイスに付属の文書に記載されている全ての説明を読んで、十分に理解してください。

2. この製品を電源に接続するときは、必ずアース付きの電源コンセントを使用してください。 コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。

3. 製品に記載されているすべての警告および説明を厳守してください。

4. クリーニングの前にこの製品をコンセントから取り外してください。

5. この製品を水気の近くに設置すること、または身体が濡れているときに設置しないでください。

6. 製品は、安定した面にぐらつかないよう設置してください。

7. ケーブルやコードに足をとられないような場所に設置してください。また、ケーブルやコードが損傷しないような場所を選びます。

8. 製品が正常に動作しない場合は、「保守とトラブルシューティング」を参照してください。

9. 内部にはユーザーが修理可能な部品はありません。 修理については、認定のサービス担当者にお問い合わせください。

10. デバイスに付属している外部電源アダプタ/バッテリのみをご利用ください。

アクセシビリティ

本製品には、障害のある方でもご利用いただけるよう数々の機能が備えられています。

視覚

デバイス ソフトウェアは、お使いのオペレーティング システムのアクセシビリティ オプションと機能をご使用いただくことにより、視覚障害をお持ちの方にもご利用いただけます。 また、スクリーン リーダー、点字リーダー、ボイス ツー テキスト アプリケーションなどのテクノロジーもサポートしています。 色覚障害をお持ちの方のために、ソフトウェアとデバイスのコントロール パネルで使われているカラー ボタンとタブには、該当の操作を表した簡単なテキストまたはアイコン ラベルが付いています。

移動性

移動が困難なユーザー向けには、デバイス ソフトウェア機能がキーボード コマンドを通じて実行できるようになっています。 ソフトウェアは StickyKeys、ToggleKeys、FilterKeys、および MouseKeys などの Windows アクセシビリティ オプションもサポートしています。 本製品のドア、ボタン、用紙トレイ、用紙ガイドなどは体力と到達範囲に制限があるユーザーでも操作できるようになっています。

ｻﾎﾟｰﾄ

本製品のアクセシビリティの詳細について、および製品のアクセシビリティに対する HP の取り組みについては、HP の Web サイト www.hp.com/accessibility をご覧ください。

Mac OS のアクセシビリティ情報については、Apple の Web サイト www.apple.com/accessibility をご覧ください。

目次

A HP サプライ品とアクセサリ

B サポートおよび保証

C デバイスの仕様

D 法規について

1　はじめに

このガイドでは、本製品の使用方法と問題の解決方法について詳しく説明します。

- 本製品に関するその他のリソース
- デバイス各部の確認
- デバイス本体の電源をオフにします。

本製品に関するその他のリソース

このガイドに含まれていない製品情報や詳しいトラブルシューティング リソースは、次のリソースに記載されています。

入手先	説明	場所
セットアップ ポスター	図によりセットアップ情報を表すポスターです。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。
Readme ファイルとリリース ノート	最新情報とトラブルシューティング ヒントが記載されています。	スタータ CD に搭載されています。
ツールボックス (Microsoft® Windows®)	プリント カートリッジの状態についての情報と、メンテナンス サービスへのアクセスが提供されます。 詳細については、ツールボックス (Windows) を参照してください。	通常、ツールボックスは、利用可能なインストール オプションの 1 つとしてデバイス ソフトウェアと共にインストールされます。
HP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）	プリント設定の構成、機器の調整、プリントカートリッジのクリーニング、設定ページの印刷、サプライ品のオンライ	通常、HP プリンタ ユーティリティは、デバイス ソフトウェアと共にインストールされます。

(続き)

入手先	説明	場所
	ン注文、Web サイトでのサポート情報検索のためのツールが含まれています。 詳細については、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)を参照してください。	
デバイスのコントロール パネル	操作についてのステータス情報、エラー情報、および警告情報が表示されます。	詳細については、デバイスのコントロール パネルのボタンとランプを参照してください。
ログとレポート	生じたイベントについての情報が提供されます。	詳細については、デバイスの監視を参照してください。
自己診断テスト ページ	• 製品に関する情報： ◦ 製品名 ◦ モデル番号 ◦ シリアル番号 ◦ ファームウェア バージョン番号 • トレイとアクセサリから印刷されたページ数 • インクの量	詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。
HP Web サイト	最新のプリンタ ソフトウェア、製品およびサポート情報が提供されます。	www.hp.com/support www.hp.com
HP 電話サポート	HP の連絡先情報が一覧表示されます。 保証期間中は、このサポートは無料で提供されます。	詳細については、HP テレフォン サポートの取得を参照してください。

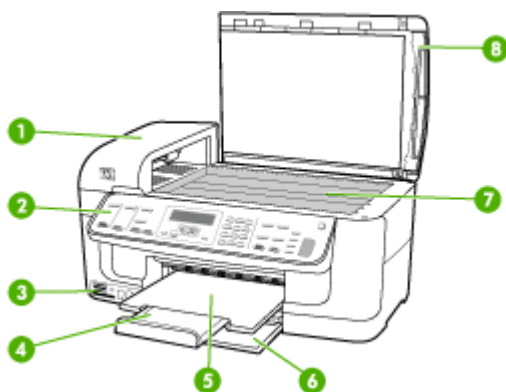
(続き)

入手先	説明	場所
HP フォト イメージング ソフトウェアのヘルプ	ソフトウェアの使用方法についての情報が提供されます。	詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。

デバイス各部の確認

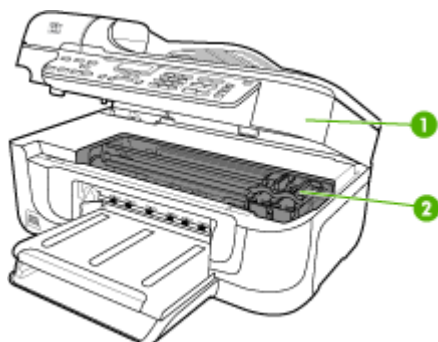
このセクションでは、次のトピックについて説明します。

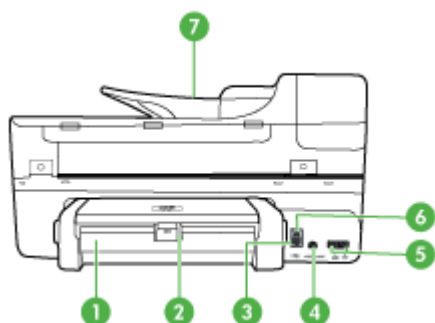
- 前面図
- 印刷サプライ部
- 背面図
- デバイスのコントロール パネルのボタンとランプ
- 接続情報

前面図

1	自動ドキュメント フィーダ (ADF)
2	デバイスのコントロール パネル
3	メモリ カード スロット
4	排紙トレイの拡張部
5	排紙トレイ

(続き)

6	給紙トレイ
7	スキャナのガラス面
8	スキャナのカバー

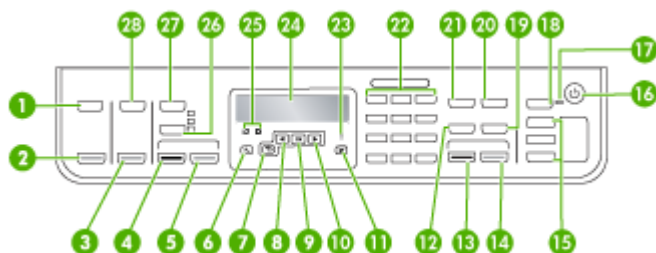
印刷サプライ部

1	プリンタ キャリッジのアクセス ドア
2	プリント カートリッジ

背面図

1	両面印刷ユニット
2	両面印刷ユニットのラッチ
3	Ethernet ポート

(続き)

4	電源入力
5	1-Line (ファクス)、2-EXT (電話)
6	後部 USB (Universal Serial Bus) ポート
7	ドキュメント フィーダ トレイ

デバイスのコントロール パネルのボタンとランプ

次の図と表を使って、デバイスのコントロール パネルの機能について説明します。

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
1	**スキャンの送信先**： スキャンの送信先メニューで、スキャンの送信先を選択します。
2	**スキャン スタート**： スキャンを開始し、スキャンの送信先ボタンで選択した送信先に画像を送信します。
3	**フォト プリント**: フォト機能を選択します。 メモリ カードから写真を印刷するときに使用します。
4	**コピー スタート - モノクロ**： モノクロ コピーを開始します。
5	**コピー スタート - カラー**： カラー コピーを開始します。
6	**セットアップ**： レポートの作成、その他のメンテナンス設定の変更、および [ヘルプ] メニューへのアクセスを行うためのセットアップ メニューを表示します。 ヘルプ メニューで選択したトピックに関するヘルプがコンピュータ画面に表示されます。
7	**戻る**： 1 つ上のメニューを表示します。（一部のモデルを除く）
8	**左矢印**： ディスプレイの値を小さくします。

(続き)

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
9	**OK(O)**： ディスプレイのメニューまたは設定を選択します。
10	**右矢印**： ディスプレイに表示されている値を大きくします。
11	**キャンセル**： ジョブを停止したり、メニューや設定を終了したりします。
12	**短縮ダイヤル**： 短縮ダイヤルを選択します。
13	**ファクス スタート - モノクロ**： モノクロ ファクスの送信を開始します。
14	**ファクス スタート - カラー**： カラー ファクスの送信を開始します。
15	**ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン**：先頭の 5 つの短縮ダイヤル番号をダイヤルします。
16	**電源**： 本体電源のオン/オフを切り替えます。 本体の電源がオンのときは、電源ボタンが点灯します。 ジョブの実行中はランプが点滅します。 本体の電源をオフにしていても、必要最小限の電力が供給されています。 電力の供給を完全に遮断するには、本体の電源をオフにした後に電源ケーブルを抜いてください。
17	**自動応答ランプ**：このランプが点灯している場合、デバイスは自動的に着信に応答します。 このボタンがオフのときは、ファクスの着信に応答しません。
18	**自動応答**： このボタンが点灯している場合、デバイスは自動的に着信に応答します。 このボタンがオフのときは、ファクスの着信に応答しません。
19	このボタンの名前と機能は、本製品が販売された国/地域によって異なります。 **解像度**： 送信するファクスの解像度を調整します。 **迷惑ファクスを拒否**： 迷惑ファクスを拒否の設定メニューで、迷惑ファクスを管理します。 この機能を使用するためには、発信者 ID サービスを利用する必要があります。
20	**リダイヤル/一時停止**： 最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファクス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。

(続き)

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
21	**ファクス メニュー**： ファクス メニューで、ファクス オプションを選択します。
22	**キーパッド**： 値を入力します。
23	**注意ランプ**： 点滅している場合は、注意が必要なエラーが発生していることを示します。
24	**画面**： メニューとメッセージを表示します。
25	**プリント カートリッジのインジケータ**： どのプリント カートリッジのメンテナンスが必要であるかを示します。
26	**品質**： コピー印字品質を [高画質]、[標準]、[はやい] から選択します。
27	**コピー メニュー**： コピー メニューでオプションを選択します。
28	**フォト メニュー**： フォト メニューで、オプションを選択します。

接続情報

説明	**接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)**	**サポートされるソフトウェア機能**	**セットアップ方法**
USB 接続	1 台のコンピュータ。USB ケーブルで後部 USB 2.0 高速ポートに接続。	すべての機能をサポートします。	詳しい手順については、セットアップ ポスターに従ってください。
Ethernet (有線) 接続	ハブまたはルーターを使用してコンピュータを 5 台まで接続。	Web スキャンを含むすべての機能がサポートされます。	セットアップ ガイドの指示に従います。詳細な手順については、このガイドのネットワーク オプションの構成を参照してください。

(続き)

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
プリンタ共有	コンピュータ 5 台まで。 ホスト コンピュータの電源を常にオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータから本製品に印刷することはできません。	ホスト コンピュータに装備されている機能はすべてサポートされます。 別のコンピュータからサポートされているのは印刷だけです。	ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するの指示に従ってください。
802.11 ワイヤレス	ハブまたはルーターを使用してコンピュータを 5 台まで接続。	Web スキャンを含むすべての機能がサポートされます。	デバイスのワイヤレス通信のセットアップの指示に従ってください。

デバイス本体の電源をオフにします。

デバイスには、2 つのオフ モードがあります。 ソフト オフ モードは、消費電力がきわめて少ないモードで、ハード オフ モードで起動するよりもブート時間が短くなります。 ハード オフ モードは、消費電力がゼロのモードです。 どちらのモードも、[電源] ボタンでのみオフになります。

2 デバイスの使用

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスのコントロール パネルのメニューの使用
- デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプ
- デバイスの設定の変更
- HP ソリューション センターの使用 (Windows)
- HP フォト イメージング ソフトウェアの使用
- 原稿のセット
- 印刷メディアの選択
- メディアのセット
- 特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷
- フチ無し印刷
- 短縮ダイヤルの設定
- 両面印刷ユニットのインストール

デバイスのコントロール パネルのメニューの使用

以下のセクションでは、コントロール パネル ディスプレイに表示されるトップレベル メニューについて説明します。 メニューを表示するには、使用する機能のメニュー ボタンを押します。

- **スキャン メニュー** : 送信先一覧を表示します。 送信先によっては、HP Photosmart ソフトウェアのロードが必要になる場合があります。
- **コピー メニュー** : 次のオプションがあります。
  - コピー枚数の選択
  - 縮小/拡大
  - 用紙タイプとサイズの選択
- **ファクス メニュー** : ファクス番号や短縮ダイヤル番号を入力したり、ファクス メニューを表示することができます。 次のオプションがあります。
  - 解像度の変更
  - 明るくする/暗くする

- ファクスの遅延送信
    - 新しいデフォルトの設定
- **フォト メニュー**：次のオプションがあります。
    - 写真の選択
    - レイアウト
    - 用紙タイプとサイズの選択
    - 写真の修正
    - 日付スタンプ

デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプ

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ステータス メッセージ
- 警告メッセージ
- エラー メッセージ
- 重要なエラー メッセージ

ステータス メッセージ

ステータス メッセージには、デバイスの現在の状態が表示されます。このメッセージは正常の動作を知らせるものであり、メッセージをクリアするための操作は不要です。 デバイスの状態が変わると、メッセージも変更されます。

警告メッセージ

警告メッセージは注意が必要なイベントについて知らせますが、デバイスは通常どおり使用できます。 警告メッセージには、インク残量の低下を警告するメッセージなどがあります。 このようなメッセージは、ユーザーがその状態を解決するまで表示されます。

エラー メッセージ

エラー メッセージは、用紙の追加や詰まった用紙の除去など、何らかの操作をユーザーが実行する必要があることを伝えます。 通常、このメッセージが表示されるときは赤の注意ランプが点滅します。適切な処理完了後に、適切なボタンを押して、印刷を実行してください。

エラー メッセージにエラー コードが含まれる場合は、電源ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度電源を入れます。 ほとんどの状況では、この操作を行うと問題が解決されます。 メッセージが消えな

い場合は、デバイスの修理が必要である可能性があります。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。

重要なエラー メッセージ

重要なエラー メッセージは、デバイスの障害について知らせます。 これらのメッセージの一部は、電源ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度電源を入れると消すことができます。 重要なエラーが消えない場合は、修理が必要です。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。

デバイスの設定の変更

デバイス設定は、次の場所で変更することができます。

- デバイスのコントロール パネルから。
- HP Solution Center (Windows) または HP デバイス マネージャ (Mac OS) 詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。

注記 HP Solution Center または HP Device Manager で設定を行うときは、デバイスのコントロール パネルから行われた設定 (スキャン設定など) を表示することはできません。

デバイスのコントロール パネルから設定を変更するには

1. デバイスのコントロール パネルで、使用中の機能のメニュー ボタン (コピー メニューなど) を押します。
2. 変更するオプションに移動するには、次のいずれかの方法を使用します。
   - コントロール パネルのボタンを押し、左または右の矢印キーを使って値を調整します。
   - コントロール パネルに表示されるメニューからオプションを選択します。
3. 目的の値を選択し、**OK(O)** を押します。

HP ソリューション センター (Windows) から設定を変更するには

▲ HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。

HP フォト イメージング ソフトウェアから設定を変更するには (Mac OS)

1. Dock の **[HP デバイス マネージャ]** のアイコンをクリックします。
2. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
3. **[情報と設定]** メニューで、変更する項目をクリックします。

HP ソリューション センターの使用 (Windows)

Windows コンピュータでは、HP Solution Center が HP Photosmart ソフトウェア のエントリ ポイントです。 HP Solution Centerを使用すると、印刷設定の変更、サプライ品の注文、オンスクリーン ヘルプへのアクセスができます。

HP Solution Center で使用できる機能は、取り付けたデバイスによって異なります。 HP Solution Center は、選択したデバイスに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされます。 選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンは HP Solution Center に表示されません。

コンピュータ上のHP Solution Centerにアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。 そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、HP Photosmart ソフトウェア を完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。 詳細については、デバイスに付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

HP Solution Center を開く方法については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用 を参照してください。

HP フォト イメージング ソフトウェアの使用

HP フォト イメージング ソフトウェアを使用すると、デバイスのコントロール パネルからは利用できない数多くの機能にアクセスすることができます。

このソフトウェアは、セットアップ中にコンピュータにインストールされます。 詳細については、デバイスに付属のセットアップ マニュアルを参照してください。

HP フォト イメージング ソフトウェアへのアクセス方法は、オペレーティング システム (OS) により異なります。 たとえば、Windows コンピュータの場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのエントリ ポイントは、HP Photosmart ソフトウェア ウィンドウです。 Macintosh コンピュータの場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのエントリ ポイントは、HP Photosmart Studio ウインドウです。 いずれにし

ても、エントリ ポイントは、HP フォト イメージング ソフトウェアおよびサービスを起動する基点となります。

Windows コンピュータで HP Photosmart ソフトウェア にアクセスするには

1. 次のいずれかの操作を行います。
   • Windows デスクトップで、HP Photosmart ソフトウェア アイコンをダブルクリックします。
   • Windows タスクバーの右端のシステム トレイにある **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンをダブルクリックします。
   • タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** をポイントします。 次に、**[HP]** を選択し、**[HP Photosmart ソフトウェア]**をクリックします。
2. 複数の HP デバイスを取り付けている場合は、ご使用の製品名のタブを選択してください。

注記 Windows コンピュータの場合、HP Photosmart ソフトウェア で使用できる機能はインストールしたプリンタによって異なります。 HP フォト イメージング ソフトウェアは、選択したデバイスに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされます。 選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンはソフトウェアに表示されません。

ヒント コンピュータ上のHP Photosmart ソフトウェアにアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。 そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、HP Photosmart ソフトウェアを完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。 詳細については、デバイスに付属の設定用ポスターを参照してください。

Macintosh コンピュータで HP Photosmart Studio ソフトウェアを起動するには

1. Dock の HP Photosmart Studio アイコンをクリックします。
   HP Photosmart Studio ウィンドウが表示されます。
2. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   HP デバイス マネージャ ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
   ここで、スキャン、文書のインポート、プリント カートリッジのインク残量の確認などの保守作業を実行することができます。

注記 Macintosh コンピュータの場合、HP Photosmart Studio ソフトウェアで使用できる機能は選択したデバイスによって異なります。

ヒント HP Photosmart Studio ソフトウェアが起動したら、Dock の HP Photosmart Studio アイコンを選択し、その上にマウスを置いた状態にすると、Dock メニューのショートカットにアクセスすることができます。

原稿のセット

コピーまたはスキャンする原稿は、スキャナのガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) にセットします。 メイン トレイでの用紙のセットの詳細については、メディアのセットを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- スキャナのガラス板への原稿のセット
- 自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット

スキャナのガラス板への原稿のセット

スキャナのガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター用紙までの原稿をコピーまたはスキャンすることができます。

注記 ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。

スキャナのガラス板に原稿をセットするには

1. スキャナのカバーを持ち上げます。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

   ヒント 原稿のセット方法については、ガラス板の端に示されているガイドを参照してください。

3. カバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット

片面または両面、1 ページまたは複数ページの A4 またはレター サイズの文書は、ドキュメント フィーダ トレイにセットすると、コピー、スキャン、またはファクスすることができます。

△ **注意** ADF に写真をセットしないでください。写真が破損する可能性があります。

注記 両面のリーガル サイズの文書は ADF でコピー、スキャン、またはファクスすることができません。[**ページに合わせる**] コピーなど、一部の機能は原稿を ADF にセットすると動作しません。原稿はガラス板にセットしてください。

ドキュメント フィーダ トレイには、最大 35 枚の普通紙をセットできます。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 原稿の上側が先になるようにトレイに置きます。 自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。正しくセットされると、ビープ音が鳴るか、セットした用紙

を認識したことを示すメッセージがディスプレイに表示されます。

> 💡 **ヒント** 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙の両端に当たって止まるまで、横方向用紙ガイドをスライドさせます。

> 📝 **注記** デバイスのカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り出してください。

印刷メディアの選択

デバイスは、ほとんどのタイプのオフィス用メディアに印刷できるようデザインされています。 大量に用紙を購入する前に、さまざまな用紙を試してみることをお勧めします。 最高の印刷品質を得るには、HP の用紙をご利用ください。 HP メディアの詳細については、HP Web サイト (www.hp.com) にアクセスしてください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 印刷メディアの選択と使用のヒント
- サポートされたメディアの仕様の理解
- 最小余白の設定

印刷メディアの選択と使用のヒント

最高の結果を得るには、次のガイドラインに従ってください。

- 必ず、デバイスの仕様に準拠したメディアを使用してください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- トレイには、一度に 1 つのタイプのメディアしかセットしないでください。
- 印刷面を下にし、トレイの右端と後端に用紙を合わせてメディアをセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
- トレイにメディアを入れすぎないでください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- 用紙詰まり、プリント品質の低下、およびそれ以外の印刷の問題を防ぐには、次のメディアを使用しないでください :
  - 貼り継ぎした用紙
  - 損傷や丸まっている、またはしわのある用紙
  - 切抜きやミシン目のある用紙
  - 強いテクスチャ、エンボスのあるメディアやインクをはじく用紙
  - 非常に軽量の用紙または簡単に伸張する用紙

カードおよび封筒

- 光沢仕上げ、シール付き、留め金、ウィンドウのある封筒は使用しないでください。 また、厚みのあるカードや封筒、定型外、縁が丸みを帯びているもの、しわ、破れなどの損傷があるカードや封筒も避けてください。
- 型や折りがしっかりとした封筒を使用してください。
- 折り返し片が上にくるようにして封筒をセットします。

フォト メディア

- 写真を印刷するには、**[ベスト]** モードを使用します。 このモードでは、印刷時間が長くなり、コンピュータの消費メモリも多くなることに注意してください。
- 印刷後、1 枚ずつ取り出して、乾かしてください。 乾いていないメディアを積み重ねると、にじみが発生する場合があります。

OHP フィルム

- ざらざらの面が下になり、粘着テープがデバイス後部にくるようにして OHP フィルムを挿入します。
- OHP フィルムを印刷するには、**標準** モードを使用します。 次のページが排紙トレイに排出される前にインクが完全に乾くよう、このモードでは乾燥時間が長くかかります。
- 印刷後、1 枚ずつ取り出して、乾かしてください。 乾いていないメディアを積み重ねると、にじみが発生する場合があります。

カスタムサイズのメディア

- デバイスでサポートされているカスタム サイズのメディアだけを使用します。
- アプリケーションでカスタムサイズの用紙がサポートされている場合は、ドキュメントを印刷する前に、アプリケーションで用紙のサイズを設定します。 サポートされていない場合は、プリンタ ドライバでサイズを設定します。 カスタムサイズの用紙に正しく印刷するには、既存ドキュメントの書式を再調整する必要が生じることがあります。

サポートされたメディアの仕様の理解

使用可能なサイズの理解 および 使用可能な用紙の種類と重量の理解 の表を使用して、デバイスで使用する正しいメディアと、そのメディアに利用できる機能を判断します。

- 使用可能なサイズの理解
- 使用可能な用紙の種類と重量の理解

使用可能なサイズの理解

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷ユニット	ADF
標準サイズのメディア			
U.S. レター (216 x 279 mm、8.5 x 11 インチ)	✔	✔	✔
U.S. リーガル (216 x 356 mm、8.5 x 14 インチ)	✔		✔

(続き)

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷ユニット	ADF
A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)	✔	✔	✔
U.S. エグゼクティブ (184 x 267 mm、7.25 x 10.5 インチ)	✔	✔	
B5 (JIS) (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)	✔	✔	
B5 (ISO) (176 x 250 mm、6.9 x 9.8 インチ)	✔	✔	
B7 (88 x 125 mm、3.5 x 4.9 インチ)	✔		
A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)	✔	✔	
フチ無し A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)	✔		
フチ無し A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)	✔		
フチ無し B5 (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)	✔		
HV (101 x 180 mm、4.0 x 7.1 インチ)	✔		
キャビネット サイズ (120 x 165 mm、4.7 x 6.5 インチ)	✔		
13 x 18 cm (5 x 7 インチ)	✔		
フチ無しキャビネット (120 x 165 mm、4.7 x 6.5 インチ)	✔		
フチ無し 13 x 18 cm (5 x 7 インチ)	✔		
封筒			

(続き)

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷ユニット	ADF
米国 10 号封筒 (105 x 241 mm、4.12 x 9.5 インチ)	✔		
DL 封筒 (110 x 220 mm、4.3 x 8.7 インチ)	✔		
C6 封筒 (114 x 162 mm、4.5 x 6.4 インチ)	✔		
封筒長形 3 号 (120 x 235 mm、4.7 x 9.3 インチ)	✔		
封筒長形 4 号 (90 x 205 mm、3.5 x 8.1 インチ)	✔		
カード			
インデックス カード (76.2 x 127 mm、3 x 5 インチ)	✔	✔	
インデックス カード (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔	✔	
インデックス カード (127 x 203 mm、5 x 8 インチ)	✔	✔	
A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)	✔	✔	
フチ無し A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)	✔		
はがき* (100 x 148 mm、3.9 x 5.8 インチ)	✔	✔	
往復ハガキ**	✔		
フチ無しハガキ (100 x 148 mm、3.9 x 5.8 インチ)**	✔	✔	
フォト メディア			
フォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		

(続き)

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷ユニット	ADF
フォト メディア (5 x 7 インチ)	✔		
フォト メディア (8 x 10 インチ)	✔		
フォト メディア (10 x 15 cm)	✔		
L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)	✔		
2L (178 x 127 mm、7.0 x 5.0 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (5 x 7 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (8 x 10 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (8.5 x 11 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (10 x 15 cm)	✔		
フチ無し L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)	✔		
フチ無し 2L (178 x 127 mm、7.0 x 5.0 インチ)	✔		
フチ無し B5 (182 x 257 mm、7.2 x 10.1 インチ)	✔		
フチ無し B7 (88 x 125 mm、3.5 x 4.9 インチ)	✔		

(続き)

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷ユニット	ADF
フチ無し 4 x 6 タブ (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		
フチ無し 10 x 15 cm タブ	✔		
フチ無し 4 x 8 タブ (10 x 20 cm)	✔		
フチ無し HV (101 x 180 mm、4.0 x 7.1 インチ)	✔		
フチ無し double A4 (210 x 594 mm、8.3 x 23.4 インチ)	✔		
4 x 6 タブ (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		
10 x 15 cm タブ	✔		
4 x 8 タブ/10 x 20 cm タブ	✔		
それ以外のメディア			
幅 76.2 ～ 216 mm、長さ 127 ～ 610 mm まで (幅 3 ～ 8.5 インチ、長さ 5 ～ 24 インチまで) のカスタムサイズの用紙	✔		
幅 127 ～ 216 mm、長さ 241 ～ 305 mm まで (幅 5 ～ 8.5 インチ、長さ 9.5 ～ 12 インチまで) のカスタムサイズのメディア (ADF)			
パノラマ (4 x 10 インチ、4 x 11 インチ、4 x 12 インチ)	✔		
フチ無しパノラマ (4 x 10 インチ、4 x 11 インチ、4 x 12 インチ)	✔		

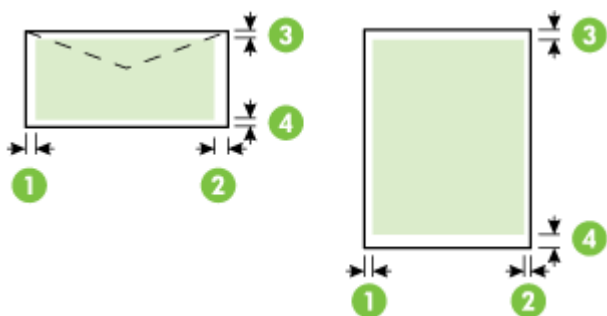
** デバイスで使用できるのは、普通紙官製はがきおよびインクジェット用官製はがきのみです。 フォト光沢官製はがきは使用できません。

使用可能な用紙の種類と重量の理解

トレイ	種類	重さ	容量
給紙トレイ	用紙	60～105 g/m^2 (16 ～ 28 lb ボンド)	普通紙で 250 枚まで (厚さ 25 mm または 1 インチ)
	OHP 用紙		70 枚まで (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	フォト用紙	280 g/m^2 (75 lb ボンド紙)	100 枚まで (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	ラベル		100 枚まで (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	封筒	75～90 g/m^2 (ボンド紙封筒 20 ～ 24 ポンド)	30 枚まで (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	カード	200 g/m^2 まで (インデックス カード 110 ポンド)	80 枚まで
両面印刷ユニット	用紙	60～105 g/m^2 (16 ～ 28 lb ボンド)	該当せず
排紙トレイ	使用可能なすべてのメディア		普通紙 150 枚まで (テキスト印刷)
ADF	用紙	60～90 g/m^2	普通紙： 35 枚

トレイ	種類	重さ	容量
		(16 ～ 24 lb ボンド)	リーガル用紙および特殊な用紙： 20 枚

最小余白の設定

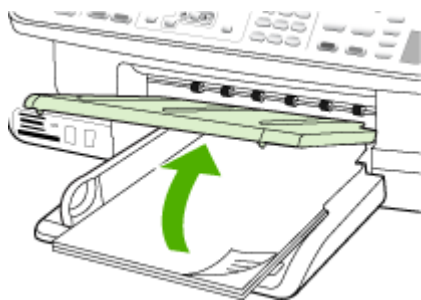
文書のマージンは、縦方向に指定されたマージン以上に設定する必要があります。

用紙	(1) 左マージン	(2) 右マージン	(3) 上部マージン	(4) 下部マージン*
U.S. レター U.S. リーガル A4 U.S. エグゼクティブ U.S. ステートメント 8.5 x 13 インチ B5 A5 カード カスタムサイズのメディア フォト用紙	3.0 mm (0.12 インチ)	3.0 mm (0.12 インチ)	3.0 mm (0.12 インチ) - 片面印刷用 14 mm (0.55 インチ) - 両面印刷用	3.0 mm (0.12 インチ) 14 mm (0.55 インチ) - 両面印刷用
封筒	3.0 mm (0.12 インチ)	3.0 mm (0.12 インチ)	3.0 mm (0.12 インチ)	14.0 mm (0.55 インチ)

* Windows を実行中のコンピュータでこの余白を設定するには、プリンタ ドライバの **[詳細]** タブをクリックし、**[余白の最小化]** を選択します。

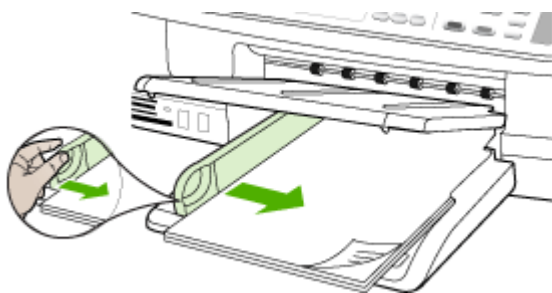
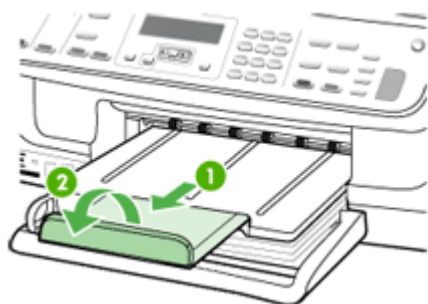
メディアのセット

このセクションには、デバイスにメディアをセットする手順が記載されています。

トレイ 1 (メイン トレイ) にメディアをセットするには

1. 排紙トレイを持ち上げます。

2. 印刷面を下にしてトレイの右端に沿ってメディアを挿入します。 メディアの束がトレイの右端と後端に沿い、トレイのラインからはみ出さないよう確認します。

注記 デバイスが印刷しているときには、用紙をセットしないでください。

3. メディア ガイドをトレイに移動し、セットした用紙サイズに調整します。次に、排紙トレイを下げます。

4. 排紙トレイの拡張部を引き出します。

特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷

特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 文書を開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[用紙/機能]** タブをクリックします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウン リストから用紙のサイズを選択します。

カスタム サイズのメディアを設定するには :

a. **[カスタム]** ボタンをクリックします。
b. 新しいカスタム サイズの名前を入力します。
c. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、**[保存]** をクリックします。
d. **[OK]** を 2 回クリックして、[プロパティ]、または [基本設定] ダイアログ ボックスを終了します。 ダイアログ ボックスを再度開きます。
e. 新しいカスタム サイズを選択します。

5. 用紙の種類を選択するには :
   a. **[詳細]** を **[タイプ]** ドロップダウン リストからクリックします。
   b. 任意のメディア タイプをクリックして、**[OK]** をクリックします。
6. **[ソース]** ドロップダウン リストからメディア ソースを選択します。
7. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
8. ドキュメントを印刷します。

特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Mac OS)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックします。
3. ドロップダウン リストから、HP デバイスを選択します。
4. 用紙のサイズを選択します。
5. カスタム サイズのメディアを設定するには :
   a. **[カスタム サイズの管理]** を **[用紙サイズ]** プルダウン メニューでクリックします。
   b. **[新規]** をクリックし、**[用紙サイズ名]** ボックスにサイズの名前を入力します。
   c. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、必要に応じて余白を設定します。
   d. **[完了]** または **[OK]** をクリックし、**[保存]** をクリックします。
6. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックし、新しいカスタム サイズを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
8. **[ファイル]** メニューで **[プリント]** をクリックします。
9. **[用紙の取り扱い]** パネルを開きます。
10. **[排紙先の用紙サイズ]** の下にある **[用紙に合わせて調節]** タブをクリックし、カスタマイズされた用紙サイズを選択します。
11. それ以外の任意の設定を変更し、**[OK]** または **[印刷]** をクリックします。

フチ無し印刷

フチ無し印刷を使用すると、特定の用紙タイプおよび一部の標準サイズの用紙の端まで印刷することができます。

注記 ソフトウェア アプリケーションでファイルを開き、画像サイズを割り当てます。 画像サイズが、その画像を印刷するメディアのサイズに合っていることを確認します。

Windows の場合は、**[印刷機能のショートカット]** タブからもこの機能にアクセスできます。 プリンタ ドライバを開き、**[印刷機能のショートカット]** タブを選択し、この印刷ジョブのドロップダウン リストから印刷機能のショートカットを選択します。

注記 フチ無し印刷では、普通紙は使用できません。

フチ無し文書を印刷するには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 印刷するファイルを開きます。
3. アプリケーションからプリンタ ドライバを開きます。
   a. **[ファイル]** をクリックし、**[印刷]** をクリックします。
   b. **[プロパティ]** または **[設定]** をクリックします。
4. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
5. **[用紙サイズ]** ドロップダウン リストから用紙のサイズを選択します。
6. **[フチ無し印刷]** チェックボックスを選択します。
7. **[ソース]** ドロップダウン リストからメディア ソースを選択します。
8. **[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。

   注記 フチ無し印刷では、普通紙は使用できません。

9. 写真を印刷する場合は、**[印刷品質]** ドロップダウン リストから **[高画質]** を選択します。 または、**[最大 dpi]** を選択します。この場合、最適な印刷品質を得るために最大解像度 4800 x 1200 dpi* による印刷が可能になります。

   *最大解像度 4800 x 1200 dpi は入力データ解像度を 1200 dpi に設定し、カラー印刷した場合 この設定では、一時的に大量のハードディスク容量 (400 MB 以上) が使用されることがあり、印刷に時間がかかります。
10. その他の印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
11. 文書を印刷します。
12. 切り取りタブ付きのフォト メディアに印刷した場合は、タブを切り取って、文書を完全にフチ無しにします。

フチ無し文書を印刷するには (Mac OS)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 印刷するファイルを開きます。
3. ドロップダウン リストから、HP デバイスを選択します。
4. **[ファイル]** をクリックし、**[用紙設定]** をクリックします。
5. フチ無しメディアのサイズを選択して **[OK]** をクリックします。
6. **[ファイル]** をクリックし、**[印刷]** をクリックします。
7. **[用紙の種類/品質]** パネルを開きます。
8. **[用紙]** タブをクリックし、**[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。

   注記 フチ無し印刷では、普通紙は使用できません。
9. 写真を印刷する場合は、**[品質]** ドロップダウン リストから **[高画質]** を選択します。 または、**[最大 dpi]** を選択します。この場合、最大解像度 4800 x 1200 dpi* による印刷が可能になります。

   *最大解像度 4800 x 1200 dpi は入力データ解像度を 1200 dpi に設定し、カラー印刷した場合 この設定では、一時的に大量のハードディスク容量 (400 MB 以上) が使用されることがあり、印刷に時間がかかります。

10.メディア ソースを選択します。 厚いメディアまたはフォト メディアに印刷する場合は、手差しオプションを選択します。
11.その他の設定値を選択した後、**[プリント]** をクリックします。
12.切り取りタブ付きのフォト メディアに印刷した場合は、タブを切り取って、文書を完全にフチ無しにします。

短縮ダイヤルの設定

頻繁に使うファクス番号は、短縮ダイヤル エントリとして設定できます。 そうすれば、デバイスのコントロール パネルからすぐにダイヤルすることができます。 これらの送信先の最初の 5 つのエントリは、デバイスのコントロール パネルの 5 つの短縮ダイヤル ボタンに関連付けられます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定
- 短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示

ファクス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定

ファクス番号またはファクス番号のグループを短縮ダイヤル エントリとして保存することができます。 短縮ダイヤル エントリ 1 ～ 3 は、デバイスのコントロール パネルの対応する 3 つの短縮ダイヤル ボタンと関連付けられます。

設定される短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷については、短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 短縮ダイヤルの設定
- 短縮ダイヤル グループを設定する

短縮ダイヤルの設定

- **HP Photosmart ソフトウェア (Windows)**: HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS)**： **[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファクス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押し、[**短縮ダイヤルの設定**] オプションを選択します。
  - エントリを追加または変更するには： [**個別の短縮ダイヤル**] または [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、矢印キーを押して未使用のエントリ番号に移動するか、キーパッドから番号を入力します。 ファクス番号を入力し、**OK(O)** を押します。 市外局番、PBX システム外の番号のアクセス コード (通常は 9 または 0)、長距離電話のプレフィックスなど、間隔や他の必要な番号を含めます。 名前を入力し、**OK(O)** を押します。
  - 1 つまたはすべてのエントリを削除するには: [**短縮ダイヤルを削除**] を選択し、矢印キーで削除する短縮ダイヤルをハイライトし、**OK(O)** を押します。

短縮ダイヤル グループを設定する

ファクス番号の同じグループに定期的に情報を送信する場合は、操作を簡略化するために、グループの短縮ダイヤル エントリを設定できます。 グループの短縮ダイヤル エントリは、デバイスのコントロール パネルの短縮ダイヤル ボタンに関連付けることができます。

短縮ダイヤルのグループにメンバーを追加するには、メンバーが短縮ダイヤル一覧にあらかじめ含まれている必要があります。 各グループ

には最大 20 個のファクス番号を追加でき、各ファクス番号には最大 50 文字を含めることができます。

- **HP Photosmart ソフトウェア (Windows)**: HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS)**：**[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファクス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** ボタンを押し、[**短縮ダイヤルの設定**] オプションを選択します。
  - グループを追加するには: [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、登録されていない短縮ダイヤルを選択し、**OK(O)** を押します。 矢印キーを押して、短縮ダイヤル エントリを強調表示し、選択するために**OK(O)**を押します。 このグループに追加短縮ダイヤルを追加するには、同じ手順を繰り返します。 作業が終了した後、[**選択終了**] オプションを選択し、**OK(O)** を押します。 オンスクリーン キーボードでグループ短縮ダイヤルの名前を入力し、[**完了**] を選択します。
  - グループにエントリを追加するには: [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、変更するグループ短縮ダイヤルを選択し、**OK(O)** を押します。 矢印キーで短縮ダイヤルをハイライトし、**OK(O)** を押して選択します。 このグループに追加短縮ダイヤルを追加するには、同じ手順を繰り返します。作業が終了したら、**OK(O)** を押します。
  - グループを削除するには: [**短縮ダイヤルを削除**] を選択し、矢印キーで削除する短縮ダイヤルをハイライトし、**OK(O)** を押します。

短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示

設定済みのすべての短縮ダイヤル エントリの一覧は印刷または表示することができます。 一覧の各エントリには、次の情報が含まれます。

- 短縮ダイヤル番号 (最初の 5 つのエントリは、デバイスのコントロール パネルの 5 つの短縮ダイヤル ボタンに対応します)
- ファクス番号またはファクス番号のグループに関連付けられている名前
- ファクスの短縮ダイヤル一覧の場合は、ファクス番号 (またはグループのすべてのファクス番号)

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 短縮ダイヤル エントリの一覧を表示する

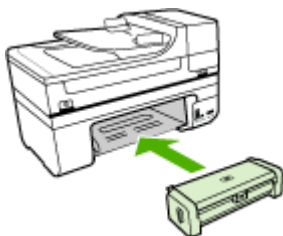
短縮ダイヤル エントリの一覧を表示する

- **HP デバイス マネージャ (Mac OS)**：**[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファクス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **HP Photosmart ソフトウェア (Windows)**: HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **コントロール パネル**： **[セットアップ]** ボタンを押し、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択し、次に **[短縮ダイヤル一覧を印刷]** を選択します。

両面印刷ユニットのインストール

自動的に用紙の両面に印刷できます。 両面印刷ユニットの詳細については、両面印刷 (2 面印刷)を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付けるには

1. はじめて両面印刷ユニットを取り付ける場合は、デバイスの背面を保護しているテープと厚紙を取り外します。
2. 両面印刷ユニットを本体に取り付け、ロックされる位置まで押し込みます。 両面印刷ユニットを取り付けるときにユニットのボタンを押さないでください。ボタンは、本体から取り外すときに押します。

3 印刷

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- プリント設定の変更
- 両面印刷 (2 面印刷)
- 印刷ジョブのキャンセル

プリント設定の変更

プリント設定 (用紙のサイズやタイプ) は、アプリケーション、またはプリンタ ドライバから変更できます。 アプリケーションから変更すると、プリンタ ドライバで加えた変更よりも優先されます。 ただし、アプリケーションを終了すると、ドライバで設定がデフォルトの設定に戻ります。

注記 プリント ジョブすべてにプリント設定を設定するには、プリンタ ドライバで変更を加えます。

Windows のプリンタ ドライバ機能の詳細については、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。 特定のアプリケーションから印刷する方法については、そのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更する (Windows)
- 将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更する (Windows)
- 設定を変更する (Mac OS)

現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更する (Windows)

設定を変更するには

1. 印刷する文書を開きます。
2. **[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします (使用するアプリケーションに応じて、異なるオプションがあります)。
3. 設定を変更し、**[OK]** をクリックし、**[印刷]**、または類似のコマンドをクリックします。

将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更する (Windows)

設定を変更するには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - Or -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[文書デフォルト]**、または **[詳細設定]** を選択します。
3. 設定を変更して、**[OK]** をクリックします。

設定を変更する (Mac OS)

設定を変更するには

1. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックします。
2. 用紙サイズなど、必要な設定を変更して、**[OK]** をクリックします。
3. **[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックして、プリンタドライバを開きます。
4. 用紙タイプなど、必要な設定を変更して、**[OK]** または **[プリント]** をクリックします。

両面印刷 (2 面印刷)

用紙の両面印刷は、手動で行うことも、両面印刷ユニットを使用して自動で行うことも可能です。

注記 プリンタ ドライバは、手動両面印刷をサポートしていません。 両面印刷を行うには、HP 自動両面印刷アクセサリをデバイスに取り付ける必要があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ページの両面に印刷する場合のガイドライン
- 両面印刷を実行する

ページの両面に印刷する場合のガイドライン

- 必ず、デバイスの仕様に準拠したメディアを使用してください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- アプリケーションまたはプリンタ ドライバで 2 面印刷オプションを指定します。
- OHP フィルム、封筒、フォト用紙、光沢のあるメディア、60 g/m ^{2} (ボンド紙 16 ボンド) 未満の用紙、または 105 g/m ^{2} (ボンド紙 28 ポンド) を超える用紙には、両面印刷を行わないでください。 これらの用紙では、紙詰まりの原因となる場合があります。
- レターヘッド、事前に印刷のある用紙、透かしやパンチ穴のある用紙などでは、両面に印刷する場合に特別な方向に給紙する必要があります。 Windows を実行しているコンピュータから印刷すると、メディアの最初の面から印刷されます。 印刷面を下に向けてメディアをセットします。
- 両面印刷でメディアの片面に印刷されると、インクが乾燥する間、デバイスは用紙を保留して待機します。 インクが乾燥すると、用紙はデバイスに再度給紙され、2 番目の面が印刷されます。 印刷が完了すると、用紙は排紙トレイに排出されます。 印刷が完了するまで、用紙をつかまないでください。
- サポートされているカスタムサイズのメディアの両面に印刷するには、用紙の上下を逆にして、もう一度デバイスに給紙します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

両面印刷を実行する

注記 手動で両面印刷を行うには、最初に奇数番号のページを印刷し、ページを裏返して偶数番号のページを印刷します。

自動で両面印刷を行うには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドライン およびメディアのセット を参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。 詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. 文書を開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします。
4. **[機能]** タブをクリックします。
5. **[両面印刷]** ドロップダウン リストを選択します。 自動両面印刷を行うには、**[自動]** が選択されていることを確認します。
6. ドキュメントの画面レイアウトに合わせて各ページのサイズを自動的に変更するには、**[レイアウトを保持]** が選択されていることを確認します。 このオプションを使用しない場合は、間違った場所にページ区切りが発生する場合があります。
7. 綴じ込み方法に応じて、**[上綴じ]** チェック ボックスをオンまたはオフにします。 綴じ込み例については、プリンタ ドライバのグラフィックスを参照してください。
8. 必要に応じて、**[綴じ込みレイアウト]** ドロップダウン リストから綴じ込みレイアウトを選択します。
9. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
10. ドキュメントを印刷します。

自動で両面印刷を行うには (Mac OS)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドライン およびメディアのセット を参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。 詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. **[ファイル]** メニューで **[プリント]** をクリックします。
4. ドロップダウン リストから、**[印刷部数と印刷ページ]** を選択します。

5. 両面に印刷するオプションを選択します。
6. 適切なアイコンをクリックして、綴じ方向を選択します。
7. その他の設定を変更し、**[印刷]** をクリックします。

印刷ジョブのキャンセル

以下の方法を使用して印刷ジョブをキャンセルできます。

デバイスのコントロール パネル：✕ (**キャンセル** ボタン) を押します。 これにより、現在処理中のジョブがクリアされます。 処理待機中のジョブには影響しません。

Windows： コンピュータ画面の右下端に表示されているプリンタ アイコンをダブルクリックします。 印刷ジョブを選択してから、キーボードで **Delete** キーを押します。

Mac OS： **[プリンタ設定ユーティリティ]** でプリンタをダブルクリックします。 印刷ジョブを選択して **[保留]** をクリックし、**[削除]** をクリックします。

4 コピー

高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、さまざまな種類やサイズの用紙で作成することができます。

注記 HP フォト イメージング ソフトウェアからのコピーは Mac OS でのみ使用できます。 詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

注記 文書のコピー中にファクスを受信すると、受信したファクスはコピーが終了するまでデバイス メモリに保存されます。 これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

デバイスのコントロール パネルからのコピーの作成

デバイスのコントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。

デバイスのコントロール パネルからコピーを作成するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   - モノクロ コピーを開始するには、**コピー スタート - モノクロ** を押します。
   - カラー コピーを開始するには、**コピー スタート - カラー** を押します。

   注記 カラー原稿の場合は、**コピー スタート - モノクロ** を押すとモノクロ コピーになり、**コピー スタート - カラー** を押すとフルカラー コピーになります。

コピー設定の変更

コピー設定をカスタマイズすると、ほぼすべてのコピーに対応することができます。

コピー設定を変更しても、その変更は現在のコピー操作にのみ反映されます。 今後すべてのコピー操作にその設定を適用するようにするには、その変更をデフォルトとして設定する必要があります。

現在の設定を今後も使用できるようにデフォルトとして保存するには

1. **コピー メニュー** で設定を変更します。
2. **コピー メニュー** を押し、[**新しいデフォルトの設定**] が表示されるまで矢印キーを押します。
3. 矢印キーを押して [**はい**] を選択し、**OK(O)** を押します。

コピー枚数の設定

デバイスのコントロール パネルの [**コピー枚数**] オプションを使用して、印刷するコピー枚数を設定できます。

デバイスのコントロール パネルからコピー枚数を設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットします。
3. コピー 領域で、**コピー メニュー** を繰り返し押して、[**コピー枚数**] を表示します。
4. ▶ を押すか、キーパッドを使用して、コピー枚数を入力します

   ヒント 矢印ボタンを押し続けるとコピー枚数が 5 枚ずつ増えるので、コピー枚数が多い場合に便利です。

5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

注記 コピー機能は、HP Photosmart ソフトウェア(Windows) またはHP Photosmart Studioソフトウェア (Mac OS) を使用して実行することもできます。 詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

コピー用紙サイズの設定

デバイスで用紙サイズを設定できます。 用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。

デバイスのコントロール パネルから用紙サイズを設定するには

1. コピー 領域で、**コピー メニュー** を繰り返し押して、[**コピー用紙サイズ**] を表示します。
2. 目的の用紙サイズが表示されるまで、▶ を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

注記 コピー機能は、HP Photosmart ソフトウェア(Windows) またはHP Photosmart Studioソフトウェア (Mac OS) を使用して実行することもできます。 詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

コピー用紙の種類の設定

デバイスで用紙の種類を設定できます。

デバイスのコントロール パネルからコピー用紙の種類を設定するには

1. コピー 領域で、**コピー メニュー** を繰り返し押して、[**用紙の種類**] を表示します。
2. 目的の用紙の種類が表示されるまで、▶ を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

次の表を参照して、給紙トレイにセットされている用紙に対応する用紙の種類の設定を選択してください。

用紙の種類	**デバイスのコントロール パネルの設定**
コピー用紙またはレターヘッド	普通紙
HP 用紙（明るい白）	普通紙
プレミアム プラス フォト用紙 (光沢)	プレミアム フォト用紙
プレミアム プラス フォト用紙 (つや消し)	プレミアム フォト用紙
HP プレミアム プラス フォト用紙 L 判/10 x 15 cm	プレミアム フォト用紙
HP プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム	OHP フィルム
その他の OHP フィルム	OHP フィルム
普通はがき	普通紙
インクジェット用官製はがき	プレミアムインクジェット用紙
L 判	プレミアム フォト用紙
2L 判	プレミアムフォト用紙

注記 コピー機能は、HP Photosmart ソフトウェア(Windows) またはHP Photosmart Studioソフトウェア (Mac OS) を使用して実行することもできます。 詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

コピー速度と品質の変更

デバイスには、コピーの速度と品質に関する 3 つのオプションがあります。

- **高画質**(3 つ星) は、各種用紙をより美しく印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が出ないように仕上げます。 **高画質**は、他の品質設定よりもコピー時間がかかります。
- **標準**(2 つ星) は、ほとんどのコピーに適した、高画質な出力設定です。 **標準**は、**高画質**よりも短時間でコピーできます。 これがデフォルト設定値です。
- **はやい**(1 つ星) は、**標準**設定の場合よりも速くコピーできます。 文字の印刷品質は **標準** 設定と変わりませんが、グラフィックスの品質は低下します。 **はやい**設定でコピーをすると、インクの消費量が少ないので、プリント カートリッジの寿命が延びます。

デバイスのコントロール パネルからコピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットします。
3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

注記 コピー機能は、HP Photosmart ソフトウェア(Windows) またはHP Photosmart Studioソフトウェア (Mac OS) を使用して実行することもできます。 詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更

原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、[**ページに合わせる**] または [**ページ全体 91%**] を使用すると、原稿を縮小

でき、端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。

ヒント また、[**ページに合わせる**] で用紙サイズの印刷可能領域内に合わせて、小さな写真を拡大することもできます。 ただし、原稿の縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、 用紙の端に不均等な余白がそのまま残ることがあります。

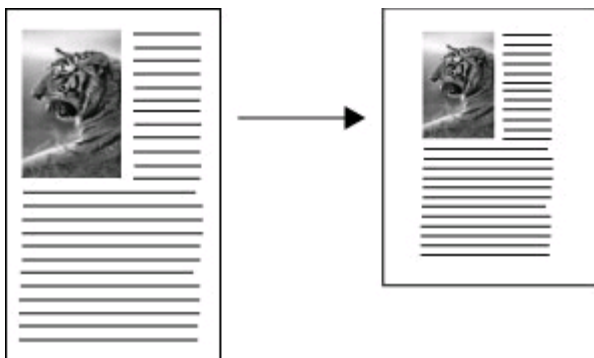
デバイスのコントロール パネルから文書のサイズを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットします。
3. コピー 領域で、**縮小/拡大** を押します。
4. [**ページ全体 91%**]が表示されるまで、▶を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

注記 コピー機能は、HP Photosmart ソフトウェア(Windows) またはHP Photosmart Studioソフトウェア (Mac OS) を使用して実行することもできます。 詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする

[**リーガル > レター 72%**] 設定を使用して、レター用紙に合うようにリーガルサイズの文書のコピーを縮小できます。

注記 例に表示されている倍率は [**リーガル > レター 72%**]、ディスプレイの表示とは一致しない場合があります。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットします。
3. コピー 領域で、[**縮小/拡大**] を押します。
4. ▶が表示されるまで、[**リーガル > レター 72%**]を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コピーの濃淡の調整

[**薄く/濃く**] オプションを使用すると、コピーのコントラストを調整できます。

デバイスのコントロール パネルからコピーのコントラストを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットします。
3. コピー 領域で、**コピー メニュー** を繰り返し押して、[**薄く/濃く**] を表示します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   - ▶ を押して、コピーを濃くします。
   - ◀ を押して、コピーを薄くします。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

注記 コピー機能は、HP Photosmart ソフトウェア(Windows) またはHP Photosmart Studioソフトウェア (Mac OS) を使用して実行することもできます。 詳細については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

コピーの不鮮明な部分を強調

[**強調**] 機能を使用すると、モノクロ文字の輪郭がはっきりし、テキスト文書の品質を調整したり、白に見えてしまう薄い色を強調して、写真を調整することができます。

デフォルトのオプションは [**写真と文字**] の強調です。 [**写真と文字**] 強調を使用すると、ほとんどの原稿の輪郭をくっきりさせることができます。

デバイスのコントロール パネルから不鮮明な文書をコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットします。
3. コピー 領域で、**コピー メニュー** を繰り返し押して、[**強調**] を表示します。
4. [**文字**] 設定が表示されるまで、▶ を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

次のような場合は、[**フォト**] または [**なし**] を選択して [**文字**] の強調をオフにすることができます。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

コピーの薄い部分を強調

[**フォト**] 強調を使用すると、白に見えてしまう薄い色を強調することができます。 [**フォト**] 強調でコピーするときに起こりやすい次のよう

な問題を解消または軽減するには、[**文字**] 強調を使用するのも有効です。

- コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
- 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
- カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
- ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

デバイスのコントロール パネルから露出過度の写真をコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板に原稿を下に向けてセットします。
3. コピー 領域で、**コピー メニュー** を繰り返し押して、[**強調**] を表示します。
4. [フォト] 強調設定が表示されるまで、▶ を押します。
5. **コピー スタート - カラー**を押します。

コピー ジョブのキャンセル

コピーを中止するには、デバイスのコントロール パネルの **キャンセル** を押します。

5 スキャン

原稿をスキャンし、ネットワーク上のフォルダやコンピュータ上のプログラムなど、さまざまな場所に送信することができます。 デバイスのコントロール パネル、HP フォト イメージング ソフトウェア、コンピュータ上の TWAIN 互換または WIA 互換プログラムを使用できます。

スキャン機能は、ソフトウェアをインストールしてはじめて利用できるようになります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

原稿のスキャン

スキャンはコンピュータからでも、デバイスのコントロール パネルからでも行うことができます。 このセクションでは、デバイスのコントロール パネルからのスキャン方法についてのみ説明します。

注記 HP Photosmart ソフトウェア を使用して、パノラマなどの画像をスキャンすることもできます。 このソフトウェアを使用すれば、スキャンした画像を編集したり、スキャンした画像を使用して特別なプロジェクトを作成することができます。 コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、鮮明度調整については、ソフトウェアに付属のオンスクリーンHP Photosmart ソフトウェア ヘルプを参照してください。

スキャン機能を使用するには、デバイスとコンピュータを接続して電源をオンにします。 また、スキャンを実行する前に、コンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要があります。 Windows を実行しているコンピュータでプリンタ ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに、デバイスのアイコンが表示されていることを確認します。 Mac OS を実行しているコンピュータでこれを確認するには、

HP デバイス マネージャを開き、**[画像のスキャン]** をクリックします。 スキャナを利用できる場合は、HP ScanPro アプリケーションが起動します。 利用できない場合は、スキャナが見つからなかったことを示すメッセージが表示されます。

注記 Windows システム トレイにある HP Digital Imaging Monitor アイコンを閉じると、デバイスからスキャン機能の一部が失われ、**[接続していません]** というエラー メッセージが表示されます。 このエラー メッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動するか、または HP Photosmart ソフトウェア を起動すると、機能を完全に回復させることができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- コンピュータ上のプログラムへの原稿のスキャン (直接接続)
- メモリ デバイスへの原稿の送信

コンピュータ上のプログラムへの原稿のスキャン (直接接続)

USB ケーブルを使用してデバイスが直接コンピュータに接続されている場合は、以下の手順に従います。

スキャンが完了すると、選択したプログラムが開き、スキャンした文書が表示されます。

HP フォト イメージング ソフトウェアからコンピュータ上のプログラムにスキャン画像を送信するには

1. コンピュータ上で HP フォト イメージング ソフトウェアを開きます。 詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。
2. 詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。

デバイスのコントロール パネルからコンピュータ上のプログラムにスキャン画像を送信するには (直接接続)

1. スキャナ ガラス板に原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **スキャン メニュー** ボタンまたは **スキャンの送信先** ボタンを押します。

3. 矢印キーを押して、使用するプログラム (HP フォト イメージング ソフトウェアなど) を選択し、**OK(O)** を押します。
4. **スキャン スタート**を押します。

メモリ デバイスへの原稿の送信

スキャンした画像を JPEG 画像として、現在挿入されているメモリ カードに送信できます。

メモリ デバイスにスキャンするには

1. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。
2. メモリ デバイスを挿入します。
3. **スキャンの送信先** を押します。
4. 矢印キーを押して [**メモリ デバイス**] を強調表示し、**OK(O)** を押します。
   デバイスによって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードに保存されます。

埋め込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用

Web スキャンは埋め込み Web サーバの機能の一部であり、Web ブラウザを使用してデバイスで写真や文書をスキャンし、コンピュータに出力することができます。 この機能は、コンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールしなかった場合でも利用できます。

▲ **[情報]** タブをクリックし、左枠の **[Web スキャン]** をクリックします。**[画像タイプ]** と **[ドキュメントのサイズ]** の選択を行い、**[スキャン]** または **[プレビュー]** をクリックします。

埋め込み Web サーバの詳細については、埋め込み Web サーバを参照してください。

TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン

デバイスは TWAIN 互換および WIA 互換であり、TWAIN 互換または WIA 互換のスキャン デバイスをサポートするプログラムを使用できます。 TWAIN 互換または WIA 互換プログラムでは、スキャン機能にアクセスし、スキャン画像を直接プログラムに送信することができます。

TWAIN は、すべての Windows および Mac OS オペレーティング システムでサポートされています。

Windows オペレーティング システムでは、WIA がサポートされているのは Windows XP および Windows Vista での直接接続のみです。 WIA は Mac OS ではサポートされていません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- TWAIN 互換プログラムからスキャンする
- WIA 互換プログラムからスキャンする

TWAIN 互換プログラムからスキャンする

一般的に、**[取得]**、**[ファイルの取得]**、**[スキャン]**、**[新規オブジェクトのインポート]**、**[挿入元]**、**[スキャナ]** のようなコマンドがある場合、そのソフトウェア プログラムは TWAIN 互換です。 プログラムに互換性があるかどうかわからない場合、またはコマンドの名前がわからない場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

TWAIN 互換プログラム内からスキャンを開始します。 コマンドおよび手順の詳細については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

WIA 互換プログラムからスキャンする

一般的に、**[挿入]** メニューまたは **[ファイル]** メニューに **[画像/スキャナまたはカメラから]** のようなコマンドがある場合、そのソフトウェア プログラムは WIA 互換です。 プログラムに互換性があるかどうかわからない場合、またはコマンドの名前がわからない場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

WIA 互換プログラム内からスキャンを開始します。 コマンドおよび手順の詳細については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

スキャンした原稿の編集

HP Photosmart ソフトウェア を使用してスキャンした画像を編集できます。 OCR (光学式文字認識) ソフトウェアを使用して、スキャンした文書を編集することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- スキャンした写真またはグラフィックの編集
- 光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集

スキャンした写真またはグラフィックの編集

HP Photosmart ソフトウェア を使用して、スキャンした写真またはグラフィックを編集できます。 このソフトウェアを使用して、明度、コントラスト、彩度などさまざまな調整を行います。 HP Photosmart ソフトウェア を使用して、スキャンした画像を回転することもできます。

詳細については、オンスクリーン HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ を参照してください。

光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集

OCR ソフトウェアを使用すると、スキャンしたテキストを任意のワード プロセッサ プログラムにインポートして編集することができます。 これにより、レター、新聞の切り抜き、その他多くの文書を編集することができます。

編集に使用するワード プロセッサ プログラムは指定できます。 ワード プロセッサ アイコンが表示されていないかアクティブでない場合は、コンピュータにワード プロセッサ ソフトウェアをインストールしていないか、インストール中にそのプログラムをスキャナ ソフトウェアが認識していません。 ワード プロセッサ プログラムへのリンクの作成方法については、HP フォト イメージング ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

OCR ソフトウェアは、スキャンされたカラー テキストをサポートしていません。 カラー テキストは、常に白黒のテキストに変換されてから、OCR に送信されます。 このため、最終的な文書のすべてのテキストは、元の色にかかわらず白黒になります。

一部のワード プロセッサ プログラムとデバイスとの相互作用は複雑であるため、スキャンしたテキストをワードパッド (Windows のアクセサリ) に送信し、テキストを切り取ってから、目的のワード プロセッサ プログラムに貼り付けた方がよい場合もあります。

スキャン設定の変更

スキャン設定を変更するには

- **HP デバイス マネージャ (Mac OS)**： **[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[スキャン プリファレンス]** を選択します。
- **Windows**： デバイス ソフトウェアを開き、**[設定]** を選択します。次に、**[スキャン設定とプリファレンス]** を選択し、利用可能なオプションから選択して設定を行います。

スキャン ジョブのキャンセル

スキャン ジョブをキャンセルするには、デバイスのコントロール パネルにある **キャンセル** を押します。

6 メモリ デバイスの使用

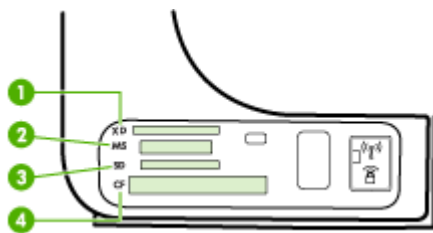
デバイスには、デジタル カメラの数種類のメモリ カードを読み取ることができるメモリ カード リーダーが搭載されています。 メモリ カードに保存されている写真のサムネール ビューを表示するインデックスシートを印刷することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

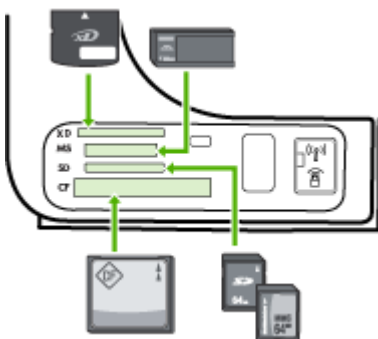
メモリ カードの挿入

デジタル カメラで写した写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合は、そのメモリ カードをデバイスに挿入し、写した写真を印刷したり保存したりすることができます。

△ **注意** アクセス中にメモリカードを取り外そうとすると、カード内のファイルが損傷することがあります。 フォト ランプが点滅していない場合にのみ、カードを安全に取り外すことができます。 また、複数のメモリカードを同時に装着することも絶対に避けてください。メモリカード内のファイルが損傷します。

デバイスでは、以下のメモリ カードをサポートしています。 各タイプのメモリカードは、そのカードに適したスロットにのみ差し込むことができます。

1	xD
2	Memory Stick、MagicGate Memory Stick、Memory Stick Duo、Memory Stick Pro、Memory Stick Micro (アダプタを別途購入する必要がある)
3	Secure Digital、High Caoacity Secure Digital (HCSD)、MultiMediaCard (MMC)、 Secure MMC。 縮小サイズの MultiMediaCard RS - MMC/MMCmobile、MMCmicro、miniSD、microSD (すべての製品でアダプタを別途購入する必要がある)
4	CompactFlash (Type I および II)

メモリ カードを挿入するには

1. メモリ カードのラベルが上、接点がデバイス側を向くようにメモリ カードを持ちます。
2. メモリ カードを対応するメモリ カード スロットに挿入します。

DPOF フォト プリント

カメラが指定する写真とは、デジタル カメラでプリントのマークをつけた写真のことです。 カメラによっては、ページ レイアウト、部数、向き、その他の印刷設定が指定されます。

デバイスは、DPOF (Digital Print Order Format) ファイル形式 1.1 をサポートしているので、印刷する写真を再選択する必要はありません。

カメラが指定した写真を印刷するときは、デバイスの印刷設定は適用されません。ページ レイアウトの DPOF 設定と印刷部数が、デバイスの設定よりも優先されます。

注記 ただし、写真に印刷用のタグを付ける機能のないデジタル カメラもあります。 お使いのデジタル カメラが DPOF ファイル形式 1.1 をサポートしているかどうかについては、カメラのマニュアルを参照してください。

DPOF 標準を使用して、カメラが指定した写真を印刷するには

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. 指示にしたがって、以下のいずれかを実行します。
   - DPOF のタグが付いた写真をすべて印刷するには、**OK(O)** を押します。
     DPOF のタグが付いた写真がすべて印刷されます。
   - 矢印キーを押して [**いいえ(O)**] を強調表示し、**OK(O)** を押します。
     これで、DPOF 印刷が回避されます。

写真の表示

HP Photosmart ソフトウェア を使用して写真を表示できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- コンピュータを使用した写真の表示

コンピュータを使用した写真の表示

デバイスに付属する HP Photosmart ソフトウェア を使用して写真を表示および編集できます。

詳細については、オンスクリーン HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ を参照してください。

デバイスのコントロール パネルからのインデックス シートの印刷

注記 デバイスからアクセスできるのは、JPEG および TIFF 画像ファイルのみです。 他のタイプのファイルを印刷するには、ファイルをメモリ カードからお使いのコンピュータに転送して HP Photosmart ソフトウェア を使用します。

インデックス シートを印刷するには

1. メモリ カードをデバイスの正しいスロットに差し込みます。
2. **フォト メニュー** ボタンを押します。
3. 右矢印ボタンを繰り返し押して、**[インデックス シート]** を選択します。
4. **[OK]** を押します。

コンピュータに写真を保存する

デジタル カメラで写真を撮った後、すぐに印刷することも、コンピュータに保存することもできます。 写真をコンピュータに保存するには、メモリ カードをデジタル カメラから取り出して、デバイスの適切なメモリ カード スロットに挿入します。

写真を保存するには

注記 ネットワーク接続を使用している場合にかぎり、次の手順に従ってください。USB 接続を使用している場合、デバイスにメモリ カードを差し込んだ際にコンピュータ上にダイアログ ボックスが自動的に表示されます。

1. メモリ カードをデバイスの正しいスロットに差し込みます。
2. パソコン上に転送ソフトウェアが起動しますので、画面の指示に従います。
3. 矢印キーを押して [**写真の転送**] を選択し、**OK(O)** を押します。
4. 矢印キーを押して [**はい(Y)**] を選択します。

5. 矢印キーを押して [**コンピュータに転送**] を選択し、コンピュータの名前を選択します。
6. コンピュータの画面に表示される指示に従って、コンピュータに写真を保存します。

7 ファクス

このデバイスを使用して、カラー ファクスを含むファクスの送受信ができます。 ファクスを後で送信するように設定したり、短縮ダイヤルを設定してよく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信することができます。 デバイスのコントロール パネルで、解像度や送信するファクスの薄さと濃さのコントラストなど、さまざまなファクスのオプションも設定できます。

デバイスが直接コンピュータに接続されている場合は、HP フォト イメージング ソフトウェアを使用して、デバイスのコントロール パネルからは利用できない方法でファクスを処理できます。 詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。

注記 ファクス機能を使用する前に、デバイスのファクス機能を正しく設定しておいてください。 初期セットアップで、デバイスのコントロール パネルまたはデバイス付属のソフトウェアを使って、既に設定されている場合もあります。 ファクス機能が正しく設定されているかどうかは、デバイスのコントロール パネルからファクス セットアップ テストを実行して確かめることができます。 ファクス テストを実行するには、**セットアップ** を押し、**[ツール]** を選択します。次に **[ファクス テストを実行]** を選択し、**OK** を押します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。 デバイスのコントロール パネルを使用すれば、モノクロまたはカラーでファクスを送信できます。 付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。 こ

の方法では、ファクスを送信する前に受信者と通話することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 基本的なファクスの送信
- 電話からのファクスの手動送信
- ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信
- ファクスをメモリから送信する
- 後で送信するためのファクスのスケジュール設定
- ファクスを複数の受信者に送信する
- カラー原稿または写真付きファクスを送信する
- ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更
- エラー補正モードでのファクス送信

基本的なファクスの送信

1 ページまたは複数ページのモノクロ ファクスをデバイスのコントロール パネルを使って簡単に送信できます。

注記 ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。

ヒント 電話やダイヤル モニタ機能を使用して、ファクスを手動で送信することもできます。 この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。 通話料金をコーリング カードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能が役に立ちます。

デバイスのコントロール パネルから基本的なファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。

   ヒント 入力するファクス番号間に一定の間隔を加えるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 [-] が表示されるまで、**[記号 (*)]** ボタンを繰り返し押します。

3. **ファクス スタート - モノクロ**を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

   ヒント 受信者からの知らせで、送信したファクスの品質に問題があることがわかった場合は、ファクスの解像度やコントラストを変えてみます。

電話からのファクスの手動送信

手動ファクス送信では、電話をして、ファクスを送信する前に相手と話をすることができます。ファクスを送信する前に相手に送信することを伝えたい場合は、この方法が便利です。ファクスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話の受話器から聞こえます。このため、ファクスの送信にコーリング カードが使用しやすくなります。

受信者側のファクス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファクス機が応答する場合があります。 受信者が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。 ファクス機が応答し

た場合、受信中のファクス機からトーン音が聞こえてから、そのファクス機に直接ファクスを送信できます。

電話から手動でファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. デバイスに接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

   注記 手動でファクスを送信するときは、デバイスのコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。受信者の番号をダイヤルするには、電話機のダイヤルを押します。

3. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

   注記 ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からファクスのトーン音が聞こえます。 次の手順に進んで、ファクスを送信します。

4. ファクスを送信する準備ができたら、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記 メッセージが表示された場合は、**[ファクス送信]** を選択し、もう一度 **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機の **[スタート]** ボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。
   ファクスの送信中は、電話回線は無音になります。 この時点で、受話器を置くことができます。 ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

ダイヤル モニタリングを使用すると、通常電話するように、デバイスのコントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。 ファクスをダイヤル モニタリングで送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声がデバイスのスピーカーから聞こえます。 これに

より、ダイヤル中に音声ガイダンスに応答することも、ダイヤルするペースを指定することもできます。

☼ **ヒント** コーリング カードの PIN の入力に時間がかかると、デバイスからファクス トーンの送信が開始されてしまい、コーリング カード サービス会社が PIN を認識できない場合があります。 その場合は、短縮ダイヤル番号を使用して、コーリング カードの PIN をあらかじめ登録しておいてください。

注記 音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。

デバイスのコントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、ダイヤル トーンが聞こえます。
3. ダイヤル トーンが聞こえたら、デバイスのコントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
4. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

   ☼ **ヒント** コーリング カード PIN を短縮ダイヤルに登録し、コーリング カードを使ってファクスを送信する場合は、PIN の入力を求めるメッセージに対して **短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押し、PIN を登録した短縮ダイヤル番号を選択します。

   受信側のファクス機が応答すると、ファクスが送信されます。

ファクスをメモリから送信する

モノクロ ファクスをメモリに読み込んで、メモリからファクスを送信することができます。 この機能は、これから送信しようとしているファクス番号が通話中、または一時的に通話不能な場合に便利です。 デバイスは原稿をメモリに読み込み、受信するファクス機に接続が完了した時点で送信を行います。 原稿のスキャンが完了したら、すぐに原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り除くことができます。

注記 モノクロ ファクスを送信できるのはメモリからだけです。

メモリ内のファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
5. [**スキャンとファクス**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスは原稿をメモリに読み込んで、相手側ファクス機が受信可能なときにファクスを送信します。

後で送信するためのファクスのスケジュール設定

モノクロのファクスを 24 時間以内に送信するようスケジュール設定することができます。 これにより、たとえば電話回線の混雑が少なく、電話料金が割安の夜間にモノクロのファクスを送信できます。 デバイスが、指定された時刻に自動的にファクスを送信します。

ファクスのスケジュール設定ができる原稿は、一度に 1 件のみです。 ファクスのスケジュール設定がされている状態でも、通常のファクスは送信が可能です。

注記 メモリ容量に制限があるため、ファクスはモノクロのみで送信できます。

デバイスのコントロール パネルからファクスをスケジュール設定するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。

3. [**後でファクスを送信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
4. テンキーパッドを使用して送信時刻を入力し、**OK(O)** を押します。画面の指示に従い、[**午前**] の場合は **1**、[**午後**] の場合は **2** を押します。
5. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスがすべてのページをスキャンし、ディスプレイにスケジュール設定された時刻が表示されます。 ファクスはスケジュール設定された時刻に送信されます。

スケジュールされたファクスをキャンセルするには

1. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
2. [**後でファクスを送信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
   スケジュールされたファクスがある場合は、ディスプレイに **キャンセル** メッセージが表示されます。
3. **1** を押して [**はい(Y)**] を選択します。

   注記 スケジュール設定された時刻がディスプレイに表示されているときに、デバイスのコントロール パネルで **キャンセル** を押しても、スケジュール ファクスをキャンセルすることができます。

ファクスを複数の受信者に送信する

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスをデバイスのコントロール パネルから複数の受信者に送信する
- ファクスをHP Photosmart Studioソフトウェアから複数の受信者に送信する (Mac OS)

ファクスをデバイスのコントロール パネルから複数の受信者に送信する

個別短縮ダイヤル番号をグループ短縮ダイヤル番号にまとめることにより、1 つのファクスを複数の受信者に一度に送信できます。

グループ短縮ダイヤルを使用してファクスを複数の受信者に一度に送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで、**短縮ダイヤル** を繰り返し押します。

   ヒント ◀ または ▶ を押して短縮ダイヤル番号をスクロールすることも、デバイスのコントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルコードを入力して、番号を直接指定することもできます。

3. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスは、自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、グループ短縮ダイヤルの各番号にドキュメントを送信します。

   注記 メモリの量に制限があるため、グループ短縮ダイヤル番号は、モノクロ ファクスの送信にのみ使用できます。 デバイスはファクスをメモリにスキャンしてから、最初の番号をダイヤルします。 接続したらファクスを送信し、次の番号をダイヤルします。 送信先が話し中または応答なしの場合は、[**ビジーリダイヤル**]および[**応答なしリダイヤル**]の設定に従って動作します。 接続できない場合は、次の番号がダイヤルされ、エラー レポートが作成されます。

ファクスをHP Photosmart Studioソフトウェアから複数の受信者に送信する (Mac OS)

ソフトウェアから複数の受信者にファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイス]** ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択し、**[ファクス送信]** をダブルクリックします。
   [プリント] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[プリンタ]** ポップアップ メニューから、HP All-in-One (ファクス) を選択します。
5. ポップアップ メニューから、**[ファクス受信者]** を選択します。
6. 受信者の情報を入力し、**[受信者に追加]** をクリックします。

   注記 受信者は、**[電話帳]** や **[アドレス帳]** からでも追加できます。 **[アドレス帳]** から受信者を選択するには、**[アドレス帳を開く]** をクリックして、**[ファクス受信者]** に受信者をドラッグ アンド ドロップします。

7. 受信者を選択するごとに **[受信者に追加]** をクリックし、受信者全員を **[受取人リスト]** に追加するまでこれを繰り返します。
8. **[今すぐファクスを送信する]** をクリックします。

カラー原稿または写真付きファクスを送信する

デバイスからカラー原稿や写真をファクスすることができます。 デバイスが受信者のファクス機がモノクロ ファクスにしか対応していないことを検出すると、ファクスはモノクロで送信されます。

カラー ファクス送信には、カラー原稿のみを使用することをお勧めします。

デバイスのコントロール パネルからカラー原稿や写真をファクス送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. **ファクス スタート - カラー** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

> **注記** 受信者のファクス機がモノクロ ファクスにしか対応していない場合、HP All-in-One は自動的にモノクロでファクスを送信します。 ファクスの送信後に、ファクスがモノクロで送信されたことを示すメッセージが表示されます。**OK(O)** を押してメッセージを消去します。

ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更

ファクスするドキュメントに応じて、[**解像度**] と [**薄く/濃く**] の設定を変更できます。

> **注記** これらのファクス設定は、コピー設定には影響しません。 コピーの解像度と濃淡は、ファクスの解像度と濃淡とは別に設定されます。 また、デバイスのコントロール パネルでの変更は、コンピュータから送信するファクスには影響しません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス解像度の変更
- [薄く/濃く] 設定の変更
- 新しいデフォルトの設定

ファクス解像度の変更

[**解像度**] の変更は、ファクス送信されるモノクロ文書の送信速度と印字品質に影響します。 受信側のファクス機が HP All-in-One で選択し

た解像度をサポートしていない場合は、受信側のファクス機でサポートする最高の解像度でファクスが送信されます。

注記 ファクスの解像度は、モノクロ送信に限って変更できます。カラー ファクスはすべて[**高画質**]の解像度で送信されます。

ファクス送信には、次の解像度設定を選択できます。[**高画質**]、[**超高画質**]、[**フォト**]、および [**標準**]

- [**高画質**]: ほとんどの文書に適した高品質な文字でファクス送信できます。 これがデフォルト設定値です。 デバイスは、ファクスをカラー送信するときは常に[**高画質**]設定を使用します。
- [**超高画質**]: 極めて精密な画像の文書をファクス送信する場合に、最高の品質が得られます。[**超高画質**] を選択するとファクスの送信に通常より時間がかかります。また、モノクロでのみ送信可能です。カラー ファクスを送信すると、代わりに [**高画質**] 解像度で送信されます。
- [**フォト**]: 写真をモノクロで送信する場合に、最も高品質なファクス送信が可能です。[**フォト**] を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。写真をモノクロで送信するときには、[**フォト**] を選択することをお勧めします。
- [**標準**]: ファクス品質は下がりますが、最も速くファクスを送信することができます。

このオプションは、デフォルトとして変更した場合を除いて、ファクス メニューを終了するとデフォルトの設定に戻ります。

デバイスのコントロール パネルから解像度を変更するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を繰り返し押して、[**解像度**] を表示します。

5. ▶ を押して、解像度設定を選択し、**OK(O)** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

[薄く/濃く] 設定の変更

ファクスのコントラストの強弱を変更することができます。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに役に立ちます。原稿を濃くするには、コントラストを調整します。

注記 [薄く/濃く]設定はモノクロ ファクスにのみ適用され、カラー ファクスには適用されません。

このオプションは、デフォルトとして変更した場合を除いて、ファクス メニューを終了するとデフォルトの設定に戻ります。

デバイスのコントロール パネルから [薄く/濃く] 設定を変更するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を押します。
   [**番号を入力**] が表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を繰り返し押して、[**薄く/濃く**] を表示します。
5. ファクスを薄くするには ◀ を、濃くするには ▶ を押して、**OK(O)** を押します。
   押した矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

新しいデフォルトの設定

デバイスのコントロール パネルから、[**解像度**] と [**薄く/濃く**] 設定のデフォルト値を変更することができます。

デバイスのコントロール パネルから新しいデフォルト設定を行うには

1. [**解像度**] と [**薄く/濃く**] 設定に必要な変更を加えます。
2. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を繰り返し押して、[**新しいデフォルトの設定**] を表示します。
3. [**はい(Y)**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。

エラー補正モードでのファクス送信

[**エラー補正モード**] (ECM) では電話回線の問題によるデータ破損に対処するために、データ伝送中に発生したエラーを検出してエラー部分を再伝送するよう自動的に要求します。良好な状態の電話回線においては電話料金に影響が及ぶことはなく、場合によってはむしろ安くなることもあります。電話回線の状態が悪い場合、ECM にすることで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が高くなります。デフォルトの設定は [**オン**] です。電話料金を安くするためにファクスの品質を問わないという場合にのみ、ECM をオフにしてください。

ECM 設定をオフにする前に、以下を検討してください。ECM をオフにした場合

- 送受信するファクスの品質と送信速度に影響があります。
- [**ファクス速度**] が自動的に [**標準**] に設定されます。
- カラーでのファクスの送受信ができなくなります。

デバイスのコントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK(O)** を押します。

ファクスの受信

ファクスは、自動で受信することも、手動で受信することもできます。 **自動応答** オプションをオフにした場合は、手動でファクスを受信する必要があります。 **自動応答** オプションをオンにすると (デフォルトの設定)、デバイスは [**応答呼出し回数**] 設定で指定されている呼び出

し回数の後、自動的に着信に応答し、ファクスを受信します (デフォルトの [**応答呼出し回数**] 設定は 5 回です)。

デバイスでリーガル サイズの用紙を使用するように設定されていないときに、リーガル サイズのファクスを受信すると、デバイスにセットされている用紙に収まるようにファクスのサイズが自動で縮小されます。 [**自動縮小**] 機能を無効に設定している場合、デバイスはファクスを 2 ページに印刷します。

注記 文書のコピー中にファクスを受信すると、受信したファクスはコピーが終了するまでデバイス メモリに保存されます。 これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスの手動受信
- バックアップ ファクス受信のセットアップ
- 受信済みファクスのメモリからの再印刷
- ポーリングしてファクスを受信する
- 別の番号へのファクスの転送
- ファクス受信用の用紙サイズの設定
- 受信したファクスを自動縮小に設定
- 迷惑ファクス番号の拒否
- コンピュータへのファクスの受信 (PC ファクス受信)

ファクスの手動受信

電話中に接続を維持しながら、通話先の相手からファクスを送ってもらうことができます。 これをファクスの手動受信と呼びます。 このセクションでは、ファクスを手動受信する方法について説明します。

注記 受話器を取り上げて話すか、ファクス トーンを聞くことができます。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- デバイスの 2-EXT ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、デバイスに直接接続されていない電話

ファクスを手動で受信するには

1. デバイスの電源がオンになっていて、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。

> **注記** ファクスを受信するには自動ドキュメント フィーダは空にする必要があります。 文書がドキュメント フィーダにあると、 ファクスは正常に受信されません。

3. デバイスが応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、[**応答呼出し回数**] を多めに設定します。 または、**自動応答** の設定をオフにし、デバイスが自動的に受信ファクスに応答しないようにします。
4. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファクス機で **[スタート]** を押すように指示します。
5. 送信中のファクス機からファクス トーンが聞こえたら、次の操作を行います。
   a. デバイスのコントロール パネルにある **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   b. 画面の指示に従って、[**ファクス受信**] を選択します。
   c. デバイスのファクス受信が始まったら、受話器を置くことも、そのまま待機することもできます。 ファクスの転送中、電話回線は無音になります。

バックアップ ファクス受信のセットアップ

好みとセキュリティ要件に応じて、デバイスが受信したファクスをすべて保存するか、エラー状態の間に受信したファクスのみを保存するか、どのファクスも保存しないかを設定することができます。

以下の [**バックアップ ファクス受信**] モードがあります。

[**オン**]	デフォルトの設定です。 [**バックアップ ファクス受信**] が [**オン**] の場合、デバイスは受信したすべてのファクスをメモリに保存します。 こうしておけば、メモリに保存されている最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。

(続き)

	注記 メモリが少なくなると、デバイスは新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。 メモリが印刷されていないファクスでいっぱいになると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります。 **注記** きめの細かいカラー写真など、サイズの大きなファクスを受信した場合は、メモリ容量の制限により、メモリに保存されないことがあります。
[**エラーの場合のみ**]	デバイスは、エラーによってファクスの印刷ができない場合 (用紙切れなど) にのみ、ファクスをメモリに保存します。 デバイスはメモリの容量が許す限り、受信したファクスを保存し続けます (メモリがいっぱいになると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります)。 エラー状態が解消すると、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。
[**オフ**]	ファクスはメモリにまったく保存されません。 たとえば、セキュリティ保護のために [**バックアップ ファクス受信**] をオフにすることができます。 印刷できないエラー状態 (用紙切れなど) が発生すると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります。

注記 [**バックアップ ファクス受信**] がオンの状態でデバイスの電源をオフにすると、デバイスのエラー発生中に受信した印刷待ちのファクスも含めて、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。 このような場合は、印刷していないファクスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください。 受信したファクス一覧を見るには、[**ファクス ログ**]を印刷します。 デバイスの電源がオフになっても[**ファクス ログ**]は削除されません。

注記 [PC ファクス受信] をオンにする場合、[バックアップ ファクス受信] を [オン] に設定します。 [バックアップ ファクス受信] を [エラーの場合のみ] または [オフ] に設定する場合、[バックアップ ファクス受信] はカラー ファクスの保存を試みます。

デバイスのコントロール パネルから、バックアップ ファクス受信を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**バックアップ ファクス受信**] を選択します。
3. 右矢印ボタンを押して [**オン**]、[**エラーの場合のみ**]、または [**オフ**] を選択します。
4. **OK(O)** を押します。

受信済みファクスのメモリからの再印刷

[**バックアップ ファクス受信**] モードを [**オン**] に設定すると、デバイスにエラーがあるかどうかに関係なく、受信したファクスはメモリに保存されます。

注記 メモリがいっぱいになると、新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスが古い順に消去されます。 保存されたファクスがどれも印刷されていない場合、デバイスは、ファクスを印刷するかメモリから削除するまで、新たなファクス受信に応答しません。 セキュリティまたはプライバシー保護のために、メモリ内のファクスを削除することもできます。

メモリに保存されたファクスの容量に応じて、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。 たとえば、最後に受信したプリントアウトをなくしても、ファクスを再印刷できます。

デバイスのコントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. [**ツール**] を選択し、[**メモリ内のファクスを再印刷**] を選択します。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、**キャンセル** を押します。

デバイスのコントロール パネルから、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

▲ **電源** ボタンを押してデバイスの電源をオフにします。
電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

ポーリングしてファクスを受信する

ポーリングは、現在 HP All-in-One のキューに入っているファクスの送信を、他のファクス機に要求する機能です。 [**ポーリング受信**]機能を使用すると、HP All-in-One は指定された他のファクス機を呼び出し、ファクスの送信を要求します。 指定されたファクス機はポーリングの設定がされ、ファクスを送信できる状態である必要があります。

注記 HP All-in-One はポーリング パス コードをサポートしていません。 ポ ーリング パス コードは、受信側のファクス機に対し、ファクスを受信するために、ポーリングしているデバイスに パス コードを送信するよう要求するセキュリティ機能です。 ポーリングしているデバイスでパス コードが設定されていないこと (またはデフォルト パス コードが変更されていないこと) を確認してください。パス コードが設定されている場合、HP All-in-One はファクスを受信できません。

デバイスのコントロール パネルから、ファクスのポーリング受信を設定するには

1. ファクス 領域で、**ファクス メニュー** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
2. [**ポーリング受信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
3. 他のファクス機のファクス番号を入力します。
4. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記 **ファクス スタート - カラー**を押しても、送信者がモノクロでファクスを送信した場合は、デバイスでもモノクロで印刷されます。

別の番号へのファクスの転送

受信したファクスを他のファクス番号に転送するようにデバイスを設定することができます。 カラー ファクスを受信した場合は、モノクロで転送されます。

転送の前に、転送先のファクス番号を確認することをお勧めします。テストでファクスを送信し、転送先のファクス機がファクスを受信できるか確認してください。

デバイスのコントロール パネルからファクスを転送するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**モノクロでファクスを転送**] を選択します。
3. [**オン - 転送**] または [**オン - 印刷と転送**] が表示されるまで右矢印ボタンを押し、**OK(O)** を押します。
    - ファクスのバックアップ コピーをデバイスで印刷せずに、別の番号に転送する場合は [**オン - 転送**] を選択します。

      注記 指定されたファクス機に (電源が入っていない場合など) ファクスを転送できない場合は、デバイスでファクスを印刷します。 デバイスが受信ファクスのエラー レポートも印刷するように設定されている場合は、エラー レポートも印刷されます。

    - ファクスのバックアップ コピーを印刷し、別の番号に転送もする場合は [**オン - 印刷と転送**] を選択します。
4. 指示画面で、転送先ファクス機の番号を入力します。

5. 指示画面で、開始日時と終了日時を入力します。
6. **OK(O)** を押します。
   コントロールパネルに [**ファクスを転送**] が表示されます。
   [**ファクスを転送**] の設定中にデバイスの電源が切れても、デバイスは [**ファクスを転送**] 設定と電話番号を保存しています。 再び装置の電源が入ると、[**ファクスを転送**] 設定は [**オン**] になっています。

   注記 ファクスの転送をキャンセルするには、ディスプレイに [**ファクスを転送**] メッセージが表示されているときに、デバイスのコントロール パネルの **キャンセル** を押すか、[**モノクロでファクスを転送**] メニューから [**オフ**] を選択します。

ファクス受信用の用紙サイズの設定

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。ファクスはレター用紙、A4 用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

注記 ファクスを受信したときに不適当な用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。ファクスを印刷するには、レター用紙、A4 用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして、**OK(O)** を押します。

デバイスのコントロール パネルから、ファクス受信用の用紙サイズを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**]、[**ファクスの用紙サイズ**]の順に選択します。
3. ▶ を押してオプションを選択し、**OK(O)** を押します。

受信したファクスを自動縮小に設定

[**自動縮小**]設定は、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP All-in-One がどう対応するかの設定です。 デフォルトの設定はオンで、受信したファクスの画像が 1 ページに収まるように縮小されます。 この機能をオフにすると、1 ページ目に収まらなかった情報は 2 ページ目に印刷されます。 [**自動縮小**]は、リーガルサイ

ズのファクスを受信する場合やレターサイズの用紙を給紙トレイにセットする場合に便利です。

デバイスのコントロール パネルから自動縮小を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**]、[**自動縮小**]の順に選択します。
3. ▶ を押して [**オフ**] または [**オン**] を選択します。
4. **OK(O)** を押します。

迷惑ファクス番号の拒否

電話会社の発信者 ID サービスに加入すると、特定のファクス番号を拒否して、デバイスが今後それらの番号から受信したファクスを印刷しないようにすることができます。 ファクスの受信があったとき、デバイスは、その番号を迷惑ファクス番号リストと比較して、その受信を拒否するべきかどうかを判断します。 番号が、拒否ファクス番号リストの番号と一致した場合、ファクスは印刷されません (拒否できるファクス番号の最大数は、モデルによって異なります)。

注記 この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。 お住まいの国/地域でサポートされていない場合、[**ファクスの基本設定**] メニューに [**迷惑ファクスを拒否の設定**] は表示されません。

注記 発信者 ID リストに電話番号が 1 つも追加されていない場合は、ユーザーが電話会社と発信者 ID サービスの契約を結んでいないと考えられます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 迷惑ファクス モードの設定
- 迷惑ファクス一覧に番号を追加
- 迷惑ファクス一覧から番号を削除

迷惑ファクス モードの設定

デフォルトの [**迷惑ファクスを拒否**] モード設定は [**オン**] です。 電話プロバイダの発信者 ID サービスに加入していない、またはこの機能を使用したくない場合は、設定をオフにすることができます。

迷惑ファクス モードを設定するには

▲ **迷惑ファクスを拒否** ボタンを押し、[**迷惑ファクスを拒否**] オプションを選択し、[**オン**] または [**オフ**] を選択します。

迷惑ファクス一覧に番号を追加

迷惑ファクス一覧に番号を追加するには 2 通りの方法があります。 発信者 ID 履歴から番号を選択するか、または任意の番号を入力します。 迷惑ファクス一覧にある番号は、[**迷惑ファクスを拒否**] モードが [**オン**] にセットされている場合に拒否されます。

発信者 ID 一覧から番号を選択するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファクスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストに番号を追加**] を押し、[**番号の選択**] を押します。
4. 右矢印ボタンを押して、受信したファクス番号をスクロールします。 拒否するファクス番号が表示されたら、**OK(O)** を押して選択します。
5. [**次を選択?**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
    - **迷惑ファクス番号リストに別の番号を追加する場合**は、[**はい**] を押し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
    - **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

拒否する番号を手動で入力するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファクスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストに番号を追加**] を押し、[**番号の入力**] を押します。

4. キーパッドを使ってファクス番号を入力し、**OK(O)** を押します。
   受信したファクスのヘッダーに表示されている番号は実際と異なる場合があるので、ヘッダーの番号ではなく、コントロール パネルのディスプレイに表示されるファクス番号を入力してください。
5. [**追加しますか？**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   • **迷惑ファクス番号リストに別の番号を追加する場合**は、[**はい**] を押し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   • **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

迷惑ファクス一覧から番号を削除

ファクス番号を拒否する必要がなくなった場合は、その番号を迷惑ファクス一覧から削除することができます。

迷惑ファクス番号リストから番号を削除するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファクスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストから番号を削除**] を押します。
4. 右矢印ボタンを押して、拒否したファクス番号をスクロールします。 削除するファクス番号が表示されたら、**OK(O)** を押して選択します。
5. [**削除しますか？**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   • **迷惑ファクス番号リストから別の番号を削除する場合**は、[**はい**] を押し、削除する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   • **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

コンピュータへのファクスの受信 (PC ファクス受信)

[PC ファクス受信] を使用すると、ファクスを自動的に受信し、コンピュータに直接ファクスを保存できます。 [PC ファクス受信] を使用すると、ファクスのデジタル コピーを簡単に格納できます。また、この機能を使用することにより、分厚い紙の束を扱うわずらわしさもなく

なります。 受信したファクスは TIFF (タグ付きイメージ ファイル形式) で保存されます。 ファクスを受信すると、ファクスを保存したフォルダへのリンクを提供する通知を受け取ります。

ファイルには、次の形式で名前が付けられます。XXXX_YYYYYYYY_ZZZZZZ.tif。この場合、「X」は送信者の情報、「Y」は日付、「Z」はファクスの受信時刻です。

注記 [PC ファクス受信] は、モノクロ ファクスを受信する場合にのみ利用できます。 カラーファクスは、コンピュータに保存されず、印刷されます。

注記 [PC ファクス受信] は、Windows でのみサポートされています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- PC ファクス受信の有効化
- [PC ファクス受信] の設定を修正する

PC ファクス受信の有効化

[PC ファクス受信セットアップ ウィザード] を使用して [PC ファクス受信] を使用可能にします。 [PC ファクス受信セットアップ ウィザード] は、ソリューション センターから開始できます。

注記 [PC ファクス受信] を [オン] にする場合、[バックアップ ファクス受信] が [オン] に設定されていることを確認します。

PC ファクス受信機能の要件：

- [PC ファクス受信] 機能を使用可能にする管理プログラム コンピュータは、常に電源が入っている状態にする必要があります。 [PC ファクス受信] 管理コンピュータとして動作できるコンピュータは、1 台のみです。
- 宛先フォルダがあるコンピュータまたはサーバが [PC ファクス受信] 管理コンピュータ以外の場合、それらのコンピュータまたはサーバの電源は常に入っている状態である必要があります。 宛先コンピュータもまた動作させておく必要があります。コンピュータがスリープ モードまたはハイバネート モードの場合、ファクスは保存されません。
- Windows のタスクバーの HP Digital Imaging Monitor は常にオンである必要があります。
- 用紙は給紙トレイにセットしておきます。

[PC ファクス受信セットアップ ウィザード] を Solution Center から開始するには

1. Solution Center を開きます。 詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。
2. **[設定]** をクリックし、**[PC ファクス受信セットアップ ウィザード]** を選択します。
3. 画面に表示される指示に従って、[PC ファクス受信] を設定します。

[PC ファクス受信] の設定を修正する

コンピュータ上の [PC ファクス受信] の設定は、ソリューション センターのファクス設定ページでいつでも更新できます。 [PC ファクス受信] 機能とファクス印刷機能は、デバイスのコントロール パネルからオフに設定できます。

デバイスのコントロール パネルから [PC ファクス受信] の設定を変更するには

1. **[セットアップ]** ボタンを押し、**[ファクスの基本設定]** を選択し、**[PC ファクス受信]** を選択します。
2. 変更する設定を選択します。 以下の設定を変更できます。
   - **[PC ホスト名の表示]**： [PC ファクス受信] を管理するために設定するコンピュータ名を表示します。
   - **[オフにする]**： [PC ファクス受信] をオフにします。

     注記 ソリューション センター を使って [PC ファクス受信] をオフにします。

   - **[ファクス印刷を無効にする]**： ファクスを受信したときに印刷する場合は、このオプションを選択します。 印刷をオフにしても、カラー ファクスは印刷されます。

ソリューション センターから [PC ファクス受信] 設定を変更するには

1. Solution Center を開きます。 詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。
2. **[設定]**、**[ファクス設定]** を順に選択します。

3. **[PC ファクス受信の設定]** タブを選択します。
4. 必要に応じて、設定を変更します。 **[OK]** を押します。

> **注記** 変更すると、元の設定が上書きされます。

ファクス設定の変更

デバイスに付属の [セットアップ ガイド] の手順を実行した後、初期設定を変更したり、ファクスのその他のオプションを設定したりするには、次の手順に従います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスのヘッダーの設定
- 応答モード (自動応答) の設定
- 応答までの呼び出し回数の設定
- 着信識別応答呼び出し音のパターンの変更
- ファクスのエラー補正モードの設定
- ダイヤル方式の設定
- リダイヤル オプションの設定
- ファクス速度の設定

ファクスのヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。 デバイス用にインストールしたソフトウェアを使用して、ファクス ヘッダーを設定することをお勧めします。 ここに記されているとおり、デバイスのコントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

> **注記** 一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

ファクスのヘッダーを設定または変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **[ファクスの基本設定]** を押し、**[ファクスヘッダ]** を押します。
3. 数値キーパッドで個人名または会社名を入力し、**OK(O)** を押します。
4. キーパッドを使用してファクス番号を入力し、**OK(O)** を押します。

応答モード (自動応答) の設定

応答モードでは、デバイスが電話の着信に自動で応答するかどうかを設定します。

- デバイスでファクスに [**自動的に**] 応答するには、**自動応答** をオンにします。 デバイスが、すべての受信電話とファクスに自動で応答します。
- ファクスに [**手動で**] 応答するには、**自動応答** をオフにします。 受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、デバイスはファクスを受信しません。

デバイスのコントロール パネルで応答モードを手動または自動に設定するには

▲ **自動応答** を押して、希望の設定に合わせてランプのオン/オフを切り替えます。
自動応答 ランプが点灯している場合は、デバイスが自動的に応答します。 ランプが点灯していない場合、デバイスは着信への応答を行いません。

応答までの呼び出し回数の設定

自動応答 設定をオンにした場合、デバイスが自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

[**応答呼出し回数**] 設定は、特にデバイスと同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。デバイスが応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。 デバイスの応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、デバイスの呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、デバイスが電話回線を監視します。 デバイスがファクス受

信音を検出した場合、デバイスはファクスを受信します。 着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。

デバイスのコントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押し、[**応答呼び出し回数**] を押します。
3. キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、左または右矢印ボタンを押して呼び出し回数を変更します。
4. **OK(O)** を押して設定します。

着信識別応答呼び出し音のパターンの変更

多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。 この着信識別サービスでは、番号ごとに異なる呼び出し音のパターンが割り当てられます。 デバイスが特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

着信識別音が設定されている電話回線にデバイスを接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。 ファクス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。 デバイスは、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン [**すべての呼び出し**] を使用してください。

注記 メインの電話番号の受話器が外れている場合、HP ファクスはファクスを受信できません。

デバイスのコントロール パネルで着信識別応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. デバイスがファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。

3. [**ファクスの詳細設定**] を押し、[**応答呼出し音のパターン**] を押します。
4. 右矢印ボタンを押してオプションを選択し、**OK(O)** を押します。
   ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、デバイスは着信に応答して、ファクスを受信します。

ファクスのエラー補正モードの設定

通常、デバイスは、ファクスの送受信時に電話回線上の信号を監視します。 エラー補正の設定がオンになっており、伝送中にエラー信号を検出した場合、デバイスはファクスの一部の再送信を要求することができます。

ファクスの送受信に問題がある場合や、伝送中のエラーを受け入れる場合にのみ、エラー補正をオフにしてください。 他の国や地域にファクスを送信するときや他の国や地域からファクスを受信するとき、または衛星電話回線を使用しているときに、この設定をオフにすると便利な場合があります。

ファクスのエラー補正モードを設定するには

▲ **デバイスのコントロール パネル**： **ファクス メニュー** を押し、[**ファクスの詳細設定**] メニューを開き、[**エラー解決モード**] オプションを使用します。

ダイヤル方式の設定

トーン ダイヤル モードまたはパルス ダイヤル モードに設定するには、次の手順に従います。 工場出荷時のデフォルトの設定は [**トーン**] です。 電話回線でトーン ダイヤルを使用できないことがわかっている場合以外は、この設定を変更しないでください。

注記 パルス ダイヤル オプションは、一部の国/地域では利用できません。

ダイヤル方式を設定するには

▲ **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押し、[**ファクスの基本設定**] を押し、[**トーン回線またはパルス回線**] オプションを使用します。

リダイヤル オプションの設定

受信側のファクス機が応答しないか、ビジー状態であるためにデバイスがファクスを送信できなかった場合、デバイスはビジー リダイヤルまたは応答なしリダイヤル オプションの設定に応じてリダイヤルします。 このオプションのオンとオフを切り替えるには、次の手順に従います。

- **ビジー リダイヤル**： このオプションをオンにすると、デバイスはビジー信号を受信した場合に自動的にリダイヤルします。 このオプションの工場出荷時のデフォルトの設定は [**オン**] です。
- **応答なしリダイヤル**： このオプションをオンにすると、デバイスは受信側のファクス機が応答しない場合に自動的にリダイヤルします。 このオプションの工場出荷時のデフォルトの設定は [**オフ**] です。

リダイヤル オプションを設定するには

▲ **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押し、[**ファクスの詳細設定**] を押し、[**ビジー リダイヤル**] または [**応答なしリダイヤル**] オプションを使用します。

ファクス速度の設定

ファクスを送受信するときにデバイスと相手のファクス機の間で通信する、ファクス速度を設定することができます。 デフォルトのファクス速度は [**はやい**] です。

以下のサービスを使用している場合は、必要に応じて、ファクス速度の設定を遅くします。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- FoIP (Fax over Internet Protocol)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信に問題がある場合は、[**ファクス速度**] 設定を [**標準**] または [**おそい**] に設定することをおすすめします。 次の表は、使用可能なファクス速度設定の一覧です。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[**はやい**]	v.34 (33600 ボー)
[**標準**]	v.17 (14400 ボー)
[**おそい**]	v.29 (9600 ボー)

デバイスのコントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**ファクス速度**] を押します。
3. 矢印キーを使用してオプションを選択し、**[OK]** を押します。

インターネット経由のファクス

デバイスを使用して、インターネット経由でファクスを送受信できる低コスト電話サービスを利用できる場合があります。 この方法は、FoIP(Fax over Internet Protocol) と呼ばれます。 次のような場合は、(電話会社が提供する) FoIP サービスを使用しているはずです。

- ファクス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファクス接続用のアナログ電話ポートがある

注記 電話コードをデバイスの "1-LINE" と書かれたポートに接続した場合だけファクスの送受信が可能です。 つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

一部のインターネット ファクス サービスでは、デバイスが高速 (33600bps) でファクスを送受信していると正常に動作しない場合があります。 インターネット ファクス サービスの使用中に、ファクスの送受信で問題が起きたら、ファクス速度を遅くしてください。 [**ファクス速度**] の設定を [**はやい**] (デフォルト) から [**標準**] にすれば、ファクス速度が遅くなります。 この設定の変更については、ファクス速度の設定 を参照してください。

インターネット ファクスについて質問がある場合は、インターネット ファクス サービス サポート部門にお問い合わせください。

ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストしてデバイスの状態を調べ、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。 このテストは、デバイスのファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 テストの内容は次のとおりです。

- ファクスのハードウェアをテストする
- 正しい種類の電話コードがデバイスに接続されていることを確認する
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する
- ダイヤル トーンを検出する
- アクティブな電話回線を検出する
- 電話回線の接続状態をテストする

テスト結果は、レポートとしてデバイスから印刷されます。 テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

ファクス設定をテストするには

1. ご家庭や職場に適した設定方法で、デバイスのファクス設定を行います。
2. テストを開始する前に、プリント カートリッジが取り付けられ、フルサイズの用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
3. デバイスのコントロール パネルの **セットアップ** を押します。

4. [**ツール**] を選択し、[**ファクス テストを実行**] を選択します。
   デバイスのディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5. レポートの内容を確認します。
   • テストにパスしてもファクスの送受信に問題がある場合は、レポートに記載されているファクス設定をチェックして、正しく設定されているかどうかを確認します。 設定がブランクになっていたり、正しく設定されていなかったりすると、ファクスの送受信に問題が発生します。
   • テストにパスしなかった場合は、レポートで問題の解決方法を確認します。

レポートの使用

ファクスの送受信のたびに、エラー レポートと確認のレポートを自動印刷するように、デバイスを設定できます。 必要に応じてシステム レポートを手動で印刷することもできます。これらのレポートには、デバイスに関する役に立つシステム情報が含まれています。

デフォルトの設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、デバイスでレポートが印刷されます。 送受信するたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス確認レポートの印刷
- ファクス エラー レポートの印刷
- ファクス ログの印刷と表示

ファクス確認レポートの印刷

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する**前に**、ファクス送受信の確認を有効にします。 [**送信**] または [**送受信**] を選択します。

デフォルトのファクス確認設定は、[**オフ**] です。 つまり、ファクスが送受信されるたびに確認レポートは印刷されません。 ただし、 送受信

のたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

ファクス送受信の確認を有効にするには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**レポートの印刷**] を押し、[**ファクスの確認**] を押します。
3. 右矢印ボタンを押して次のいずれかの設定を選択し、**OK(O)** を押します。

[**オフ**]	ファクスの送受信に問題がない時は、ファクス確認レポートを印刷しません。 これがデフォルト設定値です。
[**送信**]	ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[**受信**]	ファクスの受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[**送受信**]	ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。

ヒント [**送信**] または [**送受信**] を選択して、メモリから送信するファクスをスキャンする場合は、ファクスの最初のページの画像を[**送受信の確認**] レポートに含めることができます。 **セットアップ** を押し、[**ファクスの確認**] を押し、次に [**ファクス送信時**] を再び押します。 [**ファクス送信レポートの画像**] メニューから [**オン**] を選択します。

ファクス エラー レポートの印刷

送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するようにデバイスを設定できます。

ファクス エラー レポートを自動的に印刷するようにデバイスを設定するには

1. セットアップ を押します。
2. [**レポートの印刷**] を押し、[**ファクス エラー レポート**] を押します。
3. 右矢印ボタンを押して次のいずれかの設定を選択し、**OK(O)** を押します。

[**送受信**]	ファクス エラーが発生するたびに印刷されます。これがデフォルト設定値です。
[**オフ**]	ファクス エラー レポートは印刷されません。
[**送信**]	送受信エラーが発生するたびに印刷されます。
[**受信**]	受信エラーが発生するたびに印刷されます。

ファクス ログの印刷と表示

ログには、デバイスのコントロール パネルから送信されたファクスと、受信したファクスすべてが表示されます。

デバイスが送受信したファクスのログを印刷できます。 ログの各エントリには、次の情報が含まれます。

- 送受信の日付と時刻
- 種類 (受信または送信)
- ファクス番号
- 所要時間
- ページスウ
- 送受信の結果 (ステータス)

HP フォト イメージング ソフトウェアでファクス ログを表示するには

1. コンピュータで HP フォト イメージング ソフトウェアを開きます。 詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。
2. 詳細については HP フォト イメージング ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。
   ログには、デバイスのコントロール パネルと HP フォト イメージング ソフトウェアから送信されたファクスと、受信したファクスすべてが表示されます。

デバイスのコントロール パネルからファクス ログを印刷するには

1. デバイスのコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. 矢印キーを押して [**レポートの印刷**] に移動し、**OK(O)** を押します。
3. 矢印キーを押して [**ファクス ログ**] に移動し、**OK(O)** を押します。
4. **OK(O)** を再び押してログを印刷します。

ファクスのキャンセル

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

ファクスをキャンセルするには

▲ 送受信しているファクスを中止するには、デバイスのコントロール パネルで **キャンセル** を押します。 ファクスの送受信が停止しない場合は、**キャンセル** をもう一度押します。
デバイスは、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。 しばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

▲ ダイヤルを中止するには、**キャンセル** を押します。

8　構成と管理

このセクションは、デバイスを管理する管理者および担当者を対象としています。 このセクションでは、次のトピックについて説明します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスの管理
- デバイス管理ツールの使用
- 自己診断テスト ページの理解
- ネットワーク設定ページの理解
- ネットワーク オプションの構成
- デバイスのファクス機能のセットアップ
- デバイスの構成 (Windows)
- デバイスの構成 (Mac OS)
- デバイスのワイヤレス通信のセットアップ
- ソフトウェアのアンインストールと再インストール

デバイスの管理

次は、デバイス管理に使用する一般的なツールの一覧です。 これらのツールへのアクセスと使用情報については、デバイス管理ツールの使用を参照してください。

注記　特定の手順には、他の方法が含まれる場合があります。

Windows

- デバイスのコントロール パネル
- プリンタ ドライバ
- ツールボックス

Mac OS

- デバイスのコントロール パネル
- HP プリンタ ユーティリティ

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスの監視
- デバイスの管理

デバイスの監視

このセクションには、デバイスの監視手順が記載されています。

使用するツール	次の情報を取得
デバイスのコントロール パネル	処理中のジョブのステータス、デバイスの操作ステータス、およびプリント カートリッジのステータスについての情報を取得します。
ツールボックス (Windows)	**プリント カートリッジの情報**：**[推定インク レベル]** タブをクリックしてインク レベル情報を表示し、スクロールして **[カートリッジの詳細]** ボタンを表示します。 **[カートリッジの詳細]** ボタンをクリックし、交換プリント カートリッジと有効期限に関する情報を表示します。*
HP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）	**インク カートリッジ情報**： **[情報とサポート]** パネルを開いて、**[サプライ品ステータス]** をクリックします。 *

* インク レベルの警告機能とインジケータは、推定インク残量を表示します。 インク残量の低下を警告するメッセージがディスプレイに表示されたら、印刷に遅れが生じないように印刷プリント カートリッジを交換してください。 印刷の品質が許容できないほど悪くなった場合、プリント カートリッジを交換する必要があります。

デバイスの管理

このセクションには、デバイスの管理と設定の変更についての情報が記載されています。

使用するツール	操作内容
デバイスのコントロール パネル	• **言語と国/地域**： **セットアップ** を押し、[**基本設定**] メニューを開きます。 国/地域が不明な場合は、「99」を押し、リストから目的の国/地域を探します。 • **デバイスのコントロール パネルの音量**： **セットアップ** を押し、[**基本設定**] メニューを開きます。 • **ファクス音のボリューム**： **セットアップ** を押し、**[ファクス音のボリューム]** を選択します。 • **自動レポート印刷**： **セットアップ** を押し、[**レポートの印刷**] メニューを開きます。 • **ダイヤル方式の設定**： **セットアップ** を押し、[**ファクスの基本設定**] メニューを開きます。 • **リダイヤル オプションの設定**：**セットアップ** を押し、[**ファクスの詳細設定**] メニューを開きます。 • **日付と時刻の設定**： **セットアップ** を押し、[**ツール**] を押して、[**日付と時刻**] を押します。
ツールボックス (Windows)	**デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[サービス]** タブをクリックします。
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)	• **トレイ設定の変更**： **[用紙の取り扱い]** を **[プリンタ設定]** パネルからクリックします。 • **デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[情報とサポート]** パネルを開き、 実行する作業のボタンをクリックします。

デバイス管理ツールの使用

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ツールボックス (Windows)
- 埋め込み Web サーバ
- HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)

ツールボックス (Windows)

ツールボックスでは、デバイスのメンテナンス情報が提供されます。

注記 コンピュータがシステム要件を満たしている場合、ツールボックスは、フル インストール オプションを選択してスタータ CD からインストールできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ツールボックスを開く
- ツールボックス タブ

ツールボックスを開く

- HP Solution Center で、**[設定]** メニューをクリックし、**[印刷設定]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックス]** をクリックします。
- タスクバーの [HP Digital Imaging Monitor] を右クリックし、**[プリンタ モデル名]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックスの表示]** をクリックします。

ツールボックス タブ

ツールボックスには、次のタブが含まれます。

タブ	内容
推定インク レベル	• **インク量情報**：各カートリッジの予想インク量が表示されます。 **注記** インクレベルの警告機能とインジケータは、推定インク残量を表示します。 インク残量の低下を警告するメッセージがディスプレイに表示されたら、印刷に遅れが生じないように印刷プリント カートリッジを交換してください。印刷の品質が許容できないほど悪くなった場合、プリント カートリッジを交換する必要があります。 • **オンライン ショップ:** デバイスの印刷サプライ品をオンラインで注文できる Web サイトにアクセスできます。 • **カートリッジダイヤル**： デバイスのサプライ品を注文するための電話番号が表示されます。 一部の国/地域では電話番号が表示されません。 • **カートリッジの詳細**：装着されているプリント カートリッジの注文番号を表示します。
サービス	• **プリント診断ページ**： デバイスの自己診断テスト ページを印刷できます。 このページにはデバイスとサプライ品についての情報が表示されます。 詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。 • **テスト ページの印刷:** デバイスのセルフテスト レポートを印刷できます。 このページにはデバイスとプリント カートリッジについての情報が表示されます。 詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。 • **プリント カートリッジの位置調整**： プリント カートリッジの位

埋め込み Web サーバ

デバイスがネットワークに接続されている場合、埋め込み Web サーバを使用してコンピュータからステータス情報の表示、設定の変更、およびデバイスの管理などを行うことができます。

注記 埋め込み Web サーバのシステム必要条件のリストについては、埋め込み Web サーバの仕様 を参照してください。

パスワードが必要となり、制限される設定もいくつかあります。

インターネットに接続しなくても、埋め込み Web サーバを開いて使用できます。ただし、一部の機能は使用できません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

埋め込み Web サーバを開くには

埋め込み Web サーバは、次の方法で開くことができます。

注記 プリンタ ドライバ (Windows) または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) から埋め込み Web サーバを開くには、デバイスがネットワークに接続され、IP アドレスが割り当てられている必要があります。

• **Web ブラウザ**： コンピュータでサポートされている Web ブラウザで、デバイスに割り当てられている IP アドレスを入力します。
  例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。 http://123.123.123.123
  デバイスの IP アドレスは、自己診断テスト ページに表示されています。 詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
  埋め込み Web サーバを開いた後、お気に入りに保存すると、後からすばやく開くことができます。
• **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[プリンタ設定]** パネルで、**[その他の設定]** をクリックし、**[埋め込み Web サーバを開く]** ボタンをクリックします。

埋め込み Web サーバのページ

埋め込み Web サーバには、製品情報を表示したりデバイス設定を変更できるページがあります。 ページには、別の E-サービスへのリンクも含まれています。

ページ/ボタン	内容
[情報] ページ	デバイス、インク サプライ品と使用状況についてのステータス情報、およびデバイス イベント (エラーなど) のログが表示されます。
[設定] ページ	デバイスに構成された設定が表示され、これらの設定を変更できます。
[ネットワーキング] ページ	ネットワーク ステータスとデバイスに構成されたネットワーク設定が表示されます。 これらのページは、デバイスがネットワーク接続されている場合にしか表示されません。 詳細については、ネットワーク オプションの構成を参照してください。
[Bluetooth] ページ	デバイスに構成された Bluetooth の設定が表示され、これらの設定を変更できます。
[サポート] および [サプライの注文] ボタン	**[サポート]** は、サポート サービス数を提供します。 **[サプライの注文]** ボタンで、サプライ品のオンライン注文に接続できます。

HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)

HP プリンタ ユーティリティには、プリント設定の構成、デバイスの位置調整、サプライ品のオンライン注文、および Web サイトのサポート情報の検索などのツールが含まれています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

HP プリンタ ユーティリティを開く

HP プリンタ ユーティリティをデスクトップから開くには

1. **[Finder]** の **[Go]** メニューから、**[コンピュータ]** を選択します。
2. **[アプリケーション]** を選択し、**[ユーティリティ]** をダブルクリックします。
3. **[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。
4. HP デバイスを選択して **[ユーティリティ]** ボタンをクリックします。
5. HP デバイスを選択して **[ユーティリティの起動]** をクリックします。

HP デバイス マネージャから HP プリンタ ユーティリティを開くには

1. Dock にリストされている **[HP デバイス マネージャ]** をクリックします。
2. [情報と設定] メニューから、**[プリンタの保守]** を選択します。
3. HP デバイスを選択して **[ユーティリティの起動]** をクリックします。

HP プリンタ ユーティリティのパネル

情報とサポート パネル

- **サプライ品詳細**： 現在装着されているプリント カートリッジについての情報が表示されます。
- **サプライ製品情報**： プリント カートリッジの交換オプションを示します。
- **デバイス情報**： デバイスのモデル番号とシリアル番号についての情報が表示されます。 このページにはデバイスとサプライ品についての情報が表示されます。
- **クリーニング**： プリント カートリッジのクリーニングについての指示が記載されています。

- **位置調整**： プリント カートリッジの位置調整についての指示が記載されています。
- **HP サポート**： HP Web サイトにアクセスし、デバイスのサポート、デバイスの登録、および使用済みのプリント サプライ品の返品とリサイクルについての情報を表示できます。

自己診断テスト ページの理解

自己診断テスト ページを使用して、次のような作業を行うことができます。

- 現在のデバイス情報およびプリント カートリッジの状態を表示する
- 問題のトラブルシューティング

自己診断テスト ページには、最新イベントのログも含まれます。

HP に連絡する場合は、電話をする前に自己診断テスト ページを印刷すると役立ちます。

1. **プリンタの情報**： デバイス情報 (製品名、モデル番号、シリアル番号、およびファームウェア バージョン番号など) およびトレイから印刷されたページ数が表示されます。
2. **ノズル テスト パターン**：線がきちんと印字されない場合、プリント カートリッジに問題があります。 プリント カートリッジをクリーニングするか、カートリッジを交換してください。
3. **カラー バーとボックス**：カラー バーやボックスが不均一であったり、かすれや薄い部分がある場合は、インク残量が少ないことを示しています。 インク残量を確認してください。
4. **イベント ログ**： 最近発生したイベントのログが表示されます。

自己診断テスト ページを印刷するには

- **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押し、[**レポートの印刷**] を選択し、[**セルフテスト レポート**] を選択し、**OK(O)** を押します。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[テスト ページの印刷]** をクリックします。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[デバイス情報]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックし、**[設定ページの印刷]** をクリックします。

ネットワーク設定ページの理解

デバイスがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定ページを印刷してデバイスのネットワーク設定を表示できます。 ネットワーク設定ページは、ネットワーク接続に関する問題のトラブルシ

ューティングに役立ちます。 HP に連絡する場合は、電話をする前にこのページを印刷すると役立ちます。

ネットワーク設定ページ

1. **一般情報**： ネットワークの現在の状態とアクティブな接続タイプに関する情報と、埋め込み Web サーバの URL などのそれ以外の情報が表示されます。
2. **802.3 ワイヤ**： IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイなどのアクティブなワイヤード ネットワーク接続に関する情報と、デバイスのハードウェア アドレスが表示されます。
3. **802.11 ワイヤレス**： IP アドレス、通信モード、ネットワーク名、認証タイプ、信号強度などの、アクティブなワイヤレス ネットワーク接続に関する情報が表示されます。
4. **mDNS**：アクティブな Multicast Domain Name System (mDNS) 接続に関する情報を表示します。mDNS サービスは主に、従来の DNS サーバーが使用されていない小規模なネットワークで (UDP ポート 5353 を介した) IP アドレスと名前の解決に使用されます。
5. **SLP**：現在使用している Service Location Protocol (SLP) 接続に関する情報を表示します。 SLP は、デバイス管理のために、ネットワーク管理アプリケーションが使用します。 このデバイスは、IP ネットワーク上の SNMPv1 プロトコルをサポートします。

デバイスのコントロール パネルからネットワーク設定ページを印刷するには

- デバイスに 2 行ディスプレイが搭載されている場合： **セットアップ** ボタンを押し、[**ネットワーク設定**] を選択し、[**ネットワーク設定の印刷**] を選択し、**OK(O)** を押します。
- デバイスにカラー ディスプレイが搭載されている場合： **セットアップ** ボタンを押し、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**ネットワーク設定ページの印刷**] を選択し、**OK (O)** を押します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- チャネル範囲の定義

チャネル範囲の定義

次の表は、802.11 ワイヤレス チャネル範囲定義の一覧です。

<table>
<tr><td colspan="2">最初の桁数はロケール番号を表します</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロケール 0： チャンネル 1-11：
• 高パワー 802.11b
• 低パワー 802.11g</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロケール 1： チャンネル 1-13：
• 低パワー 802.11b
• 低パワー 802.11g</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロケール 2： チャンネル 1-14：
• 低パワー 802.11b
• 低パワー 802.11g
注記 802.11g はチャンネル 14 には許可されていません。</td></tr>
<tr><td>2 番目の桁数は、アドホック互換モードを表します</td><td>0: アドホック接続ステータス ノミナル
1: アドホックは常に接続されているようにみえます</td></tr>
<tr><td>3 番目の桁数はインフラストラクチャ レート制限を表します</td><td>0: 802.11b または 802.11g
1: 802.11b のみ</td></tr>
<tr><td>4 番目の桁数は、アドホック レート制限を表します</td><td>0: 802.11b または 802.11g</td></tr>
</table>

	1: 802.11b のみ

ネットワーク オプションの構成

次のセクションで説明する手順に従って、デバイスのコントロール パネルでデバイスのネットワーク設定を管理することができます。 また、埋め込み Web サーバを使用するとより詳細なネットワーク設定を行うことができます。この Web サーバは既存のネットワーク接続を使用して Web ブラウザからアクセスできるネットワーク構成およびステータス ツールです。 詳細については、埋め込み Web サーバを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 基本的なネットワーク設定の変更
- 詳細なネットワーク設定の変更

基本的なネットワーク設定の変更

コントロール パネルのオプションを使用して、ワイヤレス接続の設定や管理を行ったり、さまざまなネットワーク管理タスクを実行したりできます。 このタスクには、ネットワーク設定の表示、ネットワークのデフォルト設定の復元、ワイヤレスのオン・オフ設定、ネットワーク設定の変更などが含まれます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ワイヤレス セットアップ ウィザードの使用
- ネットワーク設定の表示と印刷
- ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

ワイヤレス セットアップ ウィザードの使用

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用すると、デバイスへのワイヤレス接続を簡単に設定したり、管理したりできます。 ワイヤレス接続のセットアップ方法およびワイヤレス セットアップ ウィザードの詳細については、デバイスのワイヤレス通信のセットアップを参照してください。

ネットワーク設定の表示と印刷

ネットワーク設定の一覧をデバイスのコントロール パネルに表示したり、より詳細な構成ページを印刷することができます。 ネットワーク

設定ページには、IP アドレス、リンク速度、DNS、mDNS など、重要なネットワーク設定が一覧表示されます。 ネットワーク設定については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   - ワイヤード (Ethernet) ネットワークの設定を表示するには、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] を選択します。（一部のモデルのみ）
   - ワイヤレス ネットワークの設定を表示するには、[**ネットワーク設定を表示**] を押し、[**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を押します。（一部のモデルのみ）
   - ネットワーク設定ページを印刷するには、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**ネットワーク設定ページの印刷**] を選択します。

ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

ワイヤレスはデフォルトでオンに設定されています。ワイヤレスがオンの場合は、デバイス前面のブルーのインジケータが点灯します。 ワイヤレス ネットワークへの接続を保つには、無線を常にオンにしておく必要があります。 しかし、デバイスが有線ネットワークに接続されていたり、USB で接続されている場合は、無線は使用されません。 この場合、無線をオフにしておくことをお勧めします。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。
3. ワイヤレスをオンにするには、[**ワイヤレス**] を選択し、[**はい**] を選択します。オフにするには、[**いいえ**] を選択します。

詳細なネットワーク設定の変更

必要に応じて、ネットワークを詳細に設定することができます。 ただし、ネットワーク管理に詳しくない場合は、これらの設定を変更しないでください。 詳細設定には、[**リンク速度**]、[**IP 設定**]、および [**メモリ カード セキュリティ**] があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- リンク速度の設定
- IP 設定を表示するには
- IP 設定を変更するには

リンク速度の設定

ネットワーク上でのデータ送信速度を変更することができます。 デフォルトの設定は [**自動**] です。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。
3. [**詳細設定**] を選択し、[**接続速度**] を選択します。
4. リンク速度の横の、お使いのネットワーク機器と一致する番号を押します。
   - [**1. 自動**]
   - [**2. 10 Mb/sec 全二重通信**]
   - [**3. 10 Mb/sec 半二重通信**]
   - [**4. 100 Mb/sec 全二重通信**]
   - [**5. 100 Mb/sec 半二重通信**]

IP 設定を表示するには

- カラー ディスプレイ： デバイスのコントロール パネルでデバイスの IP アドレスを表示するには、**セットアップ** ボタンを押し、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択します。次に、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] または [**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を選択します。
- 2 行のディスプレイ： デバイスの IP アドレスを表示するには、ネットワーク設定ページを印刷する必要があります。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

IP 設定を変更するには

デフォルトの IP 設定は [**自動**] で、IP 設定を自動的に行いますが、 ネットワーク管理に詳しい場合は、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを手動で変更できます。

△ **注意** IP アドレスを手動で割り当てる場合は注意が必要です。 インストール時に無効な IP アドレスを割り当てると、各ネットワークコンポーネントからデバイスに接続できなくなります。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。
3. [**詳細設定**] を選択し、[**IP 設定**] を選択し、[**IP 設定**] を選択します。
4. IP 設定の横にある以下の番号を押します。
   • [**1. IP アドレス**]
   • [**2. サブネットマスク**]
   • [**3. デフォルト ゲートウェイ**]
5. 変更する内容を入力し、**OK(O)** をクリックします。

デバイスのファクス機能のセットアップ

[セットアップ ガイド] に記載されたすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。 [セットアップ ガイド] は後で使用できるように保管してください。

このセクションでは、ファクス機能が同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、デバイスを設定する方法を説明します。

ヒント ファクス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファクス セットアップ ユーティリティ (Mac OS) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。 デバイス用にインストールしたソフトウェアから、ファクス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファクス セットアップ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスできます。 ファクス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファクス セットアップ ユーティリティ (Mac OS) を起動したら、このセクションの手順に従ってファクスのセットアップを行います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)
- シリアル方式のファクスのセットアップ

ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)

デバイスのファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。 デバイスのファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- お住まいの国または地域が下記の表になければ、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。 シリアル方式の電話の場合、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタの種類が違うため、デバイスの "2-EXT" ポートに接続することはできません。 電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。

  注記 シリアル方式の電話システムを使用する国または地域の場合、デバイス付属の電話コードに別の壁プラグが接続している可能性があります。 これにより、デバイスを差し込んでいる壁側のモジュラー ジャックに別の通信装置を接続できます。

- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。 パラレル方式の電話システムの場合、 背面の "2-EXT" ポートを使用して、共有する電話機器を電話回線に接続することができます。

  注記 パラレル方式の電話システムの場合は、デバイスに付属の 2 線式電話コードを使用して、壁の電話ジャックにデバイスを接続することをお勧めします。

表 8-1 パラレル タイプの電話の国または地域

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア

パラレル タイプの電話の国または地域 (続き)

メキシコ	フィリッピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

自宅またはオフィスに合った正しいファクス セットアップの選択

同じ電話回線をデバイスと共有する機器やサービスがある場合、ファクスを正常に使用するには、それらの機器やサービスの種類を知っておく必要があります。 これは、既存のオフィス機器をデバイスに直接接続しなければならない場合に重要です。また、正常にファクスを使

用するには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

自宅またはオフィスに合ったデバイスのセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。 そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1. 電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   「はい」とお答えの方は ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
2. 構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。
   「はい」とお答えの方は ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
3. 複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。
   「はい」とお答えの方は ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用 に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
   着信識別サービスを利用しているかどうか不明ですか。 多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。
   この着信識別サービスでは、電話番号ごとに異なる呼び出し音パターンを使用します。 シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。 一方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファクス用に割り当てることができます。 こうしておけば、電話が鳴ったときに電話かファクスかがわかります。

4. 同じ電話番号でデバイスのファクスと電話を一緒に利用しますか。
   続けて質問にお答えください。
5. デバイスと同じ電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用していますか。
   コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しているかどうか不明ですか。 次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しています。
   • ダイヤルアップ接続でコンピュータのソフトウェア アプリケーションから直接ファクスを送受信している。
   • ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している。
   • ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している。
   続けて質問にお答えください。
6. 同じ電話番号でデバイスのファクスと留守番電話を一緒に利用しますか。
   続けて質問にお答えください。
7. 同じ電話番号でデバイスのファクスと電話会社のボイス メール サービスを一緒に利用しますか。
   質問にすべて答えたら、次のセクションに進み、適切なファクス セットアップを選択します。

適切なファクス セットアップの選択

これで、同じ電話回線でデバイスと機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。自宅またはオフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。 ご使用の電話方式に合わせて、2 列目、3 列目から適切なセットアップを選択します。 各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「いいえ」を選択してください。

注記 自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合は、デバイスを通常のアナログ電話のようにセットアップします。 付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。 他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

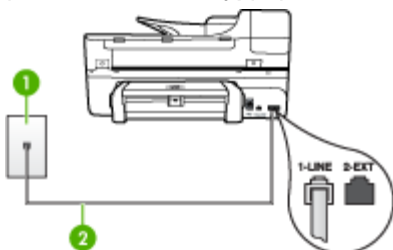
ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
いいえ (すべての質問に「いいえ」と回答しました。)	ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)	シリアル方式のファクスのセットアップのお住まいの国に関する記述を参照してください。
DSL サービス (質問 1 のみに「はい」と回答しました。)	ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ	シリアル方式のファクスのセットアップのお住まいの国に関する記述を参照してください。
PBX または ISDN システム (質問 2 のみに「はい」と回答しました。)	ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ	シリアル方式のファクスのセットアップのお住まいの国に関する記述を参照してください。
着信識別サービス (質問 3 のみに「はい」と回答しました。)	ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用	シリアル方式のファクスのセットアップのお住まいの国に関する記述を参照してください。
電話 (質問 4 のみに「はい」と回答しました。)	ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する	シリアル方式のファクスのセットアップのお住まいの国に関する記述を参照してください。
電話とボイスメールサービス	ケース F： 電話とファクスとボイスメー	シリアル方式のファクスのセットアップ

(続き)

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
(質問 4 および 7 のみに「はい」と回答しました。)	ル サービスを一緒に利用する	のお住まいの国に関する記述を参照してください。
コンピュータ ダイヤルアップ モデム (質問 5 のみに「はい」と回答しました。)	ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデム (質問 4 および 5 のみに「はい」と回答しました。)	ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する	適用できません。
電話と留守番電話 (質問 4 および 6 のみに「はい」と回答しました。)	ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話 (質問 4 、 5 および 6 のみに「はい」と回答しました。)	ケース J： 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイスメールサービス (質問 4 、 5 および 7 のみに「はい」と回答しました。)	ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する	適用できません。

ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に他の機器を何も接続しない場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 8-1 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する

単独のファクス回線の環境にデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。 この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオンにします。
3. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクス テストを実行します。

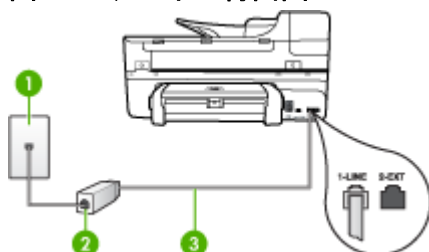
電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。 デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ

電話会社の DSL サービスを利用し、デバイスに機器を接続しない場合は、次のように壁側のモジュラージャックとデバイスの間に DSL フィ

ルタを取り付けます。 デバイスが電話回線で正しく通信することができるように、DSL フィルタでデバイスを妨害する可能性のあるデジタル信号を除去します(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)

注記 DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、デバイスでファクスを送受信できなくなります。

図 8-2 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSLプロバイダから支給された DSL (または ADSL) フィルタおよびコード
3	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する

DSL 環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの空いているポートに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 付属のコードで DSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

   付属の電話コードは 1 本なので、このセットアップでは追加の電話コードが必要になる場合があります。

3. DSL フィルタの追加の電話コードを壁側のモジュラージャックに接続します。
4. ファクス テストを実行します。

ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートにデバイスが接続されていることを確認してください。 また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。 たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。 ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。 このポートには "multi-combi" などのラベルが付いている場合があります。

- PBX システムを使用している場合は、電話の呼び出し音をオフにします。

  注記 多くのデジタル PBX システムでは、電話の呼び出し音が工場出荷時の設定で「オン」になっています。 電話の呼び出し音は、ファクス送信の妨害となり、デバイスでファクスの送受信ができなくなります。 電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで 壁側のモジュラー ジャックとお使いのデバイスを正しく接続します。 接続していない場合、ファクスを正しく行うことはできません。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。 付属の電話コードでは短すぎる場合、お近くの電器店からカプラーを購入して延長することができます。

ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 8-3 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する

着信識別サービスの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオンにします。

3. [**応答呼出し音のパターン**] 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

> **注記** デバイスの工場出荷時の設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。 [**応答呼出し音のパターン**] がファクス番号に割り当てられていた呼出し音のパターンと一致するように設定しないと、デバイスが電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

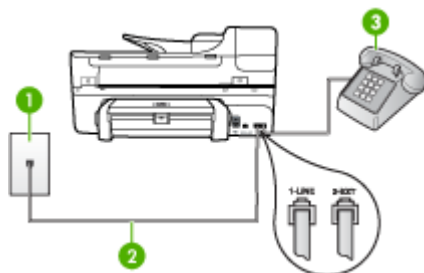
4. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。

5. ファクス テストを実行します。

デバイスでは、[**応答呼出し音のパターン**] 設定で選択した呼び出し音のパターンの着信に対して、[**応答呼出し回数**] 設定で選択した呼び出し回数の後に自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 8-4 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する

(続き)

3	電話機 (オプション)

電話とファクスの共有回線環境にデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

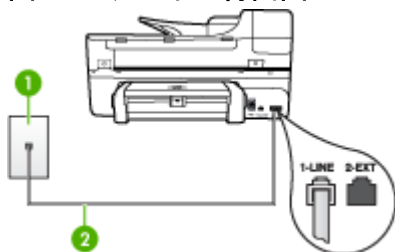
2. 次のいずれかの操作を行います。
   - パラレル方式の電話システムを使用している場合、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   - シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続されたデバイスのケーブルの一番先に電話を直接接続します。
3. ここで、デバイスでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に [**自動**] で応答する設定の場合は、デバイスがすべての着信に応答し、ファクスを受信します。 この場合、デバイスではファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、デバイスが着信に応答する前に自分で応答する必要があります。 デバイスで着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   - ファクスを [**手動**] で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、デバイスでファクスを受信できません。 手動で着信に応答するようにデバイスを設定するには、**自動応答** をオフにします。
4. ファクス テストを実行します。

デバイスが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社のボイスメールサービスも利用する場合は、次のようにデバイスを接続します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。 ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

図 8-5 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

ボイスメールサービスの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとデバイスでファクスを受信できません。 ボイスメールが電話に応答する前にファクスの手動受信を開始する必要があります。

ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

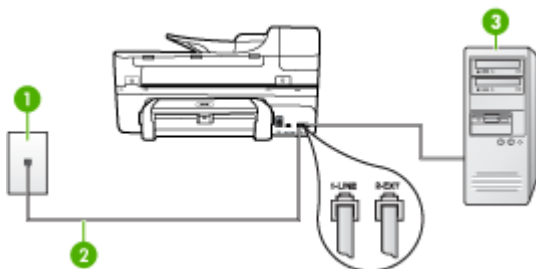
電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ モデムを接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

注記 コンピュータにダイヤルアップ モデムがある場合、コンピュータのダイヤルアップ モデムはデバイスと電話回線を共有します。 モデムとデバイスを同時に使用することはできません。 たとえば、コンピュータのダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でデバイスをセットアップするには
- コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのデバイスのセットアップ

コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でデバイスをセットアップするには

1 つの電話回線をファクスの送信とコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用している場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 8-6 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する
3	モデム搭載コンピュータ

コンピュータ ダイヤルアップ モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

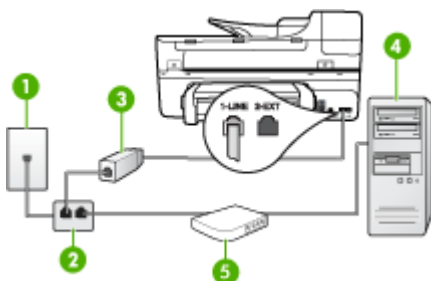
4. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. (オプション) [**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのデバイスのセットアップ

DSL 回線があり、その電話回線を使用してファクスを送信する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ デバイスに付属の電話ジャックの片方の端を、デバイス背部の 1-LINE ポートに接続します。 コードのもう一方の端を DSL/ADSL フィルタに接続します。
4	コンピュータ
5	コンピュータの DSL/ADSL モデム

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 付属のコードで DSL フィルタとデバイス背面を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
4. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
5. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
6. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムも接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

注記 コンピュータ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することはできません。たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する
- 電話とファクスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する

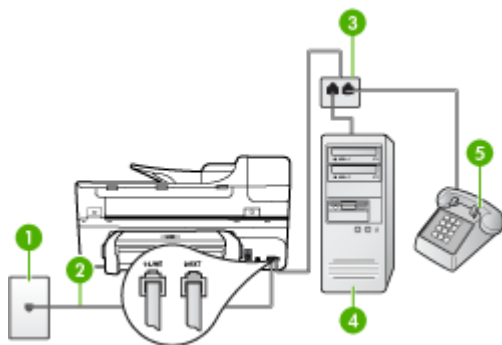
電話回線をファクスと電話の両方に使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスをセットアップする方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります。(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。)

図 8-7 パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 1 つある場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 8-8 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス背面の 1-LINE ポートに差し込まれているデバイス付属の電話コード

3	パラレル スプリッター
4	コンピュータ
5	電話

電話ポートが 1 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 コードを壁側のモジュラー ジャックから切断し、パラレル スプリッターに差し込みます。
3. パラレル スプリッターの電話コードを、デバイス背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに接続します。
4. 電話をパラレル スプリッターに接続します。
5. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP デバイスでファクスを受信できなくなります。

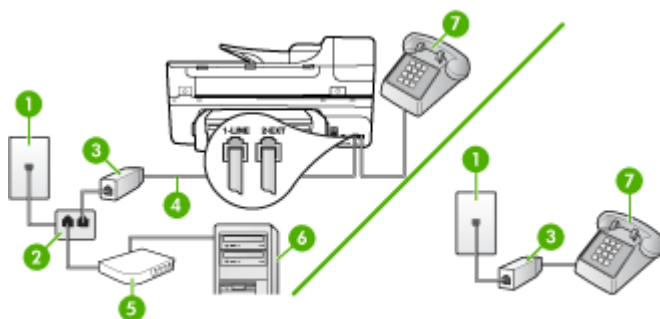
7. ここで、デバイスでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   • 着信に [**自動**] で応答する設定の場合は、デバイスがすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、デバイスではファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、デバイスが着信に応答する前に自分で応答する必要があります。デバイスで着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   • ファクスを [**手動**] で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、デバイスでファクスを受信できません。手動で着信に応答するようにデバイスを設定するには、**自動応答** をオフにします。
8. ファクス テストを実行します。

注記 コンピュータの背面に電話ポートが 2 つある場合には、パラレル スプリッターを使用する必要はありません。 電話はコンピュータのダイヤルアップ モデムの“OUT”ポートに差し込むことができます。

デバイスが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

電話回線を電話、ファクス、およびコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

電話とファクスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

コンピュータに DSL/ADSL モデムがある場合は、次の手順に従います。

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	デバイスに付属の電話コード
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	電話

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、または パラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL フィルタに接続する必要があります。そうしないと、電話をかけたときにノイズが発生します。

2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

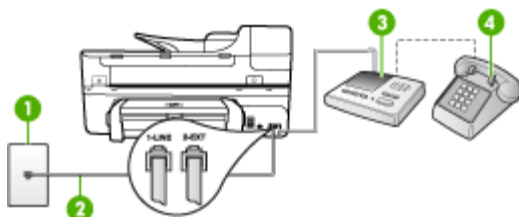
   注記 付属のコードで DSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. パラレル方式の電話システムを使用している場合、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
4. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も応答する場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 8-9 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	付属の電話コードを使用して、デバイス背面の 1-LINE ポートに接続します
3	留守番電話
4	電話機 (オプション)

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

   注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

3. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合は、留守番電話と電話の両方をデバイスに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入して使用します。 これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
8. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。 この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。 ファクス受信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

ケース J： 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP デバイスをセットアップします。

注記 コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP デバイスと共有しているので、モデムと HP デバイスの両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータのダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、HP デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する
- 電話とファクスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

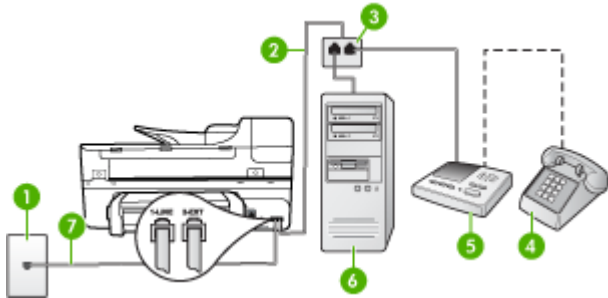
電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP デバイスを設定する方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに電話ポートが 1 つしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッターを購入する必要があります。(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 8-10 パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 1 つの場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 8-11 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッターに接続している電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

電話ポートが 1 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. HP デバイスの背面の2-EXTと書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

3. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

> **注記** デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

4. HP デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の1-LINEと書かれているポートに接続します。

> **注記** 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

> **注記** 留守番電話が外部の電話に接続できない場合は、留守番電話と電話の両方をデバイスに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入して使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

> **注記** モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

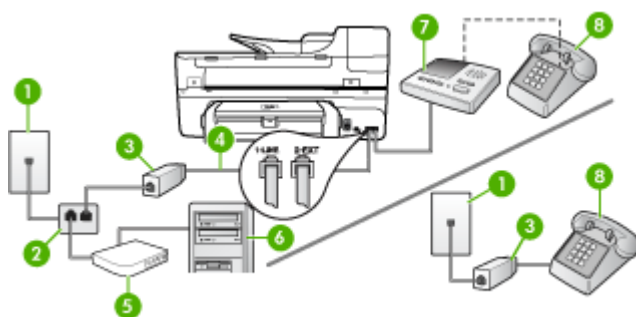
7. **自動応答** の設定をオンにします。
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。

9. HP デバイスの[**応答呼出し回数**]設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。

10. ファクス テストを実行します。

> **注記** 2 つの電話ポートを持つコンピュータを使用している場合は、パラレル スプリッターは必要ありません。留守番電話をコンピュータ背面の “OUT” ポートに差し込むことができます。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。ファクス受信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

電話とファクスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	デバイス背面の 1-LINE ポートに接続されているデバイス付属の電話コード
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ

(続き)

7	留守番電話
8	電話機 (オプション)

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL/ADSL フィルタは、DSL/ADSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL/ADSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL/ADSL フィルタに接続する必要があります。そうしないと、電話をかけたときにノイズが発生します。

2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL/ADSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 付属のコードで DSL/ADSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL/ADSL フィルタをスプリッターに接続します。

4. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイス背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。

 注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
8. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します。

 注記 呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。

9. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定した回数だけ呼び出し音が鳴った後にアンサーフォンが応答し、録音されている応答メッセージを再生します。 この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。 ファクス着信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話が音声メッセージを録音できるようになります。

同じ電話回線を電話とファクスに使用しており、コンピュータの DSL モデムがある場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムも利用して電話会社のボイスメール サービスも利用する場合は、次のようにデバイスを設定します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

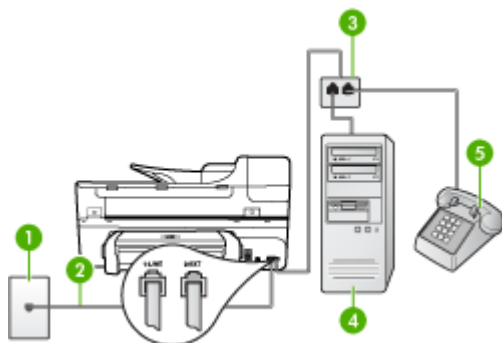
コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、デバイスをファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスをセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 8-12 パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 2 つある場合は、下記の手順でデバイスをセットアップしてください。

図 8-13 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する
3	パラレル スプリッター
4	モデム搭載コンピュータ
5	電話

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。

4. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

6. **自動応答** の設定をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとデバイスでファクスを受信できません。

シリアル方式のファクスのセットアップ

シリアル方式の電話システムを使用してファクス用にデバイスをセットアップする方法の詳細については、お住まいの国/地域のファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス(フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス(ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig
フィンランド	www.hp.fi/faxconfig
デンマーク	www.hp.dk/faxconfig
スウェーデン	www.hp.se/faxconfig
ノルウェイ	www.hp.no/faxconfig

(続き)

オランダ	www.hp.nl/faxconfig
ベルギー (オランダ語)	www.hp.be/nl/faxconfig
ベルギー (フランス語)	www.hp.be/fr/faxconfig
ポルトガル	www.hp.pt/faxconfig
スペイン	www.hp.es/faxconfig
フランス	www.hp.com/fr/faxconfig
アイルランド	www.hp.com/ie/faxconfig
イタリア	www.hp.com/it/faxconfig

デバイスの構成 (Windows)

注記 インストール プログラムを実行するには、お使いのコンピュータに Microsoft Internet Explorer 6.0、またはそれ以降がインストールされていなければなりません。

また、Windows 2000、Windows XPまたは Windows Vista にプリンタ ドライバをインストールするには、管理者権限がなければなりません。

デバイスをセットアップする際、HP ではソフトウェアをインストールした後でデバイスを接続するようお勧めしています。これは、インストール プログラムにより設定が簡単になるためです。 ただし、ケーブルを最初に接続した場合は、ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 直接接続
- ネットワーク接続

直接接続

USB ケーブルを使用して、デバイスをお使いのコンピュータに直接接続できます。

注記 デバイス ソフトウェアをインストールして Windows を実行しているコンピュータにデバイスを接続した場合、デバイス ソフトウェアを再インストールしなくても USB ケーブルを使用して同じコンピュータに別のデバイスを接続できます。

デバイスを設定する際、HP ではソフトウェアをインストールした後でデバイスを接続するようお勧めします。これは、インストール プログラムにより設定が簡単になるためです。 ただし、ケーブルを最初に接続した場合は、ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)
- ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続する
- ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)

ソフトウェアをインストールするには

1. 実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD メニューが自動的に実行されます。 CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
3. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
4. 画面の指示に従って、デバイスの電源を入れ、USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。 コンピュータ画面に **[新しいハードウェアの検出]** ウィザードが表示され、[プリンタ] フォルダにデバイスのアイコンが作成されます。

注記 デバイスを使用する必要があるときに、後から USB ケーブルを接続することもできます。

ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続する

デバイス ソフトウェアのインストール前にデバイスをコンピュータに接続した場合、画面に **[新しいハードウェアの検出]** ウィザードが表示されます。

注記 デバイスの電源を入れた場合は、インストール プログラム実行中にデバイスの電源を切ったり、ケーブルをデバイスから外さないでください。 これに従わないとインストール プログラムが完了しません。

デバイスを接続するには

1. **[新しいハードウェアの検出]** ダイアログ ボックスにプリンタ ドライバを検索する方法が示されたら、[詳細] オプションを選択して **[次へ]** をクリックします。

   注記 **[新しいハードウェアの検出]**ウィザードでドライバの自動検索が実行されないようにしてください。

2. ドライバの場所を指定するチェック ボックスを選択し、ほかのチェック ボックスが選択されていないことを確認してください。
3. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD メニューが表示された場合は、CD メニューを閉じます。
4. スタータ CD のルート ディレクトリの場所を指定し (D: など)、**[OK]** をクリックします。
5. **[次へ]** をクリックし、画面の指示に従います。
6. **[完了]** をクリックして、**[新しいハードウェアが見つかりました]**ウィザードを閉じます。 ウィザードは、自動的にインストール プログラムを起動します (これには時間がかかる場合があります)。
7. インストール処理が完了します。

注記 ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

ローカル共有ネットワークでは、デバイスは選択したコンピュータ (サーバ) の USB コネクタに直接接続され、他のコンピュータ (クライアント) と共有されます。

注記 ローカル接続されたデバイスを共有する場合は、最新のオペレーティング システムを使用しているコンピュータをサーバとして使用してください。 例えば、Windows XP を実行しているコンピュータと別のバージョンの Windows を実行しているコンピュータがある場合、Windows XP を実行しているコンピュータをサーバとして使用します。

この設定は、小規模のグループ、または利用頻度が少ない場合に使用します。 多くのユーザーが共有デバイスに印刷すると、接続されているコンピュータの速度は遅くなります。

共有されるのは印刷機能だけです。 スキャンおよびコピー機能は共有されません。

デバイスを共有するには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - Or -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. デバイスのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[共有]** タブをクリックします。
3. デバイスを共有するためのオプションを選択し、デバイスの共有名を入力します。
4. 他のバージョンの Windows を使用するクライアント コンピュータとデバイスを共有するには、**[追加ドライバ]** をクリックして、それぞれのバージョンのドライバをインストールできます。 スタータ CD が CD ドライブに挿入されていなければなりません。

ネットワーク接続

デバイスにネットワーク機能がある場合、デバイスをネットワークに直接接続してネットワーク環境で共有できます。 このタイプの接続では、埋め込み Web サーバを使用してネットワーク上のどこからでもデバイスを管理できます。

注記 インストール プログラムを実行するには、お使いのコンピュータに Microsoft Internet Explorer 6.0、またはそれ以降がインストールされていなければなりません。

お使いのタイプのネットワークにインストール オプションを選択します :

- **クライアント/サーバ・ネットワーク** :　ネットワークに専用プリント サーバとして機能しているコンピュータがある場合、プリンタ ソフトウェアをサーバにインストールし、プリンタ ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールします。 詳細については、ネットワークにデバイスをインストールするにはおよびプリンタ ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするにはを参照してください。 この方法では、デバイスのすべての機能を共有することはできません。 クライアント コンピュータでは、デバイスによる印刷のみ実行できます。
- **ピア ツー ピア ネットワーク** :　ピア ツー ピア ネットワークがある場合 (専用プリント サーバのないネットワーク)、デバイスを使用するコンピュータにソフトウェアをインストールします。 詳細については、ネットワークにデバイスをインストールするにはを参照してください。

また、Windows で **[プリンタの追加]** ウィザードを使用すると、両方のタイプのネットワークでネットワーク プリンタに接続することもできます。 詳細については、[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするにはを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワークにデバイスをインストールするには
- プリンタ ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするには
- [プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするには

ネットワークにデバイスをインストールするには

次のようなネットワーク シナリオでは、以下の手順を使用してプリンタ ソフトウェアをインストールします。

ピア ツー ピア ネットワークがある場合 (専用プリント サーバのないネットワーク)

1. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外し、デバイスをネットワークに接続します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD のメニューが自動的に起動します。 CD メニューが自動的に起動しない場合、コンピュータの CD ドライブを開き、**[Setup.exe]** をダブルクリックします。
3. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従います。
4. **[接続の種類]** 画面で **[ワイヤード ネットワーク/ワイヤレス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

注記 Windows クライアント コンピュータとデバイスを共有するには、プリンタソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするにはおよびローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

プリンタソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするには

プリント サーバとして機能しているコンピュータにプリンタ ドライバをインストールすると、印刷機能を共有できます。 ネットワーク デバイスを使用する個々の Windows ユーザーは、それぞれのコンピュータ (クライアント) にソフトウェアをインストールする必要があります。

クライアント コンピュータは、次の方法でデバイスに接続できます。

- [プリンタ] フォルダで、**[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックし、ネットワーク インストールに関する説明に従います。詳細については、[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするにはを参照してください。
- ネットワーク上のデバイスの位置を参照し、[プリンタ] フォルダにプリンタをドラッグします。
- デバイスを追加し、ネットワーク上の INF ファイルからソフトウェアをインストールします。 スタータ CD の INF ファイルは、CD のルート ディレクトリに格納されています。

[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. **[プリンタの追加]** をダブルクリックし、**[次へ]** をクリックします。
3. **[ネットワーク プリンタ]** または **[ネットワーク プリンタ サーバ]** を選択します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. 次のいずれかの操作を行います。
   共有デバイスのネットワーク パスまたはキュー名を入力し、**[次へ]** をクリックします。 プリンタ モデルを選択するプロンプトが表示されたら、**[ディスク使用]** をクリックします。
   [次へ] をクリックし、共有プリンタの一覧からデバイスを選択します。
6. **[次へ]** をクリックし、画面の説明に従ってインストールを完了します。

デバイスの構成 (Mac OS)

USB ケーブルを使用して一台の Macintosh コンピュータにデバイスを接続することも、ネットワーク上で他のユーザとデバイスを共有することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアのインストール
- ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアのインストール

直接接続用のソフトウェアをインストールするには

1. USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、設定アイコンをダブルクリックします。 また、スタータ CD でインストーラ フォルダを検索することもできます。
3. **[ソフトウェアのインストール]** をクリックし、画面の指示に従います。
4. 必要に応じて、デバイスを別の Macintosh コンピュータ ユーザと共有します。
   - **直接接続**： デバイスを別の Macintosh コンピュータ ユーザと共有します。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。
   - **ネットワーク接続の場合**： ネットワーク上でデバイスを使用する個々の Macintosh ユーザーは、それぞれのコンピュータ (クライアント) にプリンタソフトウェアをインストールする必要があります。

ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールするには

1. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外し、デバイスをネットワークに接続します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD メニューが自動的に実行されます。 CD が自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の CD をダブルクリックします。
3. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従います。
4. **[接続の種類]** 画面で **[ワイヤード ネットワーク/ワイヤレス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

デバイスを直接接続した場合でも、プリンタ共有として知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 このプリンタ共有は、小規模のグループ、また

は利用頻度が少ない場合に使用します。 多くのユーザーが共有デバイスに印刷すると、接続されているコンピュータの速度は遅くなります。

Mac OS 環境でデバイスを共有するための基本的な必要条件：

- Macintosh コンピュータは TCP/IP によりネットワーク上で通信しなければならず、IP アドレスがなければなりません。 (AppleTalk はサポートされていません。)
- 共有されるデバイスは、ホスト Macintosh コンピュータ上の内蔵 USB ポートに接続されていなければなりません。
- 共有デバイスを使用するホスト Macintosh コンピュータとクライアント Macintosh コンピュータの両方にデバイス ドライバまたはデバイス PPD がインストールされていなければなりません。 (インストール プログラムを実行して、デバイス共有ソフトウェアと関連のヘルプ ファイルをインストールできます。)

USB デバイス共有についての詳細は、Apple Web サイト (www.apple.com)、またはコンピュータの Apple Macintosh Help を参照してください。

注記 プリンタ共有は Mac OS 10.3 およびそれ以降でサポートされています。

Mac OS を実行中のコンピュータでデバイスを共有するには

1. デバイスに接続されているすべての Macintosh コンピュータ (ホストおよびクライアント) のプリンタ共有をオンにしま

す。 使用している OS のバージョンに応じて、次のいずれかの操作を行います。

- **Mac OS 10.3**： **[システム環境設定]** を開き、**[プリントとファクス]** をクリックし、**[プリンタをほかのコンピュータと共有する]** チェック ボックスをオンにします。
- **Mac OS 10.4**： **[システム環境設定]** を開き、**[プリントとファクス]** をクリックし、**[共有]** タブをクリックし、**[これらのプリンタをほかのコンピュータと共有する]** チェック ボックスをオンにし、共有するプリンタを選択します。

2. ネットワーク上の他の Macintosh コンピュータ (クライアント) から印刷するには、次の手順に従います。

a. 印刷するドキュメントで、**[ファイル]** をクリックし、**[用紙設定]** を選択します。

b. **[対象プリンタ]** の横にあるドロップダウン メニューで、**[共有プリンタ]** を選択し、使用するデバイスを選択します。

c. **[用紙サイズ]** を選択し、**[OK]** をクリックします。

d. ドキュメントで、**[ファイル]** をクリックし、**[プリント]** を選択します。

e. **[プリンタ]** の横にあるドロップダウン メニューで、**[共有プリンタ]** を選択し、使用するデバイスを選択します。

f. 必要に応じて追加の設定を行い、**[プリント]** をクリックします。

デバイスのワイヤレス通信のセットアップ

デバイスのワイヤレス通信は、次のいずれかの方法でセットアップすることができます。

セットアップ方法	インフラストラクチャ ワイヤレス通信	アドホック ワイヤレス通信*
USB ケーブル 詳細については、ワイヤレス ネットワークでデバイスをセットアップするには (Mac OS)またはインストール プログラムを使用してワイヤレス	✔	✔

(続き)

通信をセットアップするには (Windows)を参照してください。		
デバイスのコントロール パネル	✔	✔

* アドホック ネットワークは、スタータ CD のワイヤレス接続ユーティリティを使用してセットアップすることができます。

注記 問題が発生した場合は、ワイヤレス通信に関連する問題の解決 を参照してください。

ワイヤレス接続でデバイスを使用するには、スタータ CD からインストール プログラムを最低 1 回実行して、ワイヤレス接続を作成しなければなりません。

デバイスがネットワーク ケーブルを使用してネットワーク接続されていないことを確認します。

送信デバイスには内蔵 802.11 機能があるか、または 802.11 ワイヤレス カードがインストールされていなければなりません。

デバイスとデバイスを使用するコンピュータは、同じサブネット上にある必要があります。

プリンタソフトウェアをインストールする前に、ネットワークの設定を確認しておいてください。 システム管理者に問い合わせるか、または以下の作業を行います :

• ネットワークのネットワーク名または Service Set Identifier (SSID) と通信モード (インフラストラクチャまたはアドホック) を、ネットワークのワイヤレス アクセス ポイント (WAP) の構成ユーティリティ、またはコンピュータのネットワーク カードから取得します。
• ネットワークで使用する暗号化タイプを見つけます (Wired Equivalent Privacy (WEP) など)。
• ワイヤレス デバイスのセキュリティ パスワード、または暗号化キーを見つけます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• 802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解
• デバイスのコントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには
• インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)

- ワイヤレス ネットワークでデバイスをセットアップするには (Mac OS)
- ワイヤレス通信をオフにするには
- ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン
- ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン

802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解

ネットワーク名 (SSID)

デフォルトでは、デバイスはワイヤレス ネットワーク名、または "hpsetup" という名前の Service Set Identifier (SSID) を探します。 お使いのネットワークには、異なる SSID があることがあります。

通信モード

通信モードには 2 つのオプションがあります :

- **アドホック** : アドホック ネットワーク上では、デバイスはアドホック通信モードに設定され、WAP を使用しないでその他のワイヤレス デバイスと直接通信します。
  アドホック ネットワーク上のデバイスはすべて次のとおりでなければなりません :
  - 802.11 互換
  - 通信モードがアドホックである
  - 同じネットワーク名 (SSID) である
  - 同じサブネットと同じチャンネル上にある
  - 同じ 802.11 セキュリティ設定がある
- **インフラストラクチャ (推奨)** : インフラストラクチャ ネットワークでは、デバイスはインフラストラクチャ通信モードに設定され、デバイスがワイヤードかワイヤレスかに関係なく、デバイスは WAP を通じてネットワーク上の他のデバイスと通信します。 WAP は一般的には、小さなネットワーク上でルーター、またはゲートウェイとして機能します。

セキュリティ設定

注記 デバイスで利用可能な設定については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

ワイヤレス セキュリティの詳細については、www.weca.net/opensection/pdf/whitepaper_wi-fi_security4-29-03.pdf を参照してください。

- **ネットワーク認証**： デバイスの出荷時のデフォルト設定は 'Open' で、これは認証や暗号化にセキュリティを必要としません。 他には 'OpenThenShared'、'Shared'、'WPA-PSK' (Wi-Fi® Protected Access Pre-Shared Key) などの値があります。

  WPA はネットワーク上のデータ保護のレベルと、既存および将来の Wi-Fi ネットワークのアクセス コントロールを向上させます。 802.11 基準のオリジナルのネイティブ セキュリティ機構である、WEP の既存の弱点に対応しています。

  WPA2 は第二世代の WPA セキュリティで、認証を受けたユーザしかワイヤレス ネットワークにアクセスできないようにして、企業や Wi-Fi ユーザに高レベルの安全を提供します。

- **データの暗号化**：
  - Wired Equivalent Privacy (WEP) では、あるワイヤレス デバイスから別のワイヤレス デバイスにラジオ波上で送信するデータを暗号化することで、セキュリティを提供します。 WEP 対応のネットワーク上のデバイスは、WEP キーを使用してデータを暗号化します。 ネットワークで WEP を使用している場合、使用する WEP キーを知っている必要があります。
  - WPA では暗号化に、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) を現在使用可能な標準 Extensible Authentication Protocol (EAP) タイプの 1 つと共に使用し、802.1X 認証を採用しています。
  - WPA2 によって新しい暗号化スキームである Advanced Encryption Standard (AES) が提供されます。 AES は 暗号文ブロック連鎖モード (CCM) で定義され、Independent Basic Service Set (IBSS) をサポートして、アドホック モードで動作しているクライアント ワークステーション間のセキュリティを可能にします。

デバイスのコントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用すると、デバイスへのワイヤレス接続を簡単に設定したり、管理したりできます。

注記 この方法を使用するには、ワイヤレス ネットワークがセットアップおよび実行されている必要があります。

1. デバイス ハードウェアをセットアップします (デバイスに付属のセットアップ ガイドまたはセットアップ ポスターを参照)。
2. デバイスのコントロール パネルの **セットアップ** ボタンを押します。
3. 矢印ボタンを押して [**ネットワーク**] に移動し、**[OK]** を押します。
4. 矢印ボタンを押して [**ウィザード**] に移動し、**[OK]** を押します。
5. 画面の指示に従って、セットアップを完了します。

インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)

この方法では、ネットワークがセットアップおよび実行されている必要があります。

1. デバイス ハードウェアを設定します (セットアップ ポスターを参照)。
2. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外します。
3. コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了します。
4. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。CD のメニューが自動的に起動します。 CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
5. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
6. **[接続の種類]** 画面で **[ワイヤレス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

   注記 デバイスが検出できなかった場合は、一時的にネットワーク ケーブルを使用してデバイスと通信し、デバイスのワイヤレス設定を構成することもできます。

ワイヤレス接続を確立できない場合は、次の手順に従って一時的にデバイスをコンピュータのネットワークに接続します。

a. USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータのネットワークに一時的に接続します。

b. 画面に表示される指示に従って、ケーブルを取り外します。

7. **[ネットワーク名 (SSID) の選択]** 画面で、**[検出されたワイヤレス ネットワーク名 (SSID) の選択]** をクリックしてワイヤレス ネットワークを選択するか、**[ワイヤレス ネットワークの指定]** をクリックして新しいネットワーク名を入力します。
8. 新しいネットワーク名の入力を選択した場合は、デバイスのコントロール パネルでネットワーク名を入力し、**完了** を押します。

   注記 入力した SSID が見つからない場合は、セキュリティ情報を指定するよう求められます。 ネットワークで暗号化を使用していない場合、セットアップは SSID を確認してから処理を続行します。

9. 名前を指定したネットワークにデバイスが接続できない場合は、画面の指示に従って適切な WEP キーまたは WPA パスフレーズをキーパッドで入力し、**[完了]** を押します。

注記 作業が終了したら、USB ケーブルを取り外します。

ワイヤレス ネットワークでデバイスをセットアップするには (Mac OS)

1. デバイス ハードウェアを設定します (セットアップ ポスターを参照)。
2. AirPort カードがコンピュータにインストールされていることを確認してください。
3. コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了します。
4. [ユーティリティ] フォルダから **[AirPort Setup Assistant]** を開きます。 ワイヤレス ネットワーク上での設定の詳細については、AirPort の説明書を参照してください。

5. アドホック ネットワークの場合は、メニュー バーで **[AirPort]** アイコンをクリックし、**[Computer to Computer Networks]** で [hpsetup] を選択します。 ワイヤレス ネットワークの場合は、**[AirPort]** アイコンをクリックし、**[その他]** をクリックしてネットワークに参加します。
6. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。CD のメニューが自動的に起動します。CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
7. CD メニューで **[ソフトウェアのインストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
8. **[接続の種類]** 画面で、ワイヤレス ネットワーク オプションを選択し、**[完了]** をクリックします。
9. **[ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティ]** の画面上の指示に従います。これは自動的に起動してプリンタ ドライバをインストールします。

ワイヤレス通信をオフにするには

- **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ**を押し、[**ネットワーク メニュー**] を選択し、[**ワイヤレス ラジオ**] を選択し、次に [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
- デバイスの前面のワイヤレス ボタンを押します。

ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン

以下のヒントは、ワイヤレス ネットワークでのノイズの発生を減少するのに役立ちます。

- 無線シグナルを混乱させる原因となることがあるため、ワイヤレス デバイスをファイル キャビネットなどの大きな金属性の物体や電子レンジやコードレス電話などそれ以外の電磁デバイスから離しておきます。
- 大きな石造構造やそれ以外の建築構造は無線波を吸収してシグナル強度を弱めることがあるため、ワイヤレス デバイスをこれらの構造から離しておきます。
- インフラストラクチャ ネットワークでは、WAP をネットワーク上のワイヤレス デバイス間の中心位置に置きます。
- ネットワーク上のワイヤレス デバイスをすべて至近距離に置きます。

ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ハードウェア アドレスを WAP に追加するには
- その他のガイドライン

ハードウェア アドレスを WAP に追加するには

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、WAP を通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) のリストを WAP で構成します。

ネットワークにアクセスしようしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。

WAP が MAC アドレスをフィルタすると、デバイスの MAC アドレスは WAP の容認された MAC アドレスのリストに追加されなければなりません。

1. ネットワーク設定ページを印刷します。 ネットワーク設定ページの詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
2. WAP の構成ユーティリティを開き、デバイスのハードウェア アドレスを容認された MAC アドレスのリストに追加します。

その他のガイドライン

ワイヤレス ネットワークをセキュアに保つには、以下のガイドラインに従います :

- パスワードには最低 20 のランダム文字を使用します。 WPA パスワードでは、63 文字まで使用できます。
- よくある語句、簡単な文字の順序 (すべて 1 など)、および個人的にわかりやすい情報は、パスワードには使用しないでください。 大文字と小文字、数字、そして許可されている場合には句読点などの特殊文字から構成された、ランダムな文字列を常に使用してください。
- パスワードは定期的に変更します。
- アクセス ポイントやワイヤレス ルータへの管理者アクセス用にメーカーから提供されたデフォルト パスワードは変更します。 管理者名を変更できるルータもあります。

- アクセス ポイントやルータは、窓の近くではなく、部屋の中央に置きます。
- ワイヤレス上での管理者アクセスは、できればオフにします。 こうすると、構成を変更する場合にはワイヤ Ethernet 接続を使用してルータに接続する必要があります。
- できれば、ルータへのインターネット上のリモート管理者アクセスはオフにします。 Remote Desktop を使用して、ルータで起動しているコンピュータへ暗号化された接続を行い、インターネット上でアクセスしているローカル コンピュータから構成変更を行うことができます。
- 他者の'ワイヤレス ネットワークへ間違って接続することを防ぐため、推奨されていないネットワークへ自動的に接続する設定をオフにします。 これは、Windows XP ではデフォルトで無効にされています。

ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。 デバイスのアプリケーション ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。 デバイス付属のソフトウェアをインストールしたときに追加されたアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

ソフトウェアのアンインストール方法は、Windows コンピュータの場合は 3 種類、Macintosh コンピュータの場合は 1 種類あります。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。
2. **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
3. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]** を選択し、**[Officejet J6400 Series]** を選択して、**[アンインストール]** をクリックします。
4. 画面上の指示に従って操作してください。

5. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。
   共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
6. コンピュータを再起動します。
7. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、画面の指示に従います。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。
8. ソフトウェアのインストールが完了したら、デバイスをコンピュータに接続します。
9. **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
   デバイスを接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。
10. 画面上の指示に従って操作してください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、Windows システム トレイに **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンが表示されます。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

注記 この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[設定]** を選択し、**[コントロール パネル]** を選択して、**[プログラムの追加と削除]** をクリックします。
   - Or -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プログラムと機能]** をダブルクリックします。
2. **[HP Officejet Pro All-in-One Series]** を選択し、**[変更と削除]** または**[アンインストールと変更]** をクリックします。
   画面上の指示に従って操作してください。
3. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。

4. コンピュータを再起動します。

> **注記** コンピュータを再起動する前にデバイスとコンピュータとの接続を解除することが重要です。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。

5. コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
6. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 3

> **注記** この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
2. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。
3. **[アンインストール]** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
4. コンピュータを再起動します。

> **注記** コンピュータを再起動する前にデバイスとコンピュータとの接続を解除することが重要です。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。

5. デバイスのセットアップ プログラムをもう一度起動します。
6. **[インストール]** を選択します。
7. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。

Macintosh コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールするには

1. **[HP デバイス マネージャ]** を起動します。
2. **[情報と設定]** をクリックします。

3. プルダウン メニューから **[HP AiO ソフトウェアのアンインストール]** を選択します。
   画面上の指示に従って操作してください。
4. ソフトウェアのアンインストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
5. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入します。
6. デスクトップで、CD-ROM を開き、**[HP All-in-One インストーラ]** をダブルクリックします。
7. 画面上の指示に従って操作します。ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアのインストールも参照してください。

9　保守とトラブルシューティング

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- プリント カートリッジのメンテナンス
- デバイスのクリーニング
- 一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース
- 印刷上の問題の解決
- 印刷品質の不良と予期しないプリント結果
- 給紙の問題の解決
- コピーの問題の解決
- スキャンの問題の解決
- ファクスの問題の解決
- ネットワークの問題の解決
- ワイヤレス通信に関連する問題の解決
- 写真 (メモリ カード) の問題の解決
- インストールの問題のトラブルシューティング
- メディア詰まりの除去

プリント カートリッジのメンテナンス

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- サポートされているプリント カートリッジ
- プリント カートリッジの取り扱い
- プリント カートリッジの交換
- プリント カートリッジの調整
- プリント カートリッジのクリーニング
- プリント カートリッジの接点のクリーニング
- インク ノズル周辺のクリーニング
- 印刷サプライ品の保管

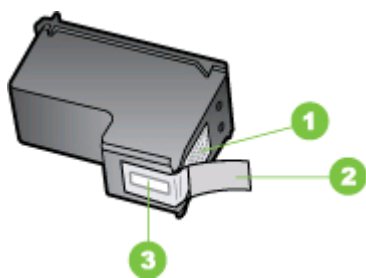
サポートされているプリント カートリッジ

利用可能なプリント カートリッジは、国/地域によって異なります。プリント カートリッジにはさまざまなサイズがあります。

プリント カートリッジ番号は次の場所で確認できます。

- 交換するプリント カートリッジのラベル。
- **[Windows]**： 双方向通信を行っている場合は、**[ツールボックス]** の **[推定インク レベル]** タブをクリックし、**[カートリッジの詳細]** ボタンが表示されるまでスクロールします。次に、**[カートリッジの詳細]** をクリックします。
- **Mac OS**： **HP プリンタ ユーティリティ**の **[情報とサポート]** パネルの **[サプライ製品情報]** をクリックし、**[市販サプライ品情報]** をクリックします。

プリント カートリッジの取り扱い

プリント カートリッジを交換したり、クリーニングしたりする前に、プリント カートリッジの部品の名前や取り扱い方を知っておく必要があります。

1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

ラベルを上にして、プリント カートリッジの黒いプラスチックの部分の横を持ちます。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

注記 プリント カートリッジは注意深く取り扱ってください。カートリッジを落としたり振ったりすると、印刷が不調になったり、場合によっては印刷できなくなることもあります。

プリント カートリッジの交換

インク残量が少なくなっている場合は、以下の指示に従ってください。

注記 プリント カートリッジのインクの残量が低下すると、ディスプレイにメッセージが表示されます。 また、プリンタ ツールボックス（Windows）および HP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）でインクの残量を確認できます。

注記 カートリッジのインクは印刷だけでなく、印刷前にプリンタとカートリッジを準備するための初期化にも使用されます。 また、使用済みのカートリッジにインクが残留することがあります。 詳細については、www.hp.com/go/inkusage を参照してください。

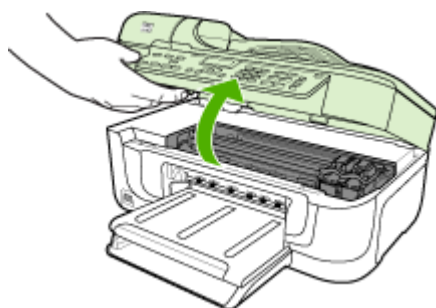
インクレベルの警告機能とインジケータは、推定インク残量を表示します。 インク残量の低下を警告するメッセージがディスプレイに表示されたら、印刷に遅れが生じないように印刷プリント カートリッジを交換してください。 印刷の品質が許容できないほど悪くなった場合、プリント カートリッジを交換する必要があります。

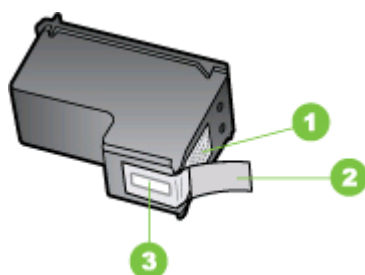
デバイスのプリント カートリッジを注文するには、www.hpshopping.com にアクセスしてください。 メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

プリント カートリッジを交換するには

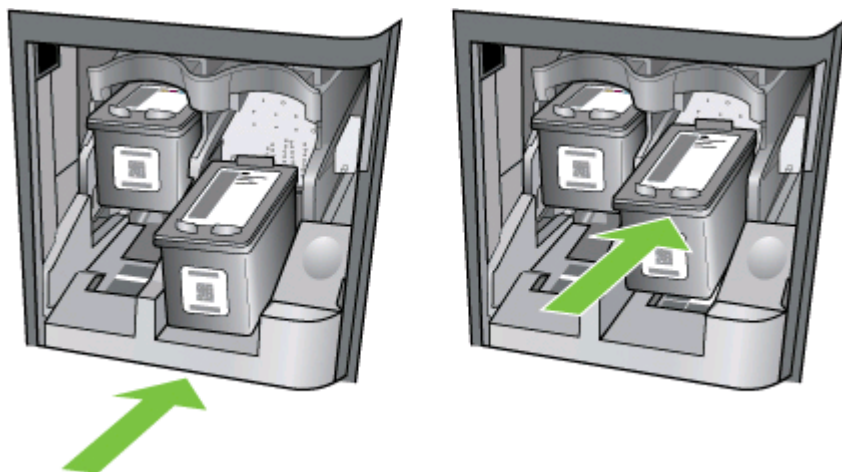
1. デバイスの電源がオンになっていることを確認します。

   △ **注意** プリント カートリッジを交換する場合、デバイスがオフのときにプリント カートリッジ ドアを開けても、プリント カートリッジの固定は解除されません。 また、プリント カートリッジを取り出す際、カートリッジが所定の位置にないと、デバイスに損傷を与えるおそれがあります。

2. プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。
   プリント カートリッジがデバイスの右端に移動します。

3. インクホルダーが停止して静かになってから、プリント カートリッジを静かに押して外します。
   カラー プリント カートリッジを交換する場合は、左側のスロットからプリント カートリッジを取り外します。
   黒、フォト、またはグレイ フォト プリント カートリッジを交換する場合は、右側のスロットからプリント カートリッジを取り外します。

4. プリント カートリッジを手前に引き、スロットから外します。
5. 黒プリント カートリッジを取り外してフォト プリント カートリッジまたはグレイ フォト プリント カートリッジを取り付ける場合には、取り外した黒プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースまたは密閉プラスチック容器に入れて保存してください。
6. 新しいプリント カートリッジをパッケージから出した後、黒いプラスチックの部分以外に触れないように注意して、ピンクのつまみを持って保護テープをゆっくりはがします。

1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

△ **注意** 銅色の接点やインク ノズルにはさわらないでください。 また、プリント カートリッジのテープを再度貼り付けるようなことはしないでください。 そのようなことをすると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

7. プリント カートリッジを HP ロゴが上になるように持ち、新しいプリント カートリッジを空のカートリッジのスロットに差し込みます。 プリント カートリッジを所定の位置までしっかりと押し込みます。
   カラー プリント カートリッジを装着する場合は、左側のスロットに入れます。
   黒、フォト、またはグレイ プリント カートリッジを装着する場合は、右側のスロットに入れます。

8. プリント カートリッジ アクセスドアを閉じます。
   新しいプリント カートリッジを取り付けた場合、プリント カートリッジ調整ページが印刷されます。
9. 指示に従って、未使用の白い普通紙が、給紙トレイにセットされていることを確認してから、**OK(O)**ボタンを押します。
10. テスト ページの印刷、プリント ヘッドの調整、プリンタの位置調整を行われます。 この用紙はリサイクルするか捨ててください。
    成功または失敗メッセージが表示されます。

    注記 プリンタを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。その場合は、給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

11. **OK(O)** を押して設定を続けます。

プリント カートリッジの調整

HP All-in-One では、プリント カートリッジを取り付けたり取り換えたりするたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。 デバイスのコントロール パネルから、またはデバイス用にインストールしたソフトウェアを使用して、いつでもプリント カートリッジを調整できます。 プリント カートリッジを調整することで、高品質の印刷に仕上がります。

注記 プリント カートリッジを取り外した後、もう一度デバイスに取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。 デバイスにはプリント カートリッジに合わせて調整した値が記憶されるので、プリント カートリッジの再調整は必要ありません。

メッセージに従ってデバイスのコントロール パネルからプリント カートリッジを調整するには

1. レターまたは A4 の未使用の白い普通紙が、給紙トレイにセットされていることを確認してから、**OK(O)** ボタンを押します。
2. デバイスはテスト ページを印刷し、プリンタの位置を調整します。 この用紙はリサイクルするか捨ててください。

   注記 プリント カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

   まだ調整に失敗する場合は、センサーかプリント カートリッジが故障している可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

任意の時点でデバイスのコントロール パネルからカートリッジを調整するには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。

3. [ツール]、[ﾌﾟﾘﾝﾄ ｶｰﾄﾘｯｼﾞ **の位置調整**]の順に選択します。
4. デバイスはテスト ページを印刷し、プリンタの位置を調整します。 この用紙はリサイクルするか捨ててください。

HP Photosmart ソフトウェアからプリント カートリッジを調整するには (Windows)

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. HP Solution Center で、**[設定]** をクリックし、**[印刷設定]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックス]** をクリックします。

 注記 また、**[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスから **[プリンタ ツールボックス]** を開くこともできます。**[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスで、**[サービス]** タブをクリックし、**[プリンタのメンテナンス]** をクリックします。

 [プリンタ ツールボックス] が表示されます。
3. **[プリンタ サービス]** タブをクリックします。
4. **[プリント カートリッジの調整]** をクリックします。
 デバイスはテスト ページを印刷し、プリンタの位置を調整します。 この用紙はリサイクルするか捨ててください。

HP Photosmart Studioソフトウェアからプリント カートリッジを調整するには (Mac OS)

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： HP プリンタ ユーティリティを開きます。 詳細については、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)を参照してください。 **[位置調整]** をクリックしてから、画面の指示に従います。

プリント カートリッジのクリーニング

カラーの帯に白いラインの筋が表示される場合や、カラーがにごっている場合は、この機能を使用してください。 必要以上にプリント カートリッジのクリーニングをしないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

デバイスのコントロール パネルからプリント カートリッジをクリーニングするには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**ﾌﾟﾘﾝﾄ ｶｰﾄﾘｯｼﾞ のｸﾘｰﾆﾝｸﾞ**] が続けて選択されます。
   デバイスで 1 枚の用紙が印刷されます。この用紙は再利用するか捨ててください。
   プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷がきれいに仕上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。

HP Photosmart ソフトウェアからプリント カートリッジをクリーニングするには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. HP Solution Center で、**[設定]** をクリックし、**[印刷設定]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックス]** をクリックします。

   注記 また、**[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスから **[プリンタ ツールボックス]** を開くこともできます。**[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスで、**[サービス]** タブをクリックし、**[プリンタのメンテナンス]** をクリックします。

   [プリンタ ツールボックス] が表示されます。
3. **[プリンタ サービス]** タブをクリックします。
4. **[プリント カートリッジのクリーニング]** をクリックします。
5. 出力の品質が満足できるものになるまで指示に従って操作してから、**[完了]** をクリックします。
   プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷がきれいに仕上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。

HP プリンタ ユーティリティ（Mac OS）

1. HP プリンタ ユーティリティを開きます。 詳細については、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)を参照してください。
2. **[クリーニング]** をクリックしてから、画面の指示に従います。

プリント カートリッジの接点のクリーニング

プリント カートリッジの接点のクリーニングは、プリント カートリッジのクリーニングと調整をしても、ディスプレイにプリント カートリッジの確認のメッセージが繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

プリント カートリッジの接点をクリーニングする前に、プリント カートリッジを取り外し、プリント カートリッジの接点に何も付着していないことを確認してから元に戻してください。プリント カートリッジの確認のメッセージがその後も表示される場合は、プリント カートリッジの接点をクリーニングします。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、または繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布。

  ヒント コーヒー用のフィルタは糸くずが出ないため、プリント カートリッジのクリーニングに適しています。

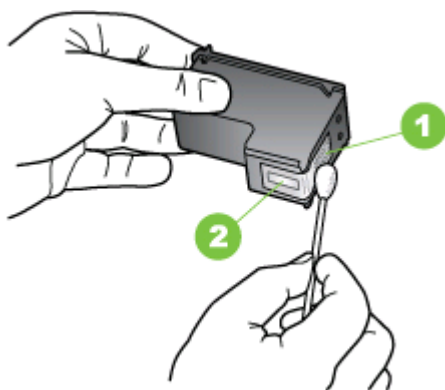
- 蒸留水、ろ過水、ミネラルウォーターのいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれている恐れがあります。)

  注意 プリント カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを**使用しないでください**。 それらは、プリント カートリッジや HP All-in-One を傷めるおそれがあります。

プリント カートリッジの接点をクリーニングするには

1. デバイスの電源を入れ、プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。
   プリント カートリッジがデバイスの右端に移動します。
2. プリント カートリッジが停止して静かになってから、デバイスの背面から電源コードを抜きます。

   注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。 その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

3. プリント カートリッジを静かに下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。
4. プリント カートリッジの接点に、インクや汚れが付着していないか調べます。
5. 汚れていないスポンジ棒または糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、かたく絞ります。
6. プリント カートリッジの側面を持ちます。
7. 銅色の接点のみをクリーニングします。 プリント カートリッジが乾くまで、10分ほど待ちます。

1	銅色の接点
2	インク ノズル (クリーニングしないでください)

8. プリント カートリッジを、スロットにスライドさせながら装着します。 きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
9. 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
10. プリント カートリッジ アクセスドアを静かに閉め、デバイスの背面に電源コードを差し込みます。

インク ノズル周辺のクリーニング

ほこりっぽい環境でデバイスを使用すると、本体の中にもゴミが入り込むことがあります。 ちり、髪の毛、カーペットや衣類の繊維などが含まれます。 このようなゴミがプリント カートリッジに付着すると、印刷したページにインクの筋やにじみが出ることがあります。 インク縞は、ここで説明されているとおりにインク ノズル周辺のクリーニングを行うことで改善できます。

注記 デバイスのコントロール パネルまたは HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用してプリント カートリッジをクリーニングしても印刷したページの筋やにじみが消えない場合にのみ、インク ノズルの周辺部をクリーニングします。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、または繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布

  ヒント コーヒー用のフィルタは糸くずが出ないため、プリント カートリッジのクリーニングに適しています。

- 蒸留水、ろ過水、ミネラルウォーターのいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれている恐れがあります。)

  △ **注意** 銅色の接点やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

インク ノズル周辺をクリーニングするには

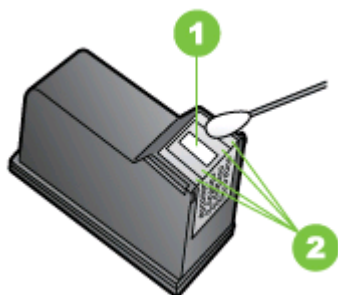
1. デバイスの電源を入れ、プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。
   プリント カートリッジがデバイスの右端に移動します。
2. プリント カートリッジが停止して静かになってから、デバイスの背面から電源コードを抜きます。

   注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。 その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

3. プリント カートリッジを静かに下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

   注記 両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。 取り外してクリーニングする作業は、一度に 1 つずつ行ってください。 プリント カートリッジを 30 分以上デバイスから外しておかないでください。

4. インク ノズルの表面を上にして、1 枚の用紙の上にプリント カートリッジを置いてください。
5. きれいなスポンジ棒を蒸留水で軽く湿らします。

6. 下図のように、スポンジ棒でインク ノズル周辺の表面と端部をクリーニングします。

1	ノズル プレート (クリーニングしないでください)
2	インク ノズル周辺の表面と端

△ **注意** ノズル プレートは**クリーニングしない**でください。

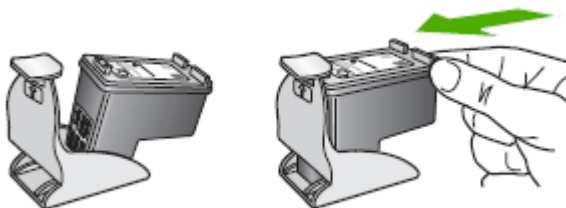
7. プリント カートリッジを、スロットにスライドさせながら挿入します。 きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
8. 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
9. プリント カートリッジ アクセスドアを静かに閉め、デバイスの背面に電源コードを差し込みます。

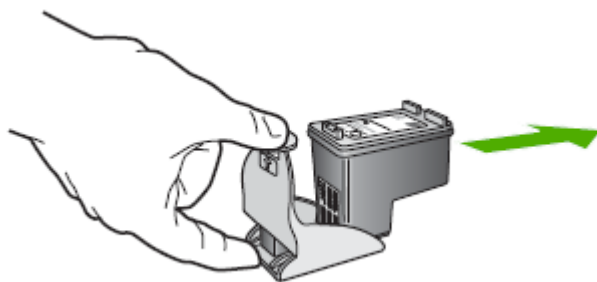
印刷サプライ品の保管

プリント カートリッジ ケースは、使用していないプリント カートリッジを安全に保管できて、乾燥を防止できるように設計されています。デバイスからプリント カートリッジを取り外し、後でまた利用する場合、プリント カートリッジ ケースに入れて保管してください。たとえば、カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジを使用して高品質の写真を印刷するために、黒プリント カートリッジを外す場合、黒プリント カートリッジはプリント カートリッジ ケースに保管します。

注記 プリント カートリッジ ケースがない場合は、HP サポートに注文いただくことができます。詳細については、サポートおよび保証を参照してください。 プラスチック容器など、機密性のある容器を使用することもできます。 プリント カートリッジを保管するときに、ノズルが何かに接触することがないよう確認してください。

プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースに入れるには

▲ プリント カートリッジを少し角度を付けてケースに差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。

プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースから取り外すには

▲ プリント カートリッジ ケースの上部を押し下げ、プリント カートリッジの固定を解除します。その後、プリント カートリッジ ケースからプリント カートリッジをそっと取り出します。

デバイスのクリーニング

このセクションでは、本体を最高の状態に保つための方法について説明します。 必要に応じてこれらの保守手順を実行してください。

スキャナ ガラス、スキャナの保護シート、またはスキャナ フレームのほこりや汚れにより、パフォーマンスが低下したり、スキャンの品質が低下したり、コピーを特定のページ サイズに合わせるなどの特殊機能の正確さが損なわれたりすることがあります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- スキャナ ガラスのクリーニング
- 外側のクリーニング
- 自動ドキュメント フィーダのクリーニング

スキャナ ガラスのクリーニング

スキャナ ガラスをクリーニングするには

1. 本体の電源をオフにします。
2. スキャナのカバーを持ち上げます。

3. あまり強くないガラス用洗剤を吹き付けた、柔らかい、糸くずのない布でガラスをクリーニングします。 乾いた、柔らかい、糸くずのない布でガラスの水分を拭き取ります。

△ **注意** スキャナ ガラスのクリーニングにはガラス用洗剤以外使用しないでください。 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などを含む洗剤は使用しないでください。これらの成分は、スキャナ ガラスを傷める可能性があります。 また、イソプロピル アルコールの使用も避けてください。ガラス面に縞模様が残ることがあります。

注意 ガラス用洗剤をガラス面に直接吹き付けないでください。 ガラス用洗剤を多く吹き付けると、洗剤が本体内に入り、スキャナを傷めることがあります。

4. スキャナのカバーを閉じて、デバイスの電源を入れます。

外側のクリーニング

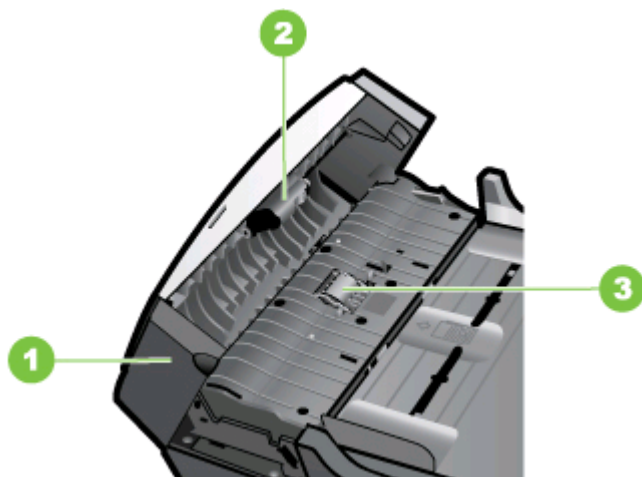
注記 本体のクリーニングを行う前に、電源をオフにした後、電源コードをコンセントから抜きます。

柔らかい、糸くずのない布で、ケースのほこり、シミ、汚れなどを拭き取ります。 本体の外側はクリーニングの必要がありません。 デバイスの内側やデバイスのコントロール パネルを濡らさないようにしてください。

自動ドキュメント フィーダのクリーニング

自動ドキュメント フィーダが一度に用紙をまとめて給紙してしまったり、普通紙をまったく給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドをクリーニングしてください。 自動ドキュメント フィーダのカバーを開き、ローラーとセパレータ パッドをクリーニングして、カバーを閉じてください。

ローラーやセパレータ パッドをクリーニングするには

1. ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバー (1) を外します。
   このようにするとローラー (2) と セパレータ パッド (3) に簡単にアクセスできます。

1	自動ドキュメント フィーダ カバー
2	ローラー
3	セパレータ パッド

3. きれいな糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。

4. 湿った布を使用して、ローラーやセパレータ パッドからカスを拭き取ります。

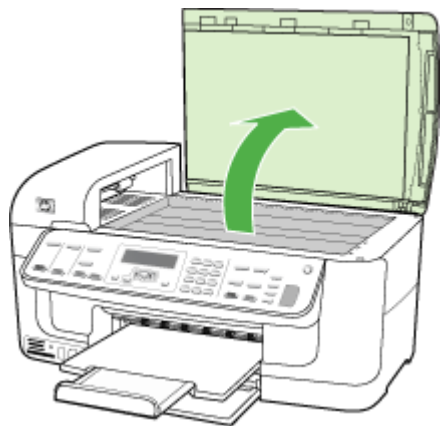
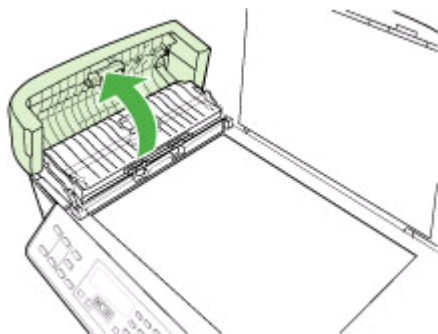
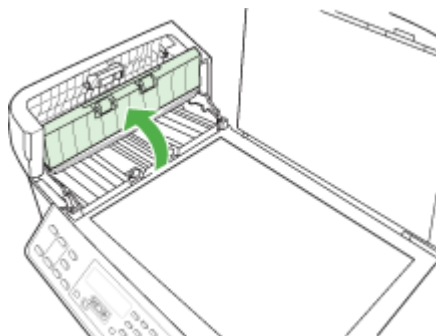
   注記 蒸留水でカスが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してみます。

5. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダ内部の帯状のガラス部分をクリーニングするには

1. HP オールインワン の電源を切り、電源コードを抜きます。

   注記 HP オールインワン のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. ガラス板に原稿をセットするように、カバーを持ち上げます。

3. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

4. 自動ドキュメント フィーダ装置を外します。

帯状のガラス部分は自動ドキュメント フィーダの下にあります。

5. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで帯状のガラス部分を拭きます。

   △ **注意** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス面を拭かないでください。ガラス面を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス面にかけないでください。ガラス面の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

6. 自動ドキュメント フィーダ装置を下げ、自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。
7. カバーを閉じます。
8. 電源コードを差し込み、HP オールインワン の電源を入れます。

一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース

印刷問題のトラブルシューティングを開始する場合は、以下の操作を試してみてください。

- 用紙詰まりは、メディア詰まりの除去を参照してください。
- 用紙が曲がったり持ち上がってしまうなどの給紙の問題は、給紙の問題の解決 を参照してください。
- 電源ランプが点灯していて、点滅していないことを確認します。本体に初めて電源を入れた場合、プリント カートリッジの取り付け後、初期化に約 12 分間かかります。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、本体にしっかりと接続されていることを確認します。 本体が正しく機能している交流 (AC) 電源にしっかりと接続され、電源が入っていることを確認します。 電圧の要件については、電気仕様を参照してください。
- 用紙が給紙トレイに正しくセットされていて、紙詰まりがないことを確認します。
- 梱包テープと梱包材が取り外してある。
- 本体が現在のプリンタ、またはデフォルトのプリンタとして設定されている。 Windows では、[プリンタと FAX] フォルダで本体を通常使うプリンタに設定します。 Mac OS では、プリンタ設定ユーティリティで本体をデフォルトとして設定します。 詳細は、コンピュータ付属のマニュアルを参照してください。

- Windows 起動中のコンピュータで **[印刷の一時停止]** が選択されていない。
- タスクの実行中に、実行しているプログラム数が多すぎない。 タスクを再試行する前に、使っていないプログラムを閉じるか、またはコンピュータを再起動します。

トラブルシューティング トピック

印刷上の問題の解決

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

デバイスの電源が突然切れる

電源と電源接続の確認

正しく機能している交流 (AC) 電源に本体がしっかりと接続されていることを確認します。 電圧の要件については、電気仕様を参照してください。

コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される

回復不可能なエラーが発生する

ケーブルをすべて (電源コードや USB ケーブルなど) 外し、約 20 秒間待ってからケーブルを再接続します。 問題が続くようであれば、最新のトラブルシューティング情報、または製品の修正と更新を HP Web サイト (www.hp.com/support) で見つけてください。

デバイスが応答しない (何も印刷されない)

印刷キューで印刷ジョブがつかえています。

印刷キューを開き、すべてのドキュメントを取り消して、コンピュータを再起動します。 コンピュータが再起動したら、印刷を実行してみます。 詳細については、オペレーティング システムのヘルプを参照してください。

デバイス設定の確認

詳細については、一般的なトラブルシューティング ヒントとリソースを参照してください。

プリンタソフトウェアのインストールの確認

本体の電源が入っていないときに印刷すると、通常はコンピュータ画面に警告メッセージが表示されます。警告メッセージが表示されない場合は、プリンタソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。 これを解決するには、プリンタソフトウェアを完全にアンインストールした後、再インストールします。 詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

ケーブル接続の確認

- ネットワーク/USB ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認します。
- 本体がネットワークに接続されている場合は、以下を確認します。
  - 本体後部のリンク ランプを確認します。
  - 本体の接続に電話線を使っていないことを確認します。

コンピュータにパーソナル ファイアウォール ソフトウェアがインストールされているかどうかの確認

パーソナル ソフトウェア ファイアウォールはセキュリティ プログラムで、コンピュータを侵入から保護します。 ただし、ファイアウォールはコンピュータと本体の通信を妨げることがあります。 本体との通信に問題が生じた場合は、ファイアウォールを一時的に無効にしてみます。 問題が解決しない場合は、ファイアウォールは通信問題の原因ではありません。 ファイアウォールを再度有効にします。

印刷するのに長時間かかる

システム構成とリソースを確認してください。

コンピュータが、本製品を使用するための最低限のシステム必要条件を満たしていることを確認します。 詳細については、システム要件を参照してください。

デバイス ソフトウェアの設定の確認

印刷品質で **[ベスト]** または **[最大 dpi]** が選択されていると、印刷速度は遅くなります。 印刷速度を上げるには、デバイス ドライバで別の印刷設定を選択します。 詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

空白ページまたはページの一部だけが印刷される

プリント カートリッジのクリーニング

プリント カートリッジをクリーニング手順に従ってクリーニングしてください。 詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

メディア設定を確認します

- トレイにセットされたメディアに対して正しい印刷品質がプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。
- プリンタ ドライバで選択したページ設定と トレイにセットされている用紙サイズが一致していることを確認してください。

2 枚以上のページが給紙される

給紙の問題のトラブルシューティングの詳細については、給紙の問題の解決を参照してください。

ファイル内に空白ページがある

ファイルをチェックして、空白ページがないことを確認してください。

ページの一部が印刷されない、または正しくない

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびサポートされているプリント カートリッジ を参照してください。

余白設定の確認

文書の余白設定が本体の印刷可能領域を超えていないことを確認します。 詳細については、最小余白の設定を参照してください。

カラー印刷設定を確認します

プリント ドライバで **[グレースケールで印刷]** が選択されていないことを確認します。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルなどにより生成) により、プリント結果が若干歪む場合があります。 本体を電磁界の元から離します。 電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない

メディアがセットされている方法を確認します

メディアの縦と横方向の用紙ガイドがメディアの束にぴったりと合い、トレイにセットされたメディアが多すぎないことを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

メディア サイズを確認します

- 文書サイズが使用中のメディアより大きい場合、ページがはみ出すことがあります。
- プリンタ ドライバで選択したメディア サイズとトレイにセットされているメディアのサイズが一致していることを確認してください。

余白設定の確認

ページの端からテキストまたはグラフィックスがはみ出す場合は、文書のマージン設定が、本体の印刷可能領域以内であることを確認します。 詳細については、最小余白の設定を参照してください。

印刷の向きの設定を確認します。

アプリケーションで選択したメディアのサイズおよびページの方向がプリンタ ドライバでの設定と一致していることを確認します。 詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルなどにより生成) により、プリント結果が若干歪む場合があります。 本体を電磁界の元から離します。 電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

前述の解決策でも問題が解決しない場合、アプリケーションが印刷設定を正しく解釈できないことにより問題が生じている場合があります。 特定のヘルプについては、リリース ノートで既知のソフトウェアの競合がないか確認するか、アプリケーションのマニュアルを参照するか、ソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。

HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

印刷品質の不良と予期しないプリント結果

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 印刷品質の低下に関する一般的な問題
- 無意味な文字が印刷される
- インクがにじむ
- テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る
- 印字が薄いか色が鮮やかでない

- カラーが白黒で印刷される
- 間違った色で印刷される
- 印刷結果のカラーがにじむ
- 色が正しい位置に印刷されない
- テキストまたはグラフィックスの線やドットが欠落している

印刷品質の低下に関する一般的な問題

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。

HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

用紙品質の確認

用紙が湿っているまたは表面が粗いことがあります。 メディアが HP 仕様を満たしていることを確認し、再度印刷してみます。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

本体にセットされているメディアのタイプの確認

トレイがセットした用紙をサポートしていることを確認します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルなどにより生成) により、プリント結果が若干歪む場合があります。 本体を電磁界の元から離します。 電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

プリント カートリッジの調整

プリント カートリッジの位置を調整します。 詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

プリント カートリッジのクリーニング

プリント カートリッジのクリーニングが必要な場合があります。 詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

無意味な文字が印刷される

印刷中のジョブが中断されると、本体がジョブの残りを認識しない場合があります。

印刷ジョブをキャンセルし、本体がレディー状態に戻るのを待ちます。 プリンタがレディー状態に戻らない場合は、ジョブをキャンセルしてから待ちます。 本体がレディーになったら、ジョブを再度送信します。 コンピュータが印刷ジョブを再試行するように要求したら、**[キャンセル]** クリックします。

ケーブル接続の確認

本体とコンピュータが USB ケーブルで接続されている場合、ケーブル接続が不良なために問題が生じることがあります。
ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認します。 問題が解決しない場合は本体の電源を切り、本体からケーブルを外してから本体の電源を入れ、プリンタ スプーラから残りのジョブを削除します。 電源ランプが点滅せずにオンになったら、ケーブルを再度接続します。

ドキュメント ファイルの確認

文書ファイルが損傷していることがあります。 同じアプリケーションでほかのドキュメントを印刷できる場合は、可能ならば、ドキュメントのバックアップ コピーを印刷してみます。

プリント カートリッジの調整

プリント カートリッジの位置を調整します。 詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

インクがにじむ

印刷設定の確認

- インク量を多く使用する文書を印刷している場合、プリント結果を扱う前に十分乾燥するようにしてください。 OHP フィルムの場合は特に注意してください。 プリンタ ドライバで **[ベスト]** 印刷品質を選択し、インクの乾燥時間を増やして、詳細設定 (Windows) またはインク機能 (Mac OS) のインク量を使用してインクの彩度を減らします。 ただし、インク彩度を減らすとプリント結果が洗い流されたような品質になる場合があります。
- リッチでブレンドされたカラーのあるカラー文書は、**[ベスト]** 印刷結果を使用して印刷した場合にシワがよる場合があります。 **[ノーマル]** などの別の印刷モードを使用してみるか、または鮮やかなカラーのある文書印刷用にデザインされた HP プレミアム用紙を使用してみます。 詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

用紙の種類の確認

メディアの種類によっては、インクをうまく受け入れないものがあります。 このような種類のメディアでは、インクが乾くのに時間がかかり、インクがにじむ場合があります。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。

HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

プリント カートリッジのクリーニング

プリント カートリッジのクリーニングが必要な場合があります。 詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る

用紙の種類の確認

一部のメディアは、本製品での使用に適していません。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

プリント カートリッジの確認

プリント カートリッジのインク残量が少なくないことを確認してください。 詳細については、プリント カートリッジのメンテナンスを参照してください。
HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

プリント カートリッジのクリーニング

プリント カートリッジのクリーニングが必要な場合があります。 詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

印字が薄いか色が鮮やかでない

プリント モードの確認

プリンタ ドライバの **[エコノ ト]** モードまたは **[高速]** モードでは、すばやく印刷でき、ドラフトの印刷に適しています。 よりよい結果を得るには、**[きれい]** または **[高画質]** を選択します。 詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

用紙の種類の設定を確認します

OHP フィルムまたは他の特殊なメディアに印刷する場合は、プリント ドライバで対応するメディア タイプを選択してください。 詳細については、特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷を参照してください。

プリント カートリッジのクリーニング

プリント カートリッジのクリーニングが必要な場合があります。 詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。

HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

カラーが白黒で印刷される

印刷設定の確認

[グレースケールで印刷する] がプリンタ ドライバで選択されていないか確認します。 この設定の変更については、プリント設定の変更を参照してください。

間違った色で印刷される

印刷設定の確認

[グレースケールで印刷する] がプリンタ ドライバで選択されていないか確認します。 この設定の変更については、プリント設定の変更を参照してください。

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。

HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

プリント カートリッジのクリーニング

プリント カートリッジのクリーニングが必要な場合があります。 詳細については、プリント カートリッジのクリーニングを参照してください。

印刷結果のカラーがにじむ

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。
HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

印刷設定の確認

[グレースケールで印刷する] がプリンタ ドライバで選択されていないか確認します。 この設定の変更については、プリント設定の変更を参照してください。

用紙の種類の確認

メディアの種類によっては、インクをうまく受け入れないものがあります。 このような種類のメディアでは、インクが乾くのに時間がかかり、インクがにじむ場合があります。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

色が正しい位置に印刷されない

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。
HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

画像の配置の確認

ページでの画像の位置を確認するには、ソフトウェアのズームまたは印刷プレビュー機能を利用します。

プリント カートリッジの調整

プリント カートリッジの位置を調整します。 詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

テキストまたはグラフィックスの線やドットが欠落している

プリント カートリッジの確認

プリント カートリッジのインク残量が少なくないことを確認してください。 詳細については、プリント カートリッジのメンテナンスを参照してください。
HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

給紙の問題の解決

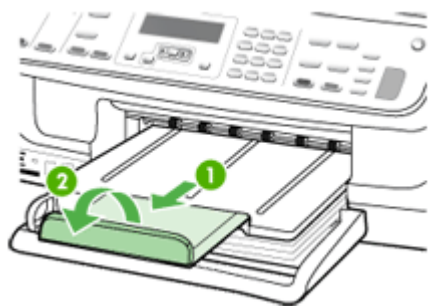
メディアがプリンタまたはトレイにサポートされていない場合

本体および使用中のトレイでサポートされているメディアのみを使用します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

メディアがトレイから供給されない

- トレイにメディアがセットされていることを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。 メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイのメディアが丸まっていないことを確認します。 丸まっている紙は反対に丸めて、平らにします。
- 薄い特殊なメディアを使用する場合は、トレイが完全にセットされていることを確認してください。 少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの他の用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。 (トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)
- 厚い特殊なメディア (カタログなど) を使用する場合は、トレイの 1/4 から 3/4 までに収まるようにメディアをセットしてください。必要に応じて、同じサイズの他の用紙の上にそのメディアを置いて、重ねたメディアの高さがこの範囲内に収まるようにしてください。

メディアが正しく排出されない

- 排紙トレイの拡張部が引き出されていることを確認します。排紙トレイが引き出されていないと、印刷ページが本体から落下することがあります。

- 余分なメディアは排紙トレイから取り除いてください。 トレイにセットできる枚数には制限があります。

ページが曲がっている

- トレイにセットされたメディアが用紙ガイドと合っていることを確認します。 必要に応じてトレイを本体から引き出し、メディアを正しくセットして用紙ガイドがきちんと合っていることを確認します。
- 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 印刷中は本体にメディアをセットしないでください。

一度に 2 枚以上給紙される

- メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイに用紙がセットされすぎていないことを確認します。
- 薄い特殊なメディアを使用する場合は、トレイが完全にセットされていることを確認してください。 少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの他の用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。 (トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)

• 厚い特殊なメディア (カタログなど) を使用する場合は、トレイの 1/4 から 3/4 までに収まるようにメディアをセットしてください。 必要に応じて、同じサイズの他の用紙の上にそのメディアを置いて、重ねたメディアの高さがこの範囲内に収まるようにしてください。
• 最高のパフォーマンスと効率を実現するには、HP メディアを使用してください。

コピーの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

コピーが排出されない

• **電源の確認**
  電源コードがしっかりと接続され、本体の電源がオンになっていることを確認します。
• **本体のステータスの確認**
  ◦ デバイスで別のジョブが実行されている可能性があります。 コントロール パネルのディスプレイで、ジョブのステータスを確認します。 実行中のジョブがある場合は、そのジョブが終了するまで待ちます。
  ◦ デバイスで紙詰まりが発生している可能性があります。 用紙が詰まっていないかどうかを確認します。 メディア詰まりの除去を参照してください。
• **トレイの確認**
  メディアがセットされていることを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

何もコピーされない

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **設定の確認**
  コントラストの設定が明るすぎる可能性があります。 デバイスのコントロール パネルの **コピー** ボタンを使用し、明るさを低くしてコピーを作成します。
- **トレイの確認**
  ADF を使用してコピーしている場合は、原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。

原稿の一部がコピーされない、または薄い

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **設定の確認**
  品質の設定が **[はやい]** (ドラフト品質のコピーが作成されます) になっていると、原稿の一部がコピーされないことや、コピーが薄くなることがあります。 設定を **[標準]** または **[高画質]** に変更します。
- **原稿の確認**
  - コピーの正確さは、原稿の品質やサイズによって異なります。 **[コピー]** メニューを使用してコピーの明るさを調整します。 原稿が明るすぎる場合、コントラストを調整しても、原稿の一部がコピーされないことがあります。
  - 背景に色が付いていると、前景が背景に混ざることや、背景の影が原稿と異なることがあります。

サイズが小さくなる

- デバイスのコントロール パネルの拡大/縮小などのコピー機能が、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 コピー機能のサイズの設定が原寸になっていることを確認します。
- HP フォト イメージング ソフトウェアが、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 必要に応じて設定を変更します。 詳細については HP フォト イメージング ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

コピーの品質が悪い

- **コピーの品質を高めるための手順の実行**
  - 品質の良い原稿を使用します。
  - メディアを正しくセットします。 メディアが正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にコピーされないことがあります。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
  - 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
- **本体の確認**
  - スキャナのカバーが正しく閉じられていない可能性があります。
  - 必要に応じて、スキャナ ガラスまたはスキャナの保護シートをクリーニングします。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
  - ADF のクリーニングが必要です。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。

正しくコピーされない

- **縦方向の白いまたはかすれたしま模様**

  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **明るすぎる、または暗すぎる**

  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。

- **不要な線**

  必要に応じて、スキャナ ガラス、スキャナの保護シートまたはスキャナ フレームをクリーニングします。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **黒い点または縞が現れる**

  インク、接着剤、修正液、またはゴミがスキャナ ガラスまたは保護シートに付着している可能性があります。 本体をクリーニングしてみます。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **斜めまたはゆがんでコピーされる**
  - ADF 給紙トレイにセットされているメディアの量が多すぎないことを確認します。
  - ADF のメディア幅アジャスタがメディアの端にぴったりと合っていることを確認します。
- **テキストがはっきりしない**
  - コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
  - デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **テキストまたはグラフィックスにムラがある**

  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
- **大きなものモノクロ文字がまだらで、なめらかでない**

  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **ライト グレーからミディアム グレーの部分にざらざらしたまたは白い横線が現れる**

  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。

HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

エラー メッセージが表示される

"原稿をセットし直した後、ジョブを再ロードしてください"

OK(O) ボタンを押し、残りの原稿 (最大 20 枚) を ADF にセットし直します。 詳細については、原稿のセットを参照してください。

スキャンの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 コンピュータからスキャンを開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

- スキャナが動作しない
- スキャンに時間がかかりすぎる
- 文書の一部またはテキストがスキャンされない
- テキストを編集できない
- エラー メッセージが表示される
- スキャンした画像の品質が良くない
- 正しくスキャンされない

スキャナが動作しない

- **原稿の確認**
  原稿がスキャナのガラス板に正しくセットされていることを確認してください。 詳細については、スキャナのガラス板への原稿のセットを参照してください。
- **本体の確認**
  一定時間操作が行われずに本体がパワーセーブ モードに入っていたため、処理が再開されるまで時間がかかっている可能性があります。 本体が [**準備完了**] 状態になるまで待ちます。

スキャンに時間がかかりすぎる

- **設定の確認**
  - 解像度の設定が高すぎると、スキャンに時間がかかり、作成されるファイルのサイズも大きくなります。 スキャンまたはコピーで良い結果を得るには、解像度を必要以上高く設定しないようにします。 解像度の設定を低くするとスキャンの速度が向上します。
  - TWAIN 経由で画像を取得する場合は、原稿をモノクロでスキャンするように設定を変更すると、問題が解決することがあります。 詳細については、TWAIN プログラムのオンスクリーン ヘルプを参照してください。
- **本体のステータスの確認**
  スキャンの前に印刷ジョブまたはコピー ジョブを送信した場合は、スキャナがビジー状態でなければ、スキャンが開始されます。 ただし、その場合は、印刷またはコピーとスキャンとでメモリが共有されるため、スキャンの速度が遅くなる可能性があります。

文書の一部またはテキストがスキャンされない

- **原稿の確認**
  - 原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - 原稿を ADF からスキャンした場合は、スキャナ ガラスから直接スキャンしてみます。詳細については、スキャナのガラス板への原稿のセットを参照してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像が背景に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。
- **設定の確認**
  - メディアのサイズがスキャン原稿に対して十分であることを確認します。
  - HP フォト イメージング ソフトウェアを使用している場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのデフォルトの設定が、現在行おうとしているタスクとは別のタスクを自動的に行うように設定されている可能性があります。 プロパティを設定する手順については、HP フォト イメージング ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。

テキストを編集できない

- **設定の確認**
  - OCR ソフトウェアがテキストを編集するように設定されていることを確認します。
  - 原稿をスキャンするとき、編集可能なテキストが生成される文書の種類を選択します。 テキストがグラフィックスと認識されると、テキストに変換されません。
  - OCR プログラムに、OCR タスクを実行しないワードプロセッシング プログラムがリンクされている可能性があります。 プログラムのリンクの詳細については、製品ソフトウェアのヘルプを参照してください。
- **原稿の確認**
  - OCR の場合、原稿を ADF にセットするときは、原稿の先頭を前にして、読み取り面を上に向ける必要があります。原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - 文字間の狭いテキストは OCR プログラムによって認識されない可能性があります。 OCR プログラムで変換するテキストの文字が失われていたり、つながったりしていると、たとえば、"rn" が "m" と認識される場合があります。
  - OCR プログラムの正確さは、画像の品質、テキストのサイズ、原稿の構造、スキャン自体の品質によって異なります。 原稿の画像の品質が良いことを確認してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像と必要以上に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。 原稿に対して OCR 操作を実行する場合、原稿上の色付きのテキストは適切にスキャンされません。

エラー メッセージが表示される

- **“TWAIN ソースを有効にできません”または“画像の取得中にエラーが発生しました”**
    - デジタル カメラや別のスキャナなど、本体以外のデバイスから画像を取得している場合、そのデバイスが TWAIN に準拠していることを確認します。 TWAIN に準拠していないデバイスは、デバイス ソフトウェアと連携しません。
    - USB デバイス ケーブルを使用してコンピュータ背面の正しいポートに接続していることを確認します。
    - 正しい TWAIN ソースが選択されていることを確認します。 ソフトウェアで、**ファイル** メニューの **スキャナの選択** を選択します。
- **“原稿をセットし直した後、ジョブを再開してください”**
  OK(O) ボタンを押し、残りの原稿 (最大 50 枚) を ADF にセットし直します。 詳細については、原稿のセットを参照してください。

スキャンした画像の品質が良くない

原稿が二次的な写真または画像である

新聞や雑誌などの印刷された写真は、細かなドットで元の写真を再現する方法が使用されているため、品質が低下しています。 多くの場合、インクのドットは、画像のスキャンや印刷を行うとき、または画像を画面上に表示するときに不要なパターンを生み出す可能性があります。 以下の方法で問題が解決しない場合は、現在よりも品質の良い原稿を使用する必要があります。

- パターンを削除するには、スキャン後に画像のサイズを縮小してみます。
- スキャンした画像を印刷し、品質が改善されるかどうかを確認します。
- 解像度と色の設定がスキャン ジョブの種類に適していることを確認します。
- 最良の結果を得るには、スキャンには ADF ではなく、フラットベッド型スキャナを使用します。

原稿の裏面のテキストや画像がスキャンされる

薄いメディアまたは透明度の高いメディアに印刷されている両面原稿は、裏側のテキストまたは画像が表面に透け、スキャナに取り込まれることがあります。

スキャンした画像がゆがんでいる (曲がっている)

原稿が正しくセットされていない可能性があります。 原稿を ADF にセットするときは必ずメディア ガイドを使用してください。詳細については、原稿のセットを参照してください。

印刷した方が画質が良い

画面に表示される画像は、スキャンの質を必ずしも正確に表現しているとは限りません。

- コンピュータ モニタの設定を調整して、使用する色数 (グレーのレベル数) を増やしてみます。 Windows コンピュータでこの調整を行うには、通常、Windows のコントロール パネルの **[画面]** を使用します。
- 解像度と色の設定を調整してみます。

スキャンした画像に汚れ、線、縦の白いストライプなどの問題がある

- スキャナ ガラスが汚れていると、最適な鮮明度の画像が得られません。 デバイスのクリーニングを参照してクリーニングを実施します。
- スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。

グラフィックスが原稿と異なって見える

グラフィックスの設定が実行中のスキャン ジョブの種類に適していない可能性があります。 グラフィックスの設定を変更してみてください。

スキャンの質を高めるための手順の実行

- ADF ではなく、スキャナのガラス板を使用してスキャンを実行します。
- 質の良い原稿を使用します。
- メディアを正しく置きます。 メディアがスキャナのガラス板に正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にスキャンされないことがあります。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
- スキャンしたページの用途に応じてソフトウェアの設定を調整します。
- 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
- スキャナ ガラスをクリーニングします。 詳細については、スキャナ ガラスのクリーニングを参照してください。

正しくスキャンされない

- **空白ページ**

  原稿が正しくセットされていることを確認します。 フラットベッド型スキャナでは、原稿の表を下に向け、原稿の左上隅をスキャナ ガラスの右下隅に合わせてセットします。

- **明るすぎる、または暗すぎる**
  - 設定を調整してみます。 正しい解像度と色設定を必ず使用してください。
  - 原稿が非常に明るい (または暗い) か、色の付いた用紙に印刷されている可能性があります。

- **不要な線**

  スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、またはゴミが付着している可能性があります。 スキャナ ガラスをクリーニングしてみてください。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。

- **黒い点または縞**
  - スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、または不要物が付着しているか、スキャナ ガラスに汚れまたは傷があるか、スキャナの保護シートが汚れている可能性があります。 スキャナ ガラスと保護シートをクリーニングしてみてください。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。 クリーニングしても問題が解決しない場合は、必要に応じて、スキャナ ガラスまたはスキャナの保護シートを交換します。
  - スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。

- **テキストが鮮明でない**

  設定を調整してみます。 解像度と色の設定が正しいことを確認してください。

- **サイズが小さくなる**

  HP ソフトウェアが、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 設定の変更方法の詳細については、製品ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ファクスの問題の解決

このセクションでは、ファクスのセットアップに関するトラブルシューティングについて説明します。 ファクスが正しくセットアップされ

ていないと、ファクスの送信、ファクスの受信またはその両方で問題が発生する可能性があります。

ファクスに問題がある場合、ファクス テスト レポートを印刷して、本体の状態を確認できます。 本体でファクスが正しくセットアップされていない場合、テストに失敗します。 このテストは、デバイスのファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。 詳細については、ファクス テストに失敗したを参照してください。

- ファクス テストに失敗した
- ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される
- ファクスの送受信がうまくできない
- 手動によるファクスの送信がうまくできない
- ファクスを受信できないが、送信はできる
- ファクスを送信できないが、受信はできる
- ファクス トーンが留守番電話に録音される
- デバイスに付属の電話コードの長さが十分でない
- コンピュータでファクスを受信できません (PC ファクス受信)

ファクス テストに失敗した

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。 詳細については、レポートでテストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当トピックで対処方法をご確認ください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した
- 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した
- 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した
- 「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した
- 「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した
- 「ファクス回線状態」テストに失敗した

「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した

解決方法:

- デバイスのコントロール パネルの **電源** ボタンを使用してデバイスの電源をオフにし、本体背面から電源コードを抜きます。 数秒経過してから、電源コードを再び接続し、電源をオンにします。 もう一度テストを実行します。 またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。 ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。
- **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac OS) からテストを実行している場合、ファクスの受信やコピーなど他のタスクを完了するためにデバイスがビジーになっていないことを確認します。 コントロール パネル ディスプレイのメッセージで、本体がビジー状態であるかどうかを確認してください。 ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。 本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 **[ファクス ハードウェア テスト]** の失敗が続き、ファクスを使用できない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。

「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

解決方法:

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。 ファクスを使用するための本体の設定の詳細については、デバイスのファクス機能のセットアップを参照してください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。

「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

解決方法: 電話コードを正しいポートに接続します。

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 2-EXT ポートを使用して壁側のモジュラー ジャックに接続すると、ファクスの送受信はできません。 2-EXTポートは、留守番電話などの機器接続専用です。

図 9-1 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

2. 1-LINE というラベルの付いたポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功すると、ファクスを使用することができます。
3. テスト ファクスを送信または受信してみてください。

- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した

解決方法:

- 本製品に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を本体背面にある 1-LINE というラベルの付いたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。 カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した

解決方法:

- 本体と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。 他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。 他の機器を外したときに [**ダイヤルトーン検出テスト**] に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。 これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。 テスト ファクスを送信または受信してみてください。
- お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。 国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

- 本体をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。 電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。 通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。 本体をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 [**ダイヤル トーン検出**] テストに引き続き失敗し続ける場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

「ファクス回線状態」テストに失敗した

解決方法:

- 本体をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。本体をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- 本体と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になってい

るかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。

  ◦ 他の機器を外したときに [**ファクス回線状態テスト**] に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
  ◦ 他の機器を外して [**ファクス回線状態テスト**] に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に本体を接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティングを実施します。

- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 [**ファクス回線状態**] テストに引き続き失敗し続け、ファクスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される

解決方法: 間違った種類の電話コードを使用しています。 本体を電話回線に接続する際は、必ず付属の電話コードを使用してください。本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

解決方法: 本体と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話 (同じ電話回線を使用している電話で、本体に接続されていないもの) またはその他の機器が使用中でないこ

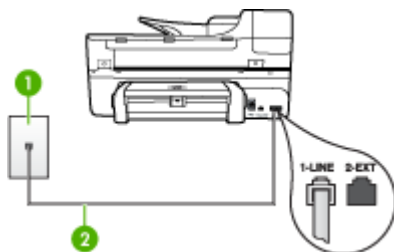
と、受話器が外れていないことを確認してください。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、本体のファクス機能は使用できません。

ファクスの送受信がうまくできない

解決方法: 本体の電源がオンになっていることを確認します。 本体のディスプレイを見てください。 ディスプレイに何も表示されず、**電源** ランプが点灯していない場合は、本体の電源が入っていません。 本体の電源コードが電源コンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。 **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れてください。

本体の電源をオンにしたら、5 分ほど待ってから、ファクスの送受信を行うようお勧めします。 本体の電源をオンにしても、初期化中は送受信できません。

解決方法:

• 本製品に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を本体背面にある 1-LINE というラベルの付いたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っ

ている電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 発信音が聞こえない場合、電話会社にお問い合わせください。
- 本体と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、本体のファクス機能は使用できません。
- 他のプロセスがエラーの原因となっていないか確認してください。 ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。 エラーが解決するまで、ファクスの送受信を行うことができません。
- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。 電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。 ノイズが聞こえたら、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、もう一度ファクスしてみてください。 ECM の変更方法の詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。 問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。 詳細については、ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップを参照してください。
- 本体が、デジタル電話用のモジュラージャックに接続されていないことを確認してください。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。

- PBX (構内交換機) または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、本体が正しいポートに接続され、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に適した種類のスイッチに設定されていることを確認してください。 詳細については、ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップを参照してください。
- 本体が DSL サービスと同じ電話回線を共有している場合、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。 DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。 ノイズが聞こえる場合は、DSL モデムをオフにして、少なくとも 15 分間電力を完全に除去します。 DSL モデムをもう一度オンにして、ダイヤル トーンを聞いてください。

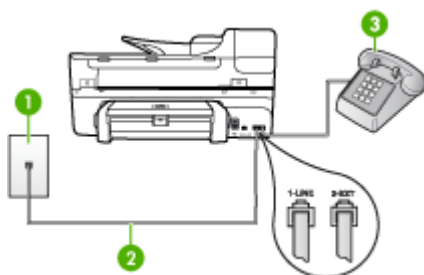
  注記 今後、電話回線で再び雑音が聞こえる場合があります。 ファクスの送受信が停止する場合は、この手順を繰り返してください。

  電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。 DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

手動によるファクスの送信がうまくできない

解決方法:

注記 この解決策は、本製品に 2 線式電話コードが付属している次の国または地域にのみ適用されます。 アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

• ファクスを実行するために使用する電話機が、本体に直接接続されていることを確認してください。 ファクスを手動で送信するには、下図のように、本体の 2-EXT というラベルの付いたポートに電話機を直接接続してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する
3	電話

• 本体に直接接続された電話から手動でファクスを送信する場合、ファクス送信には電話機のキーパッドを使用する必要があります。 デバイスのコントロール パネルのキーパッドは使用できません。

注記 シリアル方式の電話を使用している場合、壁のプラグが接続された本体ケーブルの一番先に電話を直接接続します。

ファクスを受信できないが、送信はできる

解決方法:

- 着信識別サービスを使用していない場合は、[**応答呼出し音のパターン**] 機能が [**すべての呼び出し**] に設定されていることを確認します。 詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。
- [**自動応答**] が [**オフ**] に設定されている場合、ファクスの自動受信は行われません。ファクスを手動で受信する必要があります。 ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。 受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 ボイスメール サービスをお使いの場合にファクスをセットアップする方法については、ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用するを参照してください。ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- 本体と同じ電話回線上にコンピュータ モデムがある場合は、モデムに付属のソフトウェアが、ファクスを自動受信する設定になっていないことを確認してください。 ファクスを自動受信するよう設定されたモデムは、電話回線を占有してすべての受信ファクスを受け取るため、本体がファクス呼び出しを受信できません。
- 本体と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 留守番電話が本体に対して適切にセットアップされていない。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために、本体がファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断されている。
  - 本体がファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。 この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

以下のアクションを実行すると、これらの問題が解決される場合があります。

◦ ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話を本体に直接接続してください。
◦ 本体でファクスを自動受信するように設定されていることを確認します。 本体でファクスを自動受信するように設定する方法については、ファクスの受信を参照してください。
◦ [**応答呼出し回数**] 設定を留守番電話よりも多い回数に設定していることを確認します。 詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。
◦ 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみます。 この状態でファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
◦ 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。 約 10 秒の長さのメッセージを録音します。 メッセージを録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。 音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。 この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。 もう一度ファクスを受信してください。

注記 デジタル留守番電話には、外出メッセージの最後に録音した無音部分を保持しないものもあります。 外出メッセージを再生して確認してください。

- 本体が、留守番電話やコンピュータ モデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが低下することがあります。 スプリッターを使ったり、別のケーブルをつないで電話コードを延長しても信号レベルは低下します。 ファクスの信号レベルが低下すると、ファクスの受信に問題が発生する場合があります。
  他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、本体以外のすべての機器を電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。 他の機器を外したときにファクスを正常に受信できる場合は、他の少なくとも 1 台の機器が問題の原因である可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 台ずつ戻し、そのたびにファクスを受信します。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、本体の [**応答呼出し音のパターン**] 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。

ファクスを送信できないが、受信はできる

解決方法:

- 本体のダイヤル速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。 ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。 たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。 ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番号である場合、9-555-5555 のように間隔を挿入します。 9-555-5555 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 [-] が表示されるまで、**[スペース (#)]** ボタンを繰り返し押します。
  ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。 これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。 ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。 詳細については、ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信を参照してください。
- ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくないか、受信中のファクス機に問題が発生しています。 電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。 ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

ファクス トーンが留守番電話に録音される

解決方法:

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話を本体に直接接続してください。 留守番電話を推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
- 本体のファクス機能が自動受信に設定され、**[応答呼出し回数]** の設定が適切であることを確認してください。 デバイスの応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。 留守番電話と本体で設定されている応答までの呼び出し回数が同じ場合、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
- 留守番電話の呼び出し回数を少なくし、本体の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、デバイスが電話回線を監視します。 本体がファクス受信音を検出した場合は、本体がファクスを受信します。 着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。

デバイスに付属の電話コードの長さが十分でない

解決方法:　本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

ヒント　本体に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合は、4 線式電話コードと合わせて使用して長さを延長できます。 2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください (日本では付属しておりません)。

電話コードを延長するには

1. 本製品に付属の電話コードの一方の端をカプラーに、もう一方の端を本体背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。
2. もう 1 本の電話コードを、カプラーの空いているポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。

コンピュータでファクスを受信できません (PC ファクス受信)

原因:　HP Digital Imaging Monitor がオフです。

解決方法:　タスクバーを確認して、HP Digital Imaging Monitor が常にオンであることを確認します。

原因:　ファクスの受信用として選択したコンピュータがオフです。

解決方法:　ファクス受信用として選択したコンピュータが常にオンであるようにしてください。

原因:　セットアップ用とファクス受信用に設定したコンピュータが異なり、いずれかの電源がオフです。

解決方法:　ファクスを受信するコンピュータがセットアップに使用したコンピュータと異なる場合、両方のコンピュータの電源が常に入っている必要があります。

原因:　給紙トレイに用紙がセットされていません。

解決方法:　給紙トレイに用紙をセットします。

原因:　内部メモリがいっぱいです。

解決方法:　ファクス ログおよびメモリを消去し、内部メモリをクリアします。

原因:　[PC ファクス受信] が無効になっているか、コンピュータがファクスを受信するように設定されていません。

解決方法:　[PC ファクス受信] を有効にし、コンピュータがファクスを受信するように設定されていることを確認します。

原因: HP Digital Imaging Monitor が正しく動作しません。

解決方法: HP Digital Imaging Monitor を再起動するか、コンピュータを再起動します。

ネットワークの問題の解決

注記 以下を修正した後、インストール プログラムを再度実行します。

一般的なネットワーク トラブルシューティング

- プリンタ ソフトウェアをインストールできない場合は、以下を確認します :
  - コンピュータとデバイスにすべてのケーブルがしっかりと接続されている。
  - ネットワークが使用できる状態で、ネットワーク ハブがオンになっている。
  - Windows を実行しているコンピュータで、ウィルス保護プログラム、スパイウェア保護プログラム、ファイアウォールを含むあらゆるアプリケーションが終了しているか、または無効にされている。
  - デバイスを使用するコンピュータと同じサブネット上にデバイスがインストールされていることを確認します。
  - インストール プログラムがデバイスを検知できない場合は、ネットワーク設定ページを印刷してインストール プログラムに IP アドレスを手動で入力します。 詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
- Windows を実行中のコンピュータを使用している場合は、デバイス ドライバに作成されたネットワーク ポートがデバイスの IP アドレスと一致していることを確認します。
  - デバイスのネットワーク設定ページを印刷します。
  - **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
    -または-
    [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。

◦ デバイスのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[ポート]** タブをクリックします。
◦ デバイスの TCP/IP ポートを選択し、**[ポートの構成]** をクリックします。
◦ ダイアログ ボックスに表示された IP アドレスを比較し、ネットワーク設定ページに表示された IP アドレスと一致することを確認します。 IP アドレスが一致しない場合は、ネットワーク設定ページのアドレスと一致するようダイアログ ボックスの IP アドレスを変更します。
◦ **[OK]** を 2 回クリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを終了します。

ワイヤ ネットワークへの接続問題

• ネットワーク コネクタのリンク ランプが点灯しない場合は、「一般的なネットワーク トラブルシューティング」の項目がすべて満たされていることを確認します。
• デバイスに静的 IP アドレスを割り当てることは推奨されていませんが、これを行うことによってインストールの問題 (パーソナル ファイアウォールとの競合など) が解決される場合があります。

ワイヤレス通信に関連する問題の解決

ワイヤレス設定とソフトウェアのインストールを行った後にネットワークと通信できない場合は、以下の作業の 1 つ以上を実行します。

ワイヤレス通信設定を確認します。

- コンピュータのワイヤレス カードが正しいワイヤレス プロファイルに設定されていることを確認します。 ワイヤレス プロファイルは、指定のネットワークに固有の一連のネットワーク設定です。 1 つのワイヤレス カードに複数のワイヤレス プロファイルがある場合があります (例えば家庭用ネットワークとオフィス用ネットワークなど)。 コンピュータにインストールされたネットワーク カードの構成ユーティリティを開き、選択されたプロファイルがデバイスのネットワーク用のプロファイルであることを確認します。
- デバイスのネットワーク設定がネットワークの設定と一致することを確認します。 ネットワークの設定を見つけるには、以下のいずれかを実行します。
    - **インフラストラクチャ通信**： ワイヤレス アクセス ポイント (WAP) の構成ユーティリティを開きます。
    - **アドホック通信**： コンピュータにインストールされたネットワーク カードの構成ユーティリティを開きます。
- ネットワークの設定を、デバイスのネットワーク設定ページに示されている設定と比較し、違いがあれば書き留めます。 詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。 可能性のある問題：
    - WAP フィルタ ハードウェア アドレス (MAC アドレス)。
    - 本体の 通信モード、ネットワーク名 (SSID)、チャンネル (アドホック ネットワークのみ)、認証タイプ、または暗号化の設定が間違っている可能性があります。
    - 文書を印刷します。 それでも文書を印刷できない場合は、デバイスのネットワーク設定をリセットし、プリンタソフトウェアを再インストールします。

ワイヤレス ネットワークの設定が正しい場合は、コンピュータが別のワイヤレスネットワークと関連付けられている可能性があります。 コンピュータが、デバイスと同じワイヤレス ネットワークと関連付けられていることを確認してください。

コンピュータのワイヤレス設定をチェックすることによってこれを確認できます。 また、コンピュータにワイヤレス ネットワークへのアクセスがあることも確認します。

ワイヤレス ネットワークの設定が間違っている場合は、以下の手順に従ってデバイスの設定を修正します。

1. デバイスを、ネットワーク ケーブルを使用してネットワークまたはコンピュータに接続します。
2. デバイスの埋め込み Web サーバを開きます。
3. **[ネットワーキング]** タブをクリックし、左枠にある **[ワイヤレス (802.11)]** をクリックします。
4. [ワイヤレス設定] タブのワイヤレス設定ウィザードを使用して、ネットワークの設定と一致するようにデバイスの設定を変更します。
5. デバイスの埋め込み Web サーバを終了して、デバイスからネットワーク ケーブルを外します。
6. プリンタソフトウェアを完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。

ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、Wireless Access Point (WAP) が WAP を通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) のリストに構成されています。 ネットワークにアクセスしようしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。 WAP で MAC アドレスをフィルタする場合、デバイスの MAC アドレスを WAP の容認された MAC アドレスのリストに追加しなければなりません。

• ネットワーク設定ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
• WAP の構成ユーティリティを開き、デバイスのハードウェア アドレスを、容認された MAC アドレスのリストに追加します。

ネットワーク設定をリセットする

デバイスがネットワークと通信できない場合は、デバイスのネットワーク設定をリセットします。

- **[セットアップ]** を押します。 矢印ボタンを押して **[ネットワーク]** に移動し、**[OK]** を押します。
- 矢印ボタンを押して **[ネットワーク デフォルトに戻す]** に移動し、**[OK]** を押します。
- ネットワーク設定ページを印刷し、ネットワーク設定がリセットされているかどうかを確認します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
  デフォルトでは、ネットワーク名 (SSID) は "hpsetup"、通信モードは "ad hoc" です。

写真 (メモリ カード) の問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 メモリ カードの操作をコンピュータから開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

- メモリ カードを読み取ることができない
- メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない
- ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

メモリ カードを読み取ることができない

- **メモリ カードの確認**
  - 使用中のメモリ カードのタイプが本体でサポートされているタイプであることを確認します。 コンパクト フラッシュ II の場合は、ソリッドステート メモリのみがサポートされます。 詳細については、メモリ カードの挿入を参照してください。
  - 一部のメモリ カードには、その使用方法を制御するスイッチがあります。 スイッチの設定でメモリ カードの読み取りが可能になっていることを確認します。

- メモリ カードの両端を調べ、穴にゴミが詰まっていないこと、および金属の接点が汚れて接触不良を起こしていないことを確認します。 糸くずのない布と少量のイソプロピル アルコールで接点をクリーニングします。
- 他のデバイスでテストすることによって、メモリ カードが適切に機能していることを確認します。

- **メモリ カード スロットの確認**
  - メモリ カードが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します。詳細については、メモリ カードの挿入を参照してください。
  - メモリ カードを取り外し (ランプが点滅していないとき)、空いたスロットの中を懐中電灯で照らします。 内部に折れ曲がったピンがないかどうかを確認します。 少しだけ曲がったピンは、コンピュータがオフのときに、芯を戻した細いボールペンの先でまっすぐにすることができます。 別のピンに接触するほど折れ曲がったピンがある場合は、メモリ カード リーダーを交換するか、本体の修理を依頼してください。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。
  - スロットにメモリ カードが 1 枚だけ挿入されていることを確認します。 同時に 2 枚以上のメモリ カードを挿入すると、通常、コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示されます。

メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない

メモリ カードの確認

メモリ カードが壊れている可能性があります。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

プリント カートリッジの確認

正しいプリント カートリッジが装着されており、インクの残量が少なくないことを確認します。 詳細については、デバイスの管理 およびプリント カートリッジのメンテナンス を参照してください。

HP では、他社製のプリント カートリッジの品質を保証することはできません。

インストールの問題のトラブルシューティング

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

- ハードウェアのインストールに関する提案
- ソフトウェアのインストールに関する提案

ハードウェアのインストールに関する提案

本体の確認

- デバイスの外部および内部からすべての梱包材や梱包用テープが取り外されていることを確認します。
- デバイスに用紙がセットされていることを確認します。
- 準備完了ランプ以外のランプが点滅したり点灯したりしていないことを確認します。準備完了ランプは点灯している必要があります。 注意ランプが点滅している場合は、デバイスのコントロールパネルに表示されているメッセージを確認します。

ハードウェアの接続状態を確認する

- 使用しているコードやケーブルが良好な状態であることを確認します。
- デバイスが電源コードでコンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- 電話線のコードが 1-LINE ポートに接続されていることを確認します。

プリント カートリッジの確認

- 新しいプリント カートリッジを取り付けたときは、デバイスがプリント カートリッジを自動的に調整します。 調整が失敗した場合は、カートリッジが正しく取り付けられていることを確認して、プリント カートリッジの調整を開始します。詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。
- ラッチとカバーがすべて完全に閉じていることを確認します。

コンピュータ システムを確認する

- コンピュータで、サポートされている OS のいずれかが実行されていることを確認します。
- コンピュータが少なくともシステムの最小要件を満たしていることを確認します。

デバイスをチェックして、以下を確認します。

- 電源ランプが点灯していて、点滅していないことを確認します。デバイスに初めて電源を入れた場合は、ウォームアップに約 45 秒かかります。
- デバイスがレディー状態で、デバイスのコントロール パネルの他のランプが点灯、または点滅していません。 ランプが点灯または点滅している場合は、デバイスのコントロール パネルに表示されているメッセージを確認します。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、デバイスにしっかりと接続されている。
- 梱包用のテープと梱包材がデバイスから取り外されている。
- 両面印刷ユニットが固定されている。
- 用紙がトレイに正しくセットされ、デバイス内に詰まっていない。
- すべてのラッチが閉じている。

ソフトウェアのインストールに関する提案

インストールの準備

- オペレーティング システムに対応したインストール ソフトウェアが収録されているスタータ CD を使用します。
- ソフトウェアをインストールする前に、プログラムがすべて終了されていることを確認します。
- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。
- CD-ROM ドライブでスタータ CD を認識できない場合は、スタータ CD が破損していないかどうかを調査してください。 デバイス ドライバは、HP の Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。

以下を確認、または実行します:

- コンピュータが必要なシステム条件を満たしていることを確認します。
- Windows のコンピュータにソフトウェアをインストールする前に、ほかのすべてのプログラムが閉じていないことを確認してください。
- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。
- CD ドライブ の Starter CD をコンピュータが認識しない場合は、CD が損傷していないことを確認します。 デバイス ドライバは、HP の Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。
- Windows のデバイス マネージャで USB ドライバが無効になっていないことを確認してください。
- コンピュータで Windows を実行していて、コンピュータがデバイスを検知できない場合は、アンインストール ユーティリティ (スターター CD の util\ccc\uninstall.bat) を実行してデバイス ドライバのクリーン アンインストールを実行します。 コンピュータを再起動し、デバイス ドライバを再インストールします。

コンピュータ システムを確認する

- コンピュータで、サポートされている OS のいずれかが実行されていることを確認します。
- コンピュータが少なくともシステムの最小要件を満たしていることを確認します。

メディア詰まりの除去

ジョブの実行中、本体内にメディアが詰まることがあります。 詰まったメディアを取り除く前に、以下のことを確認してください。

- 仕様に準拠したメディアで印刷していることを確認します。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- しわが寄っていたり、折れ曲がっていたり、傷んでいるメディアを使用していないことを確認します。

- 本体がきれいであることを確認します。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- トレイにメディアが正しくセットされていること、セットされているメディアの数が多すぎないことを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 紙詰まりの除去
- 紙詰まりの防止

紙詰まりの除去

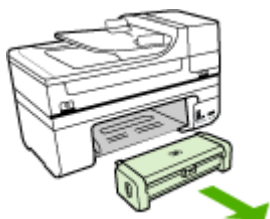
給紙トレイに用紙をセットした場合は、必要に応じて、印刷ユニットから詰まった用紙を取り除いてください。

自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす場合もあります。 次のような行為は、自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす原因となります。

- ドキュメント フィーダ トレイに紙を入れすぎている。 自動ドキュメント フィーダにセット可能な原稿の最大数については、原稿のセットを参照してください。
- デバイスで厚すぎたり薄すぎたりする用紙を使用している。
- 給紙中にドキュメント フィーダ トレイに用紙を追加しようとした。

両面印刷ユニットから詰まった紙を取り除くには

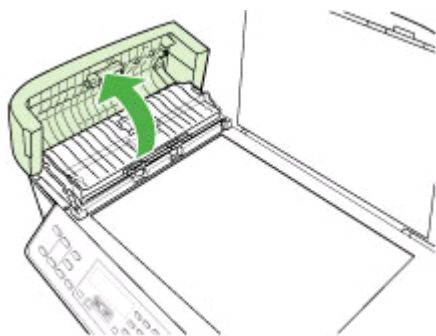
1. 両面印刷ユニットを外します。

   △ **注意** デバイスの正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。 必ず両面印刷ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

   △ **注意**　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。 デバイスに紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 両面印刷ユニットを交換してください。 カチッと音がするまで、ドアをゆっくり押し込みます。
4. 現在のジョブを続行するには、**OK(O)** をクリックします。

自動ドキュメント フィーダから詰まった紙を取り除くには

1. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

   △ **注意**　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。 デバイスに紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

紙詰まりの防止

紙詰まりを起こさないようにするには、以下の注意に従ってください。

- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 未使用の用紙はジッパー付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。

- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイにセットする用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用のデバイスで推奨している用紙の種類をお使いください。
  詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- ガラス板に原稿をセットしたままにしないでください。ガラス板の上に原稿があるときに原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると、自動ドキュメント フィーダの中で原稿が詰まることがあります。

A HP サプライ品とアクセサリ

このセクションには、本製品の HP サプライ品とアクセサリについての情報が説明されています。 この情報は変更されることがありますので、最新情報については HP Web サイト (www.hpshopping.com) をご覧ください。 Web サイトから購入いただくこともできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• 印刷サプライ品のオンライン注文
• サプライ品

印刷サプライ品のオンライン注文

HP Web サイトに加えて、印刷サプライ品の注文には次のツールを使用できます。

• **ツールボックス (Windows)**：**推定インク レベル** タブで、**オンライン ショップ** をクリックします。
• **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[サプライ品ステータス]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックし、**[HP サプライ品の注文]** ドロップダウン メニューをクリックし、**[オンライン]** を選択します。

サプライ品

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• サポートされているプリント カートリッジ
• HP メディア

サポートされているプリント カートリッジ

利用可能なプリント カートリッジは、国/地域によって異なります。 プリント カートリッジにはさまざまなサイズがあります。

プリント カートリッジ番号は次の場所で確認できます。

• 交換するプリント カートリッジのラベル。
• **[Windows]**： 双方向通信を行っている場合は、**[ツールボックス]** の **[推定インク レベル]** タブをクリックし、**[カートリッジの詳細]** ボタンが表示されるまでスクロールします。次に、**[カートリッジの詳細]** をクリックします。
• **Mac OS**： **HP プリンタ ユーティリティ**の **[情報とサポート]** パネルの **[サプライ製品情報]** をクリックし、**[市販サプライ品情報]** をクリックします。

HP メディア

HP プレミアム プラス フォト用紙または HP プレミアム用紙などのメディアを注文するには、www.hp.com にアクセスしてください。

お住まいの国/地域をお選びの上、[**購入**] または [**ショッピング**]を選択します。

B サポートおよび保証

保守とトラブルシューティングの情報は、一般的な問題の解決策を提供します。 お使いの製品が正しく動作せず、これらの提案でも問題が解決されない場合は、以下のサポート サービスのいずれかを使用してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電子サポートの取得
- 保証
- HP テレフォン サポートの取得
- 製品をお送りいただくための準備
- 製品の梱包

電子サポートの取得

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。

また、この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、注文に関する情報のほか、次のようなオプションが用意されています。

- オンライン サポートのページにアクセスする。
- 質問を E メールで HP に送信する。
- オンライン チャットで、HP の技術者に問い合わせる。
- ソフトウェアのアップデートを確認する。

ツールボックス (Windows) または HP プリンタ ユーティリティ (MacOS) からも、一般の印刷に関する問題の簡単なステップバイステップの解決法を入手できます。 詳細については、ツールボックス (Windows)またはHP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)を参照してください。

ご利用いただけるサポートオプションは、製品、国/地域、および言語によって異なります。

保証

HP テレフォン サポートの取得

保証期間中は、HP カスタマ ケア センタから無料でサポートを受けることができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電話をかける前の用意
- サポート プロセス
- HP 社の電話によるサポート
- 追加保証オプション
- HP Quick Exchange Service (Japan)
- HP Korea customer support

電話をかける前の用意

最新のトラブルシューティング情報、または製品のフィックスと更新を HP の Web サイト (www.hp.com/support) で見つけてください。

カスタマ ケア センター担当者がよりよくお手伝いできるよう、電話をかける必要がある場合は以下の情報をお手元にご用意ください。

1. デバイスのセルフ テスト診断ページを印刷します。 詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。 印刷できない場合は、次の情報を用意してください。
   - デバイス モデル
   - モデル番号とシリアル番号 (本体後部をチェック)
2. お使いのオペレーティング システム（Windows XP など）をご確認ください。
3. 本体がネットワークに接続されている場合は、そのネットワーク オペレーティング システムを確認します。
4. USB 接続、ネットワーク接続など、お使いのシステムに本体がどのように接続されているかを書き留めます。
5. プリンタ ソフトウェアのバージョン番号を入手します。 (プリンタ ドライバのバージョン番号を調べるには、プリンタ設定ダイアログ ボックスまたはプロパティ ダイアログ ボックスを開き、**[バージョン情報]** タブをクリックします)。
6. 特定のアプリケーションでプリント結果を得られない場合には、そのアプリケーション名とバージョン番号も記録しておきます。

サポート プロセス

問題がある場合は、次の手順を実行します。

1. デバイスに付属のマニュアルを確認してください。
2. HP の Web サイトの HP オンライン サポートwww.hp.com/supportを参照してください。 HP オンライン サポートは HP のお客様全員がご利用いただけます。 最新デバイス情報およびエクスパート アシスタンスのための最速ソースであり、以下のような特徴があります。
   - 認定オンライン サポート スペシャリストへの迅速なアクセス
   - HP All in One のソフトウェアおよびドライバ アップデート
   - 一般的な問題に対する貴重なトラブルシューティング情報
   - HP All-in-One を登録すると利用できる予防的なデバイスの更新、サポート警告、および HP ニュース
3. HP サポートへの連絡 ご利用いただけるサポート オプションは、デバイス、国/地域、および言語によって異なります。

HP 社の電話によるサポート

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電話サポート期間
- 電話サポート番号
- 電話をかける
- 電話無料サポート期間後

電話サポート期間

北米、アジア太平洋、および南米 (メキシコを含む) で 1 年間の電話サポートが受けられます。

電話サポート番号

多くの地域で、HP は保証期間中、無料電話サポートを提供しています。 ただし、サポートの電話番号によっては料金がかかる場合があります。

電話サポート番号の最新リストについては、www.hp.com/support を参照してください。

電話をかける

コンピュータおよび HP All-in-One の前に立っている時に HP サポートまでご連絡ください。 以下の情報をご用意ください。

- モデル番号 (プリンタの正面のラベルに記載)
- シリアル番号 (プリンタの背面または底部に記載)
- 問題が起こった際に表示されたメッセージ
- 次の質問に対する答え
    - この問題が以前にも起こったことがありますか？
    - 問題をもう1度再現できますか？
    - この問題が起こった頃に、お使いのコンピュータに新しいハードウェア、またはソフトウェアを追加しましたか？
    - この状況になる前に何か他のことが起こりましたか (雷、HP All-in-One を移動したなど)？

電話無料サポート期間後

電話サポート期間後も、追加料金で HP のヘルプをご利用いただけます。 Web サイトの HP オンライン サポートもご利用いただけます。 www.hp.com/supportサポート オプションの詳細については、お近くの HP 取扱店にお問い合せいただくか、お住まいの国/地域のサポート サービスの電話番号までご連絡ください。

追加保証オプション

HP All-in-One の延長サービス プランは追加費用で利用できます。 www.hp.com/support にアクセスし、お住まいの国/地域、および言語を選択し、延長サービス プランについての情報をサービスおよび保証項目で探してください。

HP Quick Exchange Service (Japan)

インク　カートリッジに問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。インク　カートリッジが故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Service がこのインク カートリッジを正常品と交換し、故障したインク カートリッジを回収します。保障期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にもよりますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

電話番号：　0570-000511（自動応答）
03-3335-9800（自動応答システムが使用できない場合）

サポート時間：　平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで
祝祭日および 1 月 1 日から 3 日は除きます。

サービスの条件:

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。

  ご注意：ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保障期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限:

- 運搬の時間はお住まいの地域によって異なります。詳しくは、カスタマケアセンターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

交換時のデバイスの梱包方法については、製品の梱包を参照してください。

HP Korea customer support

HP 한국 고객 지원 문의

- 고객 지원 센터 대표 전화
  1588-3003
- 제품가격 및 구입처 정보 문의 전화
  080-703-0700
- 전화 상담 가능 시간:
  평　일 09:00~18:00
  토요일 09:00~13:00
  (일요일, 공휴일 제외)

製品をお送りいただくための準備

HP カスタマ サポートへのお問い合わせ後、または購入店で製品をサービス担当にお送りいただくよう求められた場合は、製品をお送りいただく前に、必ず以下のものを取り外し、保管しておいてください。

- プリント カートリッジ
- コントロール パネル カバー
- 両面印刷ユニット
- 排紙トレイ
- 電源コード、USB ケーブルなど、製品に接続されているケーブル
- 給紙トレイにセットされている用紙
- 本体にセットされているすべての原稿

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスのコントロール パネル カバーの取り外し
- 発送前にプリント カートリッジを取り外す
- 両面印刷ユニットを取り外す
- 排紙トレイを取り外す

デバイスのコントロール パネル カバーの取り外し

インク カートリッジの交換が済んだら、以下の手順を実行します。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。

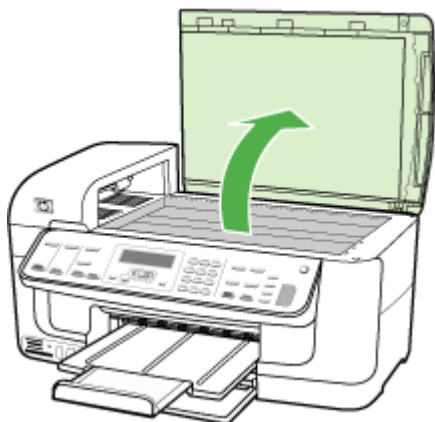
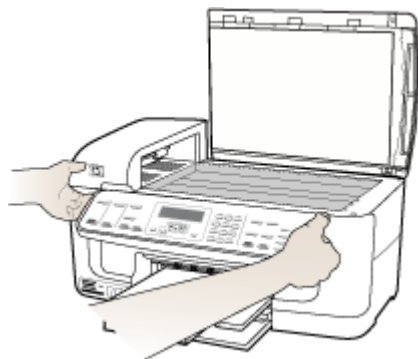
注意 必ず本体のプラグを抜いてから以下の手順に従ってください。

注意 本体の交換品に電源コードは付属しません。 交換品が到着するまで、電源コードは安全な場所に保管しておいてください。

コントロール パネル カバーを取り外すには

1. **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
2. 電源コードをコンセントから抜いた後、本体から外します。電源コードは本体と一緒に返送しないでください。

3. 以下の手順に従って、コントロール パネル カバーを取り外します。

   a. スキャナのカバーを持ち上げます。

   b. 指を使用するか、薄いものをコントロール パネル カバーの右上のタブに差し込んで、コントロール パネル カバーを取り外します。

4. コントロール パネル カバーを保管します。 コントロール パネル カバーは All-in-One と一緒に返送しないでください。

△ **注意** 交換用のデバイスには、コントロール パネル カバーが付属していません。 コントロール パネル カバーは安全な場所に保管しておき、デバイスの交換品がお手元に届いたら取り付けてください。 デバイスの交換品のコントロール パネル機能を使用するには、交換前の製品に付属していたコントロール パネル カバーを交換品に取り付ける必要があります。

注記 コントロール パネル カバーの取り付け方法については、デバイスに付属のセットアップ ポスターを参照してください。 デバイスの交換品に、デバイスの設定に関する使用説明書が付属している場合があります。

発送前にプリント カートリッジを取り外す

デバイスを返送する前に、プリント カートリッジが取り外されていることを確認してください。

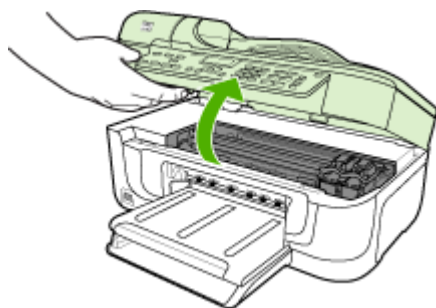
注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。

発送前にプリント カートリッジを取り外すには

1. 本体の電源を入れ、プリント カートリッジが停止して静かになるまでしばらく待ちます。 本体の電源がオンにならない場合は、この手順を省略してステップ 2 に進みます。

   注記 本体の電源がオンにならない場合は、電源コードを抜いて、手動でプリント キャリッジを右端まで動かすと、プリント カートリッジを取り外すことができます。

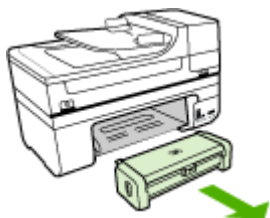
   ---

2. プリント カートリッジ カバーをゆっくりと開きます。

3. それぞれのプリント カートリッジを親指と人さし指で挟んでしっかりと手前に引き、スロットから取り外します。

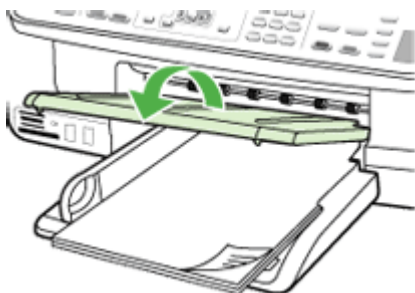
4. プリント カートリッジの内部が乾燥しないようにカートリッジを密閉プラスチック容器に入れて保管します。 HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、本体と一緒に発送しないでください。
5. プリント カートリッジ アクセスドアを閉め、インクホルダーがホーム ポジション (左側) に戻るまでしばらく待ちます。
6. スキャナが停止して所定の位置に戻った後、**電源** ボタンを押して本体の電源をオフにします。

両面印刷ユニットを取り外す

デバイスを発送する前に両面印刷ユニットを取り外します。

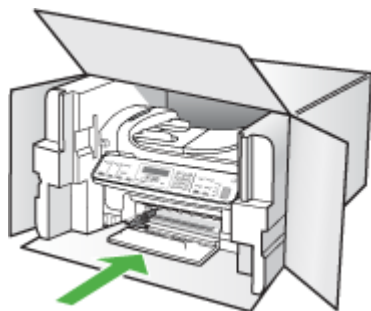
▲ 背面アクセス ドアまたは両面印刷ユニットの一方の側面にあるボタンを押して、パネルまたはユニットを取り外します。

排紙トレイを取り外す

デバイスを発送する前に排紙トレイを取り外します。

▲ 排紙トレイを持ち上げ、デバイスからトレイをゆっくり取り外します。

製品の梱包

製品をお送りいただく準備ができたら、次の手順を実行してください。

製品を梱包するには

1. お手元にある場合は元の梱包材を使用して、または交換品に使用されていた梱包材を使用して、製品を梱包して発送します。

   元の梱包材がない場合は、他の適切な梱包材を使用してください。 不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

2. 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。
3. 箱には、以下のものを入れてください。
   - サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます)。
   - 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー。
   - 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号。

C　デバイスの仕様

メディアおよびメディア処理の仕様については、「サポートされたメディアの仕様の理解」を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 物理的仕様
- 製品機能と容量
- プロセッサとメモリの仕様
- システム要件
- ネットワーク プロトコルの仕様
- 埋め込み Web サーバの仕様
- 印刷の仕様
- コピーの仕様
- ファクスの仕様
- スキャンの仕様
- 環境仕様
- 電気仕様
- 発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル)
- メモリ カードの仕様

物理的仕様

サイズ (幅 x 奥行き x 高さ)

A4/レター サイズのスキャナのガラス板と両面印刷ユニットを搭載したデバイス： 476 x 473 x 258 mm (19.0 x 18.9 x 10.3 インチ)

デバイス重量 (印刷サプライ品を含む)

A4/レター サイズのスキャナのガラス板と両面印刷ユニットを搭載したデバイス： 8.6 kg (19 lb)

製品機能と容量

機能	容量
接続	• USB 2.0 準拠 • 802.11b/g ワイヤレス • 有線ネットワーク
プリント カートリッジ	4 つのプリント カートリッジ (黒、カラー プリント カートリッ

(続き)

機能	容量
	ジ、フォト、およびフォト グレー) **注記** 一部のプリント カートリッジは、国/地域によっては取り扱われていません。
印刷可能枚数	プリント カートリッジの推定残量の詳細については、www.hp.com/pageyield/ を参照してください。
デバイスの言語	HP PCL 3
サポートするフォント	US フォント： CG Times、CG Times Italic、Universe、Universe Italic、Courier、Courier Italic、Letter Gothic、Letter Gothic Italic。
負荷サイクル	5000 ページ/月まで
デバイスのコントロール パネルの言語のサポート 使用可能な言語は国/地域によって異なります。	ブルガリア語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、簡体字中国語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語、トルコ語、ウクライナ語。

プロセッサとメモリの仕様

デバイス プロセッサ

192 MHz ARM946ES、ETM9 (medium)

デバイス メモリ

64 MB 内蔵 RAM、16 MB 内蔵 MROM + 2 MB 内蔵 Flash ROM

システム要件

注記 サポートされているオペレーティング システムとシステム要件の最新情報については、http://www.hp.com/support/ にアクセスしてください。

オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）

- Windows 2000、Windows XP、Windows XP x64、Windows Vista

  注記 Windows 2000 では、プリンタ ドライバ、スキャナ ドライバ、およびツールボックスのみを使用できます。

- Mac OS X (10.3、10.4)
- Linux

最小要件

- Windows 2000 サービスパック 4： Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、200 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Windows XP (32 ビット)： Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、410 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Microsoft® Windows® x64: AMD Athlon 64、AMD Opteron、Intel EM64T を備えた Intel Xeon プロセッサ、または Intel EM64T を備えた Intel Pentium 4 プロセッサ、128 MB RAM、200 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Windows Vista： 800 MHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ、512 MB RAM、765 MB のハード ディスク空き容量、Microsoft Explorer 7.0
- **Mac OS X (10.3.9 以上、10.4.9 以上)**： 400 MHz Power PC G3 (v10.3.9 以上、v10.4.9 以上) または 1.83 GHz Intel Core Duo (v10.4.9 以上)、256 MB メモリ、800 MB のハード ディスク空き容量
- **Quick Time 5.0以降 (Mac OS)**
- Adobe Acrobat Reader 5.0 以降

推奨される要件

- Windows 2000 サービスパック 4： Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量
- Windows XP (32 ビット)： Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量

- Microsoft® Windows® XP x64: AMD Athlon 64、 AMD Opteron、Intel EM64T 対応の Intel Xeon プロセッサ、または Intel EM64T 対応の Intel Pentium 4 プロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハードディスク空き容量
- Windows Vista： 1 GHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ、1 GB RAM、1.2 MB のハード ディスク空き容量
- **Mac OS X (10.3.9 以上、10.4.9 以上)**： 400 MHz Power PC G4 (v10.3.9 以上、v10.4.9 以上) または 1.83 GHz Intel Core Duo (v10.4.9 以上)、256 MB メモリ、800 MB のハード ディスク空き容量
- **Microsoft Internet Explorer 6.0 以降 (Windows 2000、Windows XP)、Internet Explorer 7.0 以降 (Windows Vista)**

ネットワーク プロトコルの仕様

ネットワーク オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）

- Windows 2000、Windows XP (32 ビット)、Windows XP x64* (Professional Edition および Home Edition)、Windows Vista (32 ビット) と (64 ビット) [Ultimate Edition、Enterprise Edition および Business Edition]
- Mac OS X (10.3、10.4)
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.5
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Microsoft Windows 2000 Small Business Server Terminal Services
- Novell Netware 6、6.5、Open Enterprise Server 6.5

互換性のあるネットワーク プロトコル

TCP/IP

ネットワーク管理

埋め込み Web サーバ

機能

ネットワーク デバイスをリモート設定および管理する機能

埋め込み Web サーバの仕様

必要な条件

- TCP/IP ベースのネットワーク (IPX/SPX ベースのネットワークはサポートされていません)
- Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 5.5 以降、Opera 8.0 以降、Mozilla Firefox 1.0 以降、または Safari 1.2 以降)
- ネットワーク接続 (USB ケーブルで直接コンピュータに接続されている場合、埋め込み Web サーバは使用できません)
- インターネット接続 (一部の機能で必要)

注記 埋め込み Web サーバは、インターネットに接続しなくても開くことができます。 ただし、一部の機能は使用できません。

- デバイスとファイアウォールの同じ側になければなりません。

印刷の仕様

モノクロ印刷の解像度

ピグメント ブラック インクで最高 1200 dpi

カラー印刷の解像度

HP ではフォト品質を Vivera インクにより改善しています (最高 4800 X 1200 dpi 最適化、1200 X 1200 入力 dpi で HP プレミアム プラス フォト用紙使用)

コピーの仕様

- デジタルイメージ処理
- 原稿のコピーは 100 枚まで (モデルによって異なります)
- デジタルズーム: 25～400% (モデルによって異なります)
- ページに合わせる、プレスキャン
- コピー速度はドキュメントの複雑さによって異なります

モード：	種類	スキャンの解像度 (dpi)
高画質	黒	最高 600 x 1200
	ｶﾗｰ	最高 600 x 1200
標準	黒	最高 300 x 300
	ｶﾗｰ	最高 300 x 300
はやい	黒	最高 300 x 300
	ｶﾗｰ	最高 300 x 300

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能。
- 最大 110 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)。
- 最大 120 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 手動ファクス送受信。
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 1 回の応答なし自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート。
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)。
- 伝送速度 33.6 Kbps。
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え。

	写真 (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	196 x 203 (8 ビット グレースケール)	300 x 300	196 x 203	196 x 98
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

PC ファクス受信の仕様

- サポートされるファイルの種類： 未圧縮 TIFF
- サポートされるファクス形式： モノクロ ファクス

スキャンの仕様

- イメージエディター内蔵
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ）
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度： 光学解像度 2400 x 4800 ppi、最大補間解像度 19200 ppi
- カラー： RGB カラーによる16 ビット、48 ビット合計
- ガラス板からの最大スキャン サイズ： 216 x 297 mm
- ADF からの最大スキャン サイズ： 216 x 356 mm

環境仕様

動作環境

動作温度： 摂氏 5°～ 40°C (華氏 41°～ 104°F)
動作時推奨条件: 摂氏 15°～ 32°C (華氏 59°～ 90°F)
推奨相対湿度: 25 ～ 75% 結露しないこと

保管環境

保管温度: -40° ～ 60°C (-40° ～ 140°F)
保管相対湿度: 65°C (150°F) の温度で最高 90%、結露しないこと

電気仕様

電源

ユニバーサル電源アダプタ (外部)

所要電力

入力電圧: 100 ～ 240 VAC (± 10%)、50/60 Hz (± 3Hz)
出力電圧： 940 mA で 32 Vdc または 625 mA で 16 Vdc

電力消費

印刷時 35 W (高速ドラフト モード)、コピー時 40 W (高速ドラフト モード)

発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル)

音圧 (そばに立っている状態)

LpAd 55 (dBA)

音響

LwAd 6.9 (BA)

メモリ カードの仕様

- メモリーカード上の推奨最大ファイル数： 1,000
- 推奨最大ファイル サイズ(個別): 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- 推奨最大メモリ カード サイズ: 1 GB (半導体メモリのみ)

注記 メモリ カードの最大推奨値に近づくと、デバイスのパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされているメモリ カードのタイプ

- CompactFlash (Type I および II)
- Memory Stick, Memory Stock Duo, Memory Stick Pro, MagicGate Memory Stick Duo
- Memory Stick Micro (別売のアダプタが必要)
- Secure Digital
- High Capacity Secure Digital
- miniSD、microSD (別売のアダプタが必要)
- MultiMediaCard (MMC), Secure MultiMediaCard
- 縮小サイズの MultiMmediaCard (RS-MMC)、MMC Mobile、MMCmicro (すべての製品でアダプタを別途購入する必要がある)
- xD-Picture カード

D　法規について

このデバイスは、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

FCC statement

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For further information, contact:

Manager of Corporate Product Regulations
Hewlett-Packard Company
3000 Hanover Street
Palo Alto, Ca 94304
(650) 857-1501

Modifications (part 15.21)

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by HP may void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Notice to users in Korea

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

VCCI (Class B) compliance statement for users in Japan

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Notice to users in Japan about the power cord

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。

同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

Toxic and hazardous substance table

有毒有害物质表

根据中国《电子信息产品污染控制管理办法》

零件描述	有毒有害物质和元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴联苯醚
外壳和托盘*	0	0	0	0	0	0
电线*	0	0	0	0	0	0
印刷电路板*	X	0	0	0	0	0
打印系统*	X	0	0	0	0	0
显示器*	X	0	0	0	0	0
喷墨打印机墨盒*	0	0	0	0	0	0
驱动光盘*	X	0	0	0	0	0
扫描仪*	X	X	0	0	0	0
网络配件*	X	0	0	0	0	0
电池板*	X	0	0	0	0	0
自动双面打印系统*	0	0	0	0	0	0
外部电源*	X	0	0	0	0	0

0: 指此部件的所有均一材质中包含的这种有毒有害物质，含量低于SJ/T11363-2006 的限制

X: 指此部件使用的均一材质中至少有一种包含的这种有毒有害物质，含量高于SJ/T11363-2006 的限制

注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件

*以上只适用于使用这些部件的产品

LED indicator statement

LED indicator statement

The display LEDs meet the requirements of EN 60825-1.

Noise emission statement for Germany

Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line might result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company might discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company might make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service. If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company might ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company.

Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided might not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

Notice to users of the Canadian telephone network

Note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique canadien/Notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d'Industrie Canada. Le numéro d'enregistrement atteste de la conformité de l'appareil. L'abréviation IC qui précède le numéro d'enregistrement indique que l'enregistrement a été effectué dans le cadre d'une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d'Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d'alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d'alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Remarque Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.0B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.

Note The REN (Ringer Equivalence Number) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.0B, based on FCC Part 68 test results.

Notice to users in the European Economic Area

Notice to users in the European Economic Area

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

Notice to users of the German telephone network

Hinweis für Benutzer des deutschen Telefonnetzwerks

Dieses HP-Fax ist nur für den Anschluss eines analogen Public Switched Telephone Network (PSTN) gedacht. Schließen Sie den TAE N-Telefonstecker, der im Lieferumfang des HP All-in-One enthalten ist, an die Wandsteckdose (TAE 6) Code N an. Dieses HP-Fax kann als einzelnes Gerät und/oder in Verbindung (mit seriellem Anschluss) mit anderen zugelass-enen Endgeräten verwendet werden.

Australia wired fax statement

In Australia, the HP device must be connected to Telecommunication Network through a line cord which meets the requirements of the Technical Standard AS/ACIF S008.

ワイヤレス製品の法規規定

このセクションでは、ワイヤレス製品に関する以下の規制事項について説明します。

Exposure to radio frequency radiation

Exposure to radio frequency radiation

Caution The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

Notice to users in Brazil

Aviso aos usuários no Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. (Res.ANATEL 282/2001).

Notice to users in Canada

Notice to users in Canada/Note à l'attention des utilisateurs canadiens

For Indoor Use. This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from the digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. The internal wireless radio complies with RSS 210 and RSS GEN of Industry Canada.

Utiliser à l'intérieur. Le présent appareil numérique n'émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministère des Communications du Canada. Le composant RF interne est conforme a la norme RSS-210 and RSS GEN d'Industrie Canada.

Notice to users in Taiwan

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫藥用電波輻射性電機設備之干擾。

European Union regulatory notice

European Union Regulatory Notice

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 73/23/EEC
- EMC Directive 2004/108/EC

CE compliance of this product is valid only if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

If this product has telecommunications functionality, it also complies with the essential requirements of the following EU Directive:

- R&TTE Directive 1999/5/EC

Compliance with these directives implies conformity to harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family. This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product.

The wireless telecommunications functionality of this product may be used in the following EU and EFTA countries:

Austria, Belgium, Cyprus, Czech Republic, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Liechtenstein, Lithuania, Luxembourg, Malta, Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Slovak Republic, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, and United Kingdom.

Products with 2.4-GHz wireless LAN devices

France
For 2.4 GHz Wireless LAN operation of this product certain restrictions apply: This product may be used indoor for the entire 2400-2483.5 MHz frequency band (channels 1-13). For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band (channels 1-9) may be used. For the latest requirements, see http://www.art-telecom.fr.

Italy
License required for use. Verify with your dealer or directly with the General Direction for Frequency Planning and Management (Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze).

規制モデル番号

規定に適合していることを識別する目的で、製品には規定モデル番号が割り当てられています。 お使いの製品の規制モデル番号は SNPRC-0701 です。この規制モデル番号をマーケティング名 (HP Officejet J6400 All-in-One シリーズ) や製品番号と混同しないようご注意ください。

適合宣言書

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC 17050-1 and EN 17050-1

Supplier's Name: Hewlett-Packard Company **DoC#:** SNPRC-0701- B

Supplier's Address: 60, Alexandra Terrace, # 07-01 The Comtech, Singapore 118502

declares, that the product

Product Name: HP Officejet J6400 series

Regulatory Model Number:[1)] SNPRC-0701

Product Options: All

Radio Module Number: RSVLD-0608

conforms to the following Product Specifications and Regulations:

SAFETY: IEC 60950-1:2001 / EN60950-1:2001
EN 60825-1 1994+A1:2002+A2: 2001

EMC: CISPR 22:2005/ EN 55022: 2006 Class B
EN 55024:1998 +A1:2001 + A2:2003
EN 61000-3-2: 2000 + A2: 2005
EN 61000-3-3:1995 +A1: 2001
FCC CFR 47, Part 15 Class B / ICES-003, Issue 4 Class B

TELECOM: EN 301 489-1 V1.4.1:2002 / EN 301 489-17 V1.2.1:2002
EN 300 328 V1.6.1:2004-11
TBR 21: 1998[3)]
FCC Rules and Regulations 47CFR Part 68
TIA-968-A-1 +A-2 +A-3+A-4 Telecommunications – Telephone Terminal Equipment
CS-03, Part I, Issue 9, Feb 2005

HEALTH: EU: 1999/519/EC

Supplementary Information:

1. This product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.
2. This product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC & the R&TTE Directive 99/5/EC and carries the CE-marking accordingly. In addition, it complies with the WEEE Directive 2002/96/EC and RoHS Directive 2002/95/EC.
3. This product complies with TBR21:1998, except clause 4.7.1 (DC characteristic), which complies with ES 203 021-3, clause 4.7.1.
4. This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
5. The product was tested in a typical configuration.

Singapore
18 July 2007

Local contact for regulatory topics only:
EMEA: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany www.hp.com/go/certificates
USA : Hewlett-Packard, 3000 Hanover St., Palo Alto 94304, U.S.A. 650-857-1501

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品では、再利用を考慮した設計を取り入れています。高度な機能と信頼性を確保する一方、素材の種類は最小限にとどめられています。素材が異なる部分は、簡単に分解できるように作られています。金具などの接合部品は、作業性を考慮した分かりやすい場所にあるので、一般的な工具を使って簡単に取り外すことができます。重要な部品も手の届きやすい場所にあり、取り外しや修理が簡単に行えます。

詳細については、 HP Web サイトの次のアドレスにある「環境保護ホーム」にアクセスしてください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

用紙の使用

本製品は DIN 19309 と EN 12281:2002 にしたがったリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラム以上のプラスチックのパーツには、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

化学物質安全性データシート

化学物質等安全データシート (MSDS) は、次の HP Web サイトから入手できます。

www.hp.com/go/msds

リサイクルプログラム

HP は世界中の国/地域で、大規模なエレクトロニクス リサイクルセンターと提携して、さまざまな製品回収およびリサイクルプログラムを次々に実施しております。また、弊社の代表的製品の一部を再販することで、資源を節約しています。HP製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HPのインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジおよびインク カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理

English

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Households in the European Union
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Français

Évacuation des équipements usagés par les utilisateurs dans les foyers privés au sein de l'Union européenne
La présence de ce symbole sur le produit ou sur son emballage indique que vous ne pouvez pas vous débarrasser de ce produit de la même façon que vos déchets courants.
Au contraire, vous êtes responsable de l'évacuation de vos équipements usagés et, à cet effet, vous êtes tenu de les remettre à un point de collecte agréé pour le recyclage des équipements électriques et électroniques usagés. Le tri, l'évacuation et le recyclage séparés de vos équipements usagés permettent de préserver les ressources naturelles et de s'assurer que ces équipements sont recyclés dans le respect de la santé humaine et de l'environnement. Pour plus d'informations sur les lieux de collecte des équipements usagés, veuillez contacter votre mairie, votre service de traitement des déchets ménagers ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Deutsch

Entsorgung von Elektrogeräten durch Benutzer in privaten Haushalten in der EU
Dieses Symbol auf dem Produkt oder dessen Verpackung gibt an, dass das Produkt nicht zusammen mit dem Restmüll entsorgt werden darf. Es obliegt daher Ihrer Verantwortung, das Gerät an einer entsprechenden Stelle für die Entsorgung oder Wiederverwertung von Elektrogeräten aller Art abzugeben (z.B. ein Wertstoffhof). Die separate Sammlung und das Recyceln Ihrer alten Elektrogeräte zum Zeitpunkt ihrer Entsorgung trägt zum Schutz der Umwelt bei und gewährleistet, dass sie auf eine Art und Weise recycelt werden, die keine Gefährdung für die Gesundheit des Menschen und der Umwelt darstellt. Weitere Informationen darüber, wo Sie alte Elektrogeräte zum Recyceln abgeben können, erhalten Sie bei den örtlichen Behörden, Wertstoffhöfen oder dort, wo Sie das Gerät erworben haben.

Italiano

Smaltimento di apparecchiature da rottamare da parte di privati nell'Unione Europea
Questo simbolo che appare sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere smaltito assieme agli altri rifiuti domestici. Gli utenti devono provvedere allo smaltimento delle apparecchiature da rottamare portandole al luogo di raccolta indicato per il riciclaggio delle apparecchiature elettriche ed elettroniche. La raccolta e il riciclaggio separati delle apparecchiature da rottamare in fase di smaltimento favoriscono la conservazione delle risorse naturali e garantiscono che tali apparecchiature vengano rottamate nel rispetto dell'ambiente e della tutela della salute. Per ulteriori informazioni sui punti di raccolta delle apparecchiature da rottamare, contattare il proprio comune di residenza, il servizio di smaltimento dei rifiuti locale o il negozio presso il quale è stato acquistato il prodotto.

Español

Eliminación de residuos de aparatos eléctricos y electrónicos por parte de usuarios domésticos en la Unión Europea
Este símbolo en el producto o en el embalaje indica que no se puede desechar el producto junto con los residuos domésticos. Por el contrario, si debe eliminar este tipo de residuo, es responsabilidad del usuario entregarlo en un punto de recogida designado de reciclado de aparatos electrónicos y eléctricos. El reciclaje y la recogida por separado de estos residuos en el momento de la eliminación ayudará a preservar recursos naturales y a garantizar que el reciclaje proteja la salud y el medio ambiente. Si desea información adicional sobre los lugares donde puede dejar estos residuos para su reciclado, póngase en contacto con las autoridades locales de su ciudad, con el servicio de gestión de residuos domésticos o con la tienda donde adquirió el producto.

Česky

Likvidace vysloužilého zařízení uživateli v domácnosti v zemích EU
Tato značka na produktu nebo na jeho obalu označuje, že tento produkt nesmí být likvidován prostým vyhozením do běžného domovního odpadu. Odpovídáte za to, že vysloužilé zařízení bude předáno k likvidaci do stanovených sběrných míst určených k recyklaci vysloužilých elektrických a elektronických zařízení. Likvidace vysloužilého zařízení samostatným sběrem a recyklací napomáhá zachování přírodních zdrojů a zajišťuje, že recyklace proběhne způsobem chránícím lidské zdraví a životní prostředí. Další informace o tom, kam můžete vysloužilé zařízení předat k recyklaci, můžete získat od úřadů místní samosprávy, od společnosti provádějící svoz a likvidaci domovního odpadu nebo v obchodě, kde jste produkt zakoupili.

Dansk

Bortskaffelse af affaldsudstyr for brugere i private husholdninger i EU
Dette symbol på produktet eller på dets emballage indikerer, at produktet ikke må bortskaffes sammen med andet husholdningsaffald. I stedet er det dit ansvar at bortskaffe affaldsudstyr ved at aflevere det på dertil beregnede indsamlingssteder med henblik på genbrug af elektrisk og elektronisk affaldsudstyr. Den separate indsamling og genbrug af dit affaldsudstyr på tidspunktet for bortskaffelse er med til at bevare naturlige ressourcer og sikre, at genbrug finder sted på en måde, der beskytter menneskers helbred samt miljøet. Hvis du vil vide mere om, hvor du kan aflevere dit affaldsudstyr til genbrug, kan du kontakte kommunen, det lokale renovationsvæsen eller den forretning, hvor du købte produktet.

Nederlands

Afvoer van afgedankte apparatuur door gebruikers in particuliere huishoudens in de Europese Unie
Dit symbool op het product of de verpakking geeft aan dat dit product niet mag worden afgevoerd met het huishoudelijk afval. Het is uw verantwoordelijkheid uw afgedankte apparatuur af te leveren op een aangewezen inzamelpunt voor de verwerking van afgedankte elektrische en elektronische apparatuur. De gescheiden inzameling en verwerking van uw afgedankte apparatuur draagt bij tot het sparen van natuurlijke bronnen en tot het hergebruik van materiaal op een wijze die de volksgezondheid en het milieu beschermt. Voor meer informatie over waar u uw afgedankte apparatuur kunt inleveren voor recycling kunt u contact opnemen met het gemeentehuis in uw woonplaats, de reinigingsdienst of de winkel waar u het product hebt aangeschaft.

Eesti

Eramajapidamistes kasutuselt kõrvaldatavate seadmete käitlemine Euroopa Liidus
Kui tootel või toote pakendil on see sümbol, ei tohi seda toodet visata olmejäätmete hulka. Teie kohus on viia tarbetuks muutunud seade selleks ettenähtud elektri- ja elektroonikaseadmete utiliseerimiskohta. Utiliseeritavate seadmete eraldi kogumine ja käitlemine aitab säästa loodusvarasid ning tagada, et käitlemine toimub inimeste tervisele ja keskkonnale ohutult. Lisateavet selle kohta, kuhu saate utiliseeritava seadme käitlemiseks viia, saate küsida kohalikust omavalitsusest, olmejäätmete utiliseerimispunktist või kauplusest, kust te seadme ostsite.

Suomi

Hävitettävien laitteiden käsittely kotitalouksissa Euroopan unionin alueella
Tämä tuotteessa tai sen pakkauksessa oleva merkintä osoittaa, että tuotetta ei saa hävittää talousjätteiden mukana. Käyttäjän velvollisuus on huolehtia siitä, että hävitettävä laite toimitetaan sähkö- ja elektroniikkalaiteromun keräyspisteeseen. Hävitettävien laitteiden erillinen keräys ja kierrätys säästää luonnonvaroja. Näin toimimalla varmistetaan myös, että kierrätys tapahtuu tavalla, joka suojelee ihmisten terveyttä ja ympäristöä. Saat tarvittaessa lisätietoja jätteiden kierrätyspaikoista paikallisilta viranomaisilta, jäteyhtiöiltä tai tuotteen jälleenmyyjältä.

Ελληνικά

Απόρριψη άχρηστων συσκευών στην Ευρωπαϊκή Ένωση
Το παρόν σύμβολο στον εξοπλισμό ή στη συσκευασία του υποδεικνύει ότι το προϊόν αυτό δεν πρέπει να πεταχτεί μαζί με άλλα οικιακά απορρίμματα. Αντίθετα, ευθύνη σας είναι να απορρίψετε τις άχρηστες συσκευές σε μια καθορισμένη μονάδα συλλογής απορριμμάτων για την ανακύκλωση άχρηστου ηλεκτρικού και ηλεκτρονικού εξοπλισμού. Η χωριστή συλλογή και ανακύκλωση των άχρηστων συσκευών θα συμβάλει στη διατήρηση των φυσικών πόρων και στη διασφάλιση ότι θα ανακυκλωθούν με τέτοιον τρόπο, ώστε να προστατεύεται η υγεία των ανθρώπων και το περιβάλλον. Για περισσότερες πληροφορίες σχετικά με το πού μπορείτε να απορρίψετε τις άχρηστες συσκευές για ανακύκλωση, επικοινωνήστε με τις κατά τόπους αρμόδιες αρχές ή με το κατάστημα από το οποίο αγοράσατε το προϊόν.

Magyar

A hulladékanyagok kezelése a magánháztartásokban az Európai Unióban
Ez a szimbólum, amely a terméken vagy annak csomagolásán van feltüntetve, azt jelzi, hogy a termék nem kezelhető együtt az egyéb háztartási hulladékkal. Az Ön feladata, hogy a készülék hulladékanyagait eljuttassa olyan kijelölt gyűjtőhelyre, amely az elektromos hulladékanyagok és az elektronikus berendezések újrahasznosításával foglalkozik. A hulladékanyagok elkülönített gyűjtése és újrahasznosítása hozzájárul a természeti erőforrások megőrzéséhez, egyúttal azt is biztosítja, hogy a hulladék újrahasznosítása az egészségre és a környezetre nem ártalmas módon történik. Ha tájékoztatást szeretne kapni azokról a helyekről, ahol leadhatja újrahasznosításra a hulladékanyagokat, forduljon a helyi önkormányzathoz, a háztartási hulladék begyűjtésével foglalkozó vállalathoz vagy a termék forgalmazójához.

Latviski

Lietotāju atbrīvošanās no nederīgām ierīcēm Eiropas Savienības privātajās mājsaimniecībās
Šis simbols uz ierīces vai tās iepakojuma norāda, ka šo ierīci nedrīkst izmest kopā ar pārējiem mājsaimniecības atkritumiem. Jūs esat atbildīgs par atbrīvošanos no nederīgās ierīces, to nododot norādītajā savākšanas vietā, lai tiktu veikta nederīgā elektriskā un elektroniskā aprīkojuma otrreizējā pārstrāde. Speciāla nederīgās ierīces savākšana un otrreizējā pārstrāde palīdz taupīt dabas resursus un nodrošina tādu otrreizējo pārstrādi, kas sargā cilvēku veselību un apkārtējo vidi. Lai iegūtu papildu informāciju par to, kur otrreizējai pārstrādei var nogādāt nederīgo ierīci, lūdzu, sazinieties ar vietējo pašvaldību, mājsaimniecības atkritumu savākšanas dienestu vai veikalu, kurā iegādājāties šo ierīci.

Lietuviškai

Europos Sąjungos vartotojų ir privačių namų ūkių atliekamos įrangos išmetimas
Šis simbolis ant produkto arba jo pakuotės nurodo, kad produktas negali būti išmestas kartu su kitomis namų ūkio atliekomis. Jūs privalote išmesti savo atliekamą įrangą atiduodami ją į atliekamos elektronikos ir elektros įrangos perdirbimo punktus. Jei atliekama įranga bus atskirai surenkama ir perdirbama, bus išsaugomi natūralūs ištekliai ir užtikrinama, kad įranga yra perdirbta žmogaus sveikatą ir gamtą tausojančiu būdu. Dėl informacijos apie tai, kur galite išmesti atliekamą perdirbti skirtą įrangą kreipkitės į atitinkamą vietos tarnybą, namų ūkio atliekų išvežimo tarnybą arba į parduotuvę, kurioje pirkote produktą.

Polski

Utylizacja zużytego sprzętu przez użytkowników domowych w Unii Europejskiej
Symbol ten umieszczony na produkcie lub opakowaniu oznacza, że tego produktu nie należy wyrzucać razem z innymi odpadami domowymi. Użytkownik jest odpowiedzialny za dostarczenie zużytego sprzętu do wyznaczonego punktu gromadzenia zużytych urządzeń elektrycznych i elektronicznych. Gromadzenie osobno i recykling tego typu odpadów przyczynia się do ochrony zasobów naturalnych i jest bezpieczny dla zdrowia i środowiska naturalnego. Dalsze informacje na temat sposobu utylizacji zużytych urządzeń można uzyskać u odpowiednich władz lokalnych, w przedsiębiorstwie zajmującym się usuwaniem odpadów lub w miejscu zakupu produktu.

Português

Descarte de equipamentos por usuários em residências da União Européia
Este símbolo no produto ou na embalagem indica que o produto não pode ser descartado junto com o lixo doméstico. No entanto, é sua responsabilidade levar os equipamentos a serem descartados a um ponto de coleta designado para a reciclagem de equipamentos eletro-eletrônicos. A coleta separada e a reciclagem dos equipamentos no momento do descarte ajudam na conservação dos recursos naturais e garantem que os equipamentos serão reciclados de forma a proteger a saúde das pessoas e o meio ambiente. Para obter mais informações sobre onde descartar equipamentos para reciclagem, entre em contato com o escritório local de sua cidade, o serviço de limpeza pública de seu bairro ou a loja em que adquiriu o produto.

Slovenčina

Postup používateľov v krajinách Európskej únie pri vyhadzovaní zariadenia v domácom používaní do odpadu
Tento symbol na produkte alebo na jeho obale znamená, že nesmie by vyhodený s iným komunálnym odpadom. Namiesto toho máte povinnos odovzda toto zariadenie na zbernom mieste, kde sa zabezpečuje recyklácia elektrických a elektronických zariadení. Separovaný zber a recyklácia zariadenia určeného na odpad pomôže chráni prírodné zdroje a zabezpečí taký spôsob recyklácie, ktorý bude chráni ľudské zdravie a životné prostredie. Ďalšie informácie o separovanom zbere a recyklácii získate na miestnom obecnom úrade, vo firme zabezpečujúcej zber vášho komunálneho odpadu alebo v predajni, kde ste produkt kúpili.

Slovenščina

Ravnanje z odpadno opremo v gospodinjstvih znotraj Evropske unije
Ta znak na izdelku ali embalaži izdelka pomeni, da izdelka ne smete odlagati skupaj z drugimi gospodinjskimi odpadki. Odpadno opremo ste dolžni oddati na določenem zbirnem mestu za recikliranje odpadne električne in elektronske opreme. Z ločenim zbiranjem in recikliranjem odpadne opreme ob odlaganju boste pomagali ohraniti naravne vire in zagotovili, da bo odpadna oprema reciklirana tako, da se varuje zdravje ljudi in okolje. Več informacij o mestih, kjer lahko oddate odpadno opremo za recikliranje, lahko dobite na občini, v komunalnem podjetju ali trgovini, kjer ste izdelek kupili.

Svenska

Kassering av förbrukningsmaterial, för hem- och privatanvändare i EU
Produkter eller produktförpackningar med den här symbolen får inte kasseras med vanligt hushållsavfall. I stället har du ansvar för att produkten lämnas till en behörig återvinningsstation för hantering av el- och elektronikprodukter. Genom att lämna kasserade produkter till återvinning hjälper du till att bevara våra gemensamma naturresurser. Dessutom skyddas både människor och miljön när produkter återvinns på rätt sätt. Kommunala myndigheter, sophanteringsföretag eller butiken där varan köptes kan ge mer information om var du lämnar kasserade produkter för återvinning.

Български

Изхвърляне на оборудване за отпадъци от потребители в частни домакинства в Европейския съюз
Този символ върху продукта или опаковката му показва, че продуктът не трябва да се изхвърля заедно с домакинските отпадъци. Вие имате отговорността да изхвърлите оборудването за отпадъци, като го предадете на определен пункт за рециклиране на електрическо или механично оборудване за отпадъци. Отделното събиране и рециклиране на оборудването за отпадъци при изхвърлянето му помага за запазването на природни ресурси и гарантира рециклиране, извършено така, че да не застрашава човешкото здраве и околната среда. За повече информация къде можете да оставите оборудването за отпадъци за рециклиране се свържете със съответния офис в града ви, фирмата за събиране на отпадъци или с магазина, от който сте закупили продукта

Română

Înlăturarea echipamentelor uzate de către utilizatorii casnici din Uniunea Europeană
Acest simbol de pe produs sau de pe ambalajul produsului indică faptul că acest produs nu trebuie aruncat alături de celelalte deşeuri casnice. În loc să procedaţi astfel, aveţi responsabilitatea să vă debarasaţi de echipamentul uzat predându-l la un centru de colectare desemnat pentru reciclarea deşeurilor electrice şi a echipamentelor electronice. Colectarea şi reciclarea separată a echipamentului uzat atunci când doriţi să îl aruncaţi ajută la conservarea resurselor naturale şi asigură reciclarea echipamentului într-o manieră care protejează sănătatea umană şi mediul. Pentru informaţii suplimentare despre locul în care se poate preda echipamentul uzat pentru reciclare, luaţi legătura cu primăria locală, cu serviciul de salubritate sau cu vânzătorul de la care aţi achiziţionat produsul.

Energy Star® 表示

この製品は製品の性能を損なわずに消費電力を減少し、自然資源を節約するように設計されています。デバイスの操作中および待機中の全体の消費電力を減らすように設計されています。この製品は、ENERGY STAR® に適合しています。これは、エネルギー効率の高いオフィス機器の開発を推進するために設立された自主的なプログラムです。

ENERGY STAR は米国で登録された米国環境保護局 (USEPA) のサービスマークです。当社は国際エネルギースター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースター プログラムの基準に適合していると判断します。

ENERGY STAR ガイドラインについての詳細については、下記の Web サイトを参照してください。

www.energystar.gov

索引

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め